

# 平成26年度 消防年報



四日市市消防本部

## はじめに

この年報は、四日市市及び受託する三重郡朝日町、川越町にかかるとる主な消防業務を平成26年中又は平成26年度を中心として収録し、将来の参考として資すると共に、広く消防事象を紹介するためにとりまとめたものです。

住民のみなさん及び関係者の方に広く活用され、本市消防行政に対する認識を一層深めていただければ幸いと存じます。

平成27年6月

四日市市消防本部

# 目 次

四日市市の位置	1
四日市市の沿革・消防概要	2
四日市市の地勢	3
四日市市消防の沿革	4～7
歴代消防長	7
四日市市消防機構図	8
<b>総 務</b>	
一 目 統 計（総務）	9
平成26年度・27年度消防費歳出予算	10
消防費に対する人口世帯当たり額/過去10年間の消防費の推移	11
消 防 職 員 の 推 移	12
消防職員特殊技能資格取得状況	12
階級別・所属別消防職員配置状況	13
消防職員年令別分布	14
消防職員勤続年数別分布	15
消防車両配置状況	16
消防用資機材配置状況	17
職員研修実施状況	18
プリセプターシッププログラム	19～21
平成26年度主要記録	22・23
平成27年度消防重点事業	24
相互応援協定	25
<b>警 防</b>	
一 目 統 計（火災）	26
平成26年中の火災概要	27
火 災 概 要	28
火災発生状況比較	29
出 火 率 比 較	29
地区別火災発生状況	30
月別・時間別火災発生状況	31
出火原因別火災発生状況	32
過去10年間年別主な火災原因	33
過去10年間の火災発生状況	34
海上・沿岸防災等（IBK委託状況）	35
火災・救助以外の消防車の出動	36
消 防 水 利 状 況	37
開発行為に関する事前協議等	38
緊急消防援助隊の派遣体制	39
四日市市消防支援隊の活動状況	40
防災教育センター利用状況	41
四日市市防災指導員制度（指導状況）	42
防火・防災教室の経緯と現状	43
<b>救助・救急</b>	
一 目 統 計（救助）	44
救出・救助活動状況	45
水難救助隊の災害出動概要	46
一 目 統 計（救急）	47
平成26年中の救急業務の概要	48・49
救 急 概 要	50
救急事故発生状況比較	51
過去10年間の救急事故発生状況	51
地区別救急出場状況	52
月別救急出場状況	53
応急手当の普及計画	54
応急手当普及啓発活動の状況	54
心肺機能停止傷病者の救命率	55

## 通信・気象

一 目 統 計 (通信・気象)	56
指令事務の共同運用・消防通信施設の概要	57
119番通報受付取扱状況	58
通信施設保有状況	59
無線配置状況	59
気象予報・警報発表状況	60
気象状況(風速・温度・湿度・風向・降雨量)	61

## 予 防

一 目 統 計 (予 防)	62
広報活動状況	63
広報用印刷物	63
年別建築同意状況及び防火対象物の推移	64
建築同意件数	64
消防用設備等届出状況	64
危険物仮貯蔵・仮取扱申請承認状況	64
年別危険物施設・設置許可数及び危険物施設数の推移	65
危険物許可事務処理状況	65
火災予防条例等に基づく届出事務処理状況	66
防火対象物状況(階層別)	67
防火対象物状況(消防用設備別)	68
防火対象物状況(地区別)	69
数量・類別危険物施設設置状況	70
地区別危険物施設設置状況	71
事業所等別危険物施設状況	72
コンビナート概要	73
特定防災施設	73
コンビナート防災体制	74・75
四日市臨海地区事業所配置図	76・77

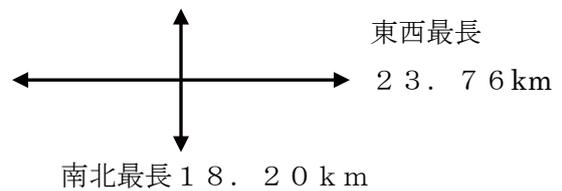
## 消 防 団

四日市市消防団の沿革	78・79
歴代消防団長	79
消防団の概況	80
消防団員の状況	81
消防団員出動状況	82
消防団訓練・研修実施状況	82
さるびあ分団活動状況	83
消防団防災支援隊の登録状況	83

# 四日市市の位置



北緯 34° 57'  
東経 136° 38'  
面積 206.44km<sup>2</sup>



## 四日市市の沿革

四日市市は三重県の北部に位置し、西は鈴鹿山系、東は伊勢湾に面した温暖な地域です。すでに旧石器時代から人々が住み、市内には縄文から弥生時代の遺跡も数多く存在しています。市内各所に古墳が築かれ、なかでも志氏神社古墳は市内唯一の前方後円墳として知られています。8～10世紀には智積廃寺や上品寺の釈迦如来座像など四日市地域への仏教文化の広がりが認められ、また、多度神宮寺伽藍縁起并資財帳によれば条理が整備されていた様子うかがえ、平安から鎌倉時代には伊勢平氏の活躍の舞台でありました。それだけに鎌倉、南北朝、室町時代には時の指導者がその被官を北伊勢に配置しました。

1473年の外宮庁宣に「四ヶ市庭浦」の地名が出てきます。この頃すでに定期市「四日市」が立っていたことがうかがえます。江戸時代、市場町・湊町の四日市に「宿場町」「陣屋・代官所の町」が加わり、北勢の行政・商業の中心地として知られるようになりました。幕末から明治にかけ、菜種油・肥料の生産や取り引きの盛んな町として栄え、四日市港の修築を機に、生糸、紡績を中心とした繊維工業へ、さらに機械工業や化学工業の進出が相次ぎ、日本の近代工業化への歩みを模したかのような形で四日市地域が商工業の都市に進展しました。明治30年に市制を施行し、昭和5年に塩浜、海蔵の両村を合併して以来、周辺町村を併合し平成17年2月の楠町との合併で現在の市域になりました。昭和30年代以降石油化学工場等の進出は、大気汚染等の公害をもたらしましたが、今では環境浄化に努力し、自然との調和を目指した街づくりにまい進しています。

## 消防概要

本市消防体制は、消防本部に総務課・消防救急課・予防保安課・情報指令課・救急救命室・防災教育センターを設置し、市街地に中消防署・北消防署・南消防署の3消防署を置くとともに、海上・沿岸地域に港分署、市西部に西分署、市中央部に中央分署（消防活動支援センター）、北西出張所及び西南出張所を、受託地域の三重郡朝日町に北消防署朝日川越分署をそれぞれ配置して有事即応体制の確立を図っています。

これに対応する消防力として、消防職員361名、消防車両77台のほか、1消防団及び市内各地区に26分団・団員620名・29分団車両を配備しています。

一方、大規模な災害に対応するため、緊急消防援助隊の三重県代表消防本部としても広域応援訓練に参加すると共に、耐震性貯水槽の設置をはじめ、住民による自主防災組織の活性化を図り、住民と一体で安心・安全なまちづくりを目指しています。

四日市市の地勢と消防機関の配置

(平成27年4月1日)

署別・地区別	面積 (km <sup>2</sup> )	世帯数	人 口	人口密度(1km <sup>2</sup> あたり)	
合 計	221.16	142,518	337,267	1,525	
中 消 防 署 管 内	小 計	68.09	58,367	134,980	1,982
	共 同	1.10	3,915	7,639	6,945
	同 和	0.12	348	739	6,158
	中 央	0.52	1,073	2,257	4,340
	港	1.80	940	1,763	979
	浜 田	3.00	5,968	11,270	3,757
	橋 北	2.62	2,603	5,598	2,137
	海 蔵	3.65	5,669	13,685	3,749
	常 磐	4.89	12,704	27,963	5,718
	川 島	7.89	4,601	12,282	1,557
	神 前	7.40	2,759	6,840	924
	桜	12.02	5,873	15,436	1,284
	県	11.25	2,490	6,756	601
三 重	11.83	9,424	22,752	1,923	
北 消 防 署 管 内	小 計	65.97	46,088	112,273	1,702
	羽 津	8.80	7,389	17,475	1,986
	富 田	4.88	5,328	12,162	2,492
	富洲原	2.04	3,796	8,947	4,386
	大矢知	6.89	8,384	19,890	2,887
	八 郷	10.21	5,015	12,828	1,256
	下 野	7.57	3,561	8,664	1,145
	保 々	10.86	2,648	7,146	658
	朝日町	5.99	3,833	10,367	1,731
	川越町	8.73	6,134	14,794	1,695
南 消 防 署 管 内	小 計	87.10	38,063	90,014	1,033
	塩 浜	8.30	3,015	6,404	772
	日 永	7.23	8,070	18,117	2,506
	四 郷	8.40	10,467	23,954	2,852
	内 部	12.31	7,027	17,930	1,457
	河原田	5.12	2,009	4,770	932
	小山田	18.35	1,890	4,639	253
	水 沢	19.63	1,158	3,303	168
	楠 町	7.76	4,427	10,897	1,404
四日市市	206.44	132,551	312,106	1,512	
受託2町	14.72	9,967	25,161	1,709	

## 四日市市消防の沿革

明治19年	四日市に初めて火防組1組が組織される 消防夫59人
明治20年	火防組12組 消防夫864人となる
明治24年	火防組が消防組と改名される
明治25年	消防組23組 消防夫1,396人となる
明治27年2月	勅令をもって消防規則が公布される
明治28年12月26日	各町自警消防組を統合し、新たに四日市町消防組として発足 四日市町消防組 第1番組 川原町、末永、浜一色(橋北地区) 第2番組 西町、久六町、比丘尻町、堅町、南町、北町、上新町 (共同地区) 第3番組 中町、境町、八幡町、中新町、四ツ谷新町、南新町 (同和地区) 第4番組 浜町、北条町、下新町、新町(同盟地区) 第5番組 蔵町、北納屋町、中納屋町、桶ノ町、袋町、高砂町、 稲葉町、南納屋町(港地区) 第6番組 浜田、赤堀(浜田地区) 配置人員 組頭1人 小頭6人 消防手193人 合計200人 配備器具 ポンプ6 大水桶12 小水桶64 梯子6 鳶口31 刺又6 釣瓶13 斧6 大縄6 纏6 旗6 高張提灯6 弓張提灯62 消口札6
明治30年	市制実施とともに四日市町消防組も市に引き継がれる
大正6年10月	第5番組(港地区)に初めてガソリンポンプを配置
大正12年1月	総ての組にガソリンポンプを配置
大正15年	初めて自動車ポンプを購入し、組頭直属のもとに自動車隊が登場
昭和5年	市域の拡大に伴って第7番組(海蔵地区) 第8番組(塩浜地区)が本市消防組に編入
昭和7年	本市上水道工事が完成し、消火栓355基を設置
昭和14年1月	政府は準戦時体制から戦時体制に切替え、警防団令を発令した
昭和14年4月1日	昭和6年頃に結成され、防空活動を行っていた防護団と消防組を合体一本化し、四日市警防団を設置した 警防団は消防組と同一区画の8分団とした 定員 622人(うち本部消防部16人) 分団に警防、消防、救護の3部を置く 初代警防団長 九鬼紋七氏
昭和15年1月16日	分団とは別に常備の本部消防部が組織され、部員が任命され事務所を市役所に置く 本部消防部定員16人(部長1副部長1警防員14) 警防団の装備 自動車ポンプ 5台(うち本部所属1台) 三輪自動車ポンプ1台 ガソリンポンプ2台 サイドカー1台(本部所属1台) 初代部長 東 平三氏
昭和15年4月16日	本部消防部の勤務体制を2部制24時間勤務とし、望楼見張勤務を始める
昭和15年6月4日	本部消防部にポンプ自動車配置 日産ポンプ自動車 29AT式KMC2段タービン26馬力 (警防団長 九鬼紋七氏の寄付)
昭和16年8月28日	本部消防部詰所に火災報知専用電話を設置(警察署より移転)
昭和16年	本市が富田町等2町3村を併合
昭和22年4月8日	千歳町に常備消防出張所を開所 ポンプ自動車2台配備 本部員7人(本部と輪転勤務)
昭和23年3月7日	消防組織法が施行され、消防団は大正6年から続いていた警察行政から分離し、自治体消防に形を変える
昭和24年3月29日	四日市市常備消防部を廃止し、四日市市消防本部を設置 消防職員55人 消防自動車4台(速消車1・普通消防車3) 初代消防長に吉田千九郎氏(四日市市長兼務) 就任
昭和26年6月20日	消防本部富田出張所を建設・開所 消防職員定員 70名
昭和29年5月8日	機構改革により消防本部を分離して四日市消防署を設置し、港、富田出張所をその傘下に統一した
昭和29年11月15日	吉田千九郎氏消防長を退任
昭和29年11月16日	2代目消防長に中村松次郎氏就任
昭和29年12月1日	消防本部の機構改革により総務・整備・消防・予防の4係を置く
昭和32年4月1日	消防職員定員 90名
昭和32年11月1日	消防と警察の特別援助協力協定を締結
昭和34年2月24日	消防本部、消防署合同庁舎を新築し移転
昭和35年4月1日	消防職員定員 91名
昭和35年12月15日	救急業務を開始
昭和36年3月31日	中村松次郎氏消防長を退任
昭和36年4月1日	消防職員定員 106名
昭和36年4月15日	3代目消防長に竹内鉄雄氏就任
昭和36年5月1日	機構改革により消防本部に次長を設け、総務・消防の2課、総務・整備・消防・予防の4係を置き、消防署に 総務・消防・予防の3係を置く 富田出張所を北出張所と改称
昭和37年1月20日	南出張所を開所
昭和38年4月1日	消防職員定員 125名
昭和38年5月24日	消防と海上保安部の船舶消防に関する業務協定締結
昭和39年4月1日	消防職員定員 139名
昭和39年10月1日	機構改革により四日市消防署を中消防署と改称、北出張所・南出張所をそれぞれ消防署に昇格

昭和40年10月1日	桜、保々分遣所を開所
昭和41年4月1日	消防職員定員 159名
昭和42年4月1日	消防職員定員 166名
昭和43年3月31日	竹内鉄雄氏消防長を退任
昭和43年4月1日	4代目消防長に富山光三氏就任 消防職員定員 171名
昭和43年7月1日	四日市市と楠町、川越町、朝日町の救急業務に関する応援協定を締結
昭和44年3月31日	一斉指令装置を設置
昭和44年4月1日	消防職員定員 176名
昭和45年4月1日	機構改革により、本部の2課4係にあらたに予防課を設け、総務・消防・予防の3課、庶務・装備・消防・通信・救急・予防・危険物の6係とした 中消防署港出張所を同署港分署に昇格 消防職員定員 185名
昭和45年5月21日	中消防署港分署に双胴型消防艇「あさかぜ」を配備
昭和46年4月1日	消防職員定員 190名
昭和46年4月6日	北消防署庁舎改築(鉄筋コンクリート造2階建、建築延面積760.31㎡、監視用テレビカメラ装置付)
昭和46年5月22日	消防と海上保安部の船舶消防に関する業務協定を改定締結
昭和47年3月31日	富山光三氏消防長を退任
昭和47年4月1日	5代目消防長に倉谷徳助氏就任
昭和49年4月1日	消防職員定員 191名
昭和49年6月4日	南消防署庁舎改築(鉄筋コンクリート造2階建、建築延面積759.9㎡)
昭和50年3月31日	倉谷徳助氏消防長を退任
昭和50年4月4日	6代目消防長に松村佳美氏就任 消防職員定員 193名
昭和50年10月1日	小山田分遣所を開所
昭和50年10月22日	四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市及び長島町の高速道路における消防相互応援協定を締結
昭和51年4月1日	消防職員定員 194名
昭和51年4月16日	機構改革により、本部予防課に指導査察係を置く
昭和52年3月25日	石油コンビナート等災害防止法に基づき、高所放水車・大型化学車・泡原液搬送車の3点セットを 中消防署に配備
昭和52年4月1日	消防職員定員 197名
昭和52年7月1日	機構改革により、本部に警防技監・主幹・主任を、消防署に副署長・主任の設置制度及び中消防署に 消防第3係を設け、本部通信救急係を通信指令室に改めた
昭和53年3月31日	通信指令室に防災指令装置を設置 松村佳美氏消防長を退任
昭和53年4月1日	消防職員定員 200名
昭和53年4月5日	7代目消防長に渡邊靖三氏就任
昭和53年12月23日	四日市市と楠町、川越町、朝日町の救急業務に関する応援協定を改定締結
昭和54年4月1日	消防職員定員 207名
昭和55年4月1日	機構改革により、本部の主幹を課長補佐に改め主任を廃止し、総務課に企画係を、消防課に防災指導係 を置き、通信指令室を指令第1及び第2係に改めた 消防署の副署長を署長補佐に改め、主任を廃止した 消防職員定員 215名
昭和56年2月26日	中消防署に救助工作車を配備
昭和56年4月1日	消防職員定員 222名
昭和57年4月1日	消防職員定員 227名
昭和57年12月1日	三重県救急医療情報システム地域救急医療情報センターを開設し、運用開始
昭和58年4月1日	消防職員定員 232名
昭和58年9月30日	渡邊靖三氏消防長を退任
昭和58年10月1日	8代目消防長に山口博氏就任
昭和59年4月1日	機構改革により、各消防署の庶務係を予防係に統合し、北・南消防署に消防第3係を置き、 総務課庶務係を総務係に、装備係を施設装備係に、消防課消防係を警防係に、防災指導係を防災係に、 予防課予防係を建築物係にそれぞれ改めるとともに主幹・主査及び副主査制度を設けた 消防職員定員 236名
昭和59年10月31日	消防本部・中消防署合同庁舎改築(本館棟、鉄骨鉄筋コンクリート造5階一部6階建、建築延面積3,829.09㎡)
昭和60年4月1日	消防職員定員 235名
昭和60年10月18日	桜分遣所改築
昭和62年4月1日	機構改革により消防本部に副参事を設け、研修所及び総務課企画係を統合し企画研修室とした 消防課指令係に第3係を増設し、3係制とした 消防職員定員 240名
昭和62年11月30日	中消防署港分署に配備の消防艇「あさかぜ」を単胴船に更新
昭和63年3月31日	桜分遣所を廃止した
昭和63年4月1日	中消防署西分署を開設(鉄筋コンクリート造平屋建 延べ面積390.85㎡)、4月8日から業務開始、 4月18日竣工式を挙行 機構改革により、西分署に消防第1係、消防第2係、消防第3係を設置し 港分署水上係を水上第1係、水上第2係、水上第3係に改めた 海上分団に普通ポンプ自動車(旧第4号車)を配備した
平成元年10月2日	消防業務のOAシステム(予防)の運用を開始した
平成2年3月31日	山口博氏消防長を退任
平成2年4月2日	9代目消防長に島村隆氏就任
平成2年10月1日	「一人暮らしの老人に対する緊急通報事業」の運用を開始した
平成2年12月6日	中消防署にはしご付消防自動車(45m)を配備
平成3年1月21日	消防業務のOAシステム(指令管制)の運用を開始した
平成3年2月28日	三重郡楠町、朝日町及び川越町と四日市市との間において消防事務委託に関する付属協定書・ 同覚書の調印を行った

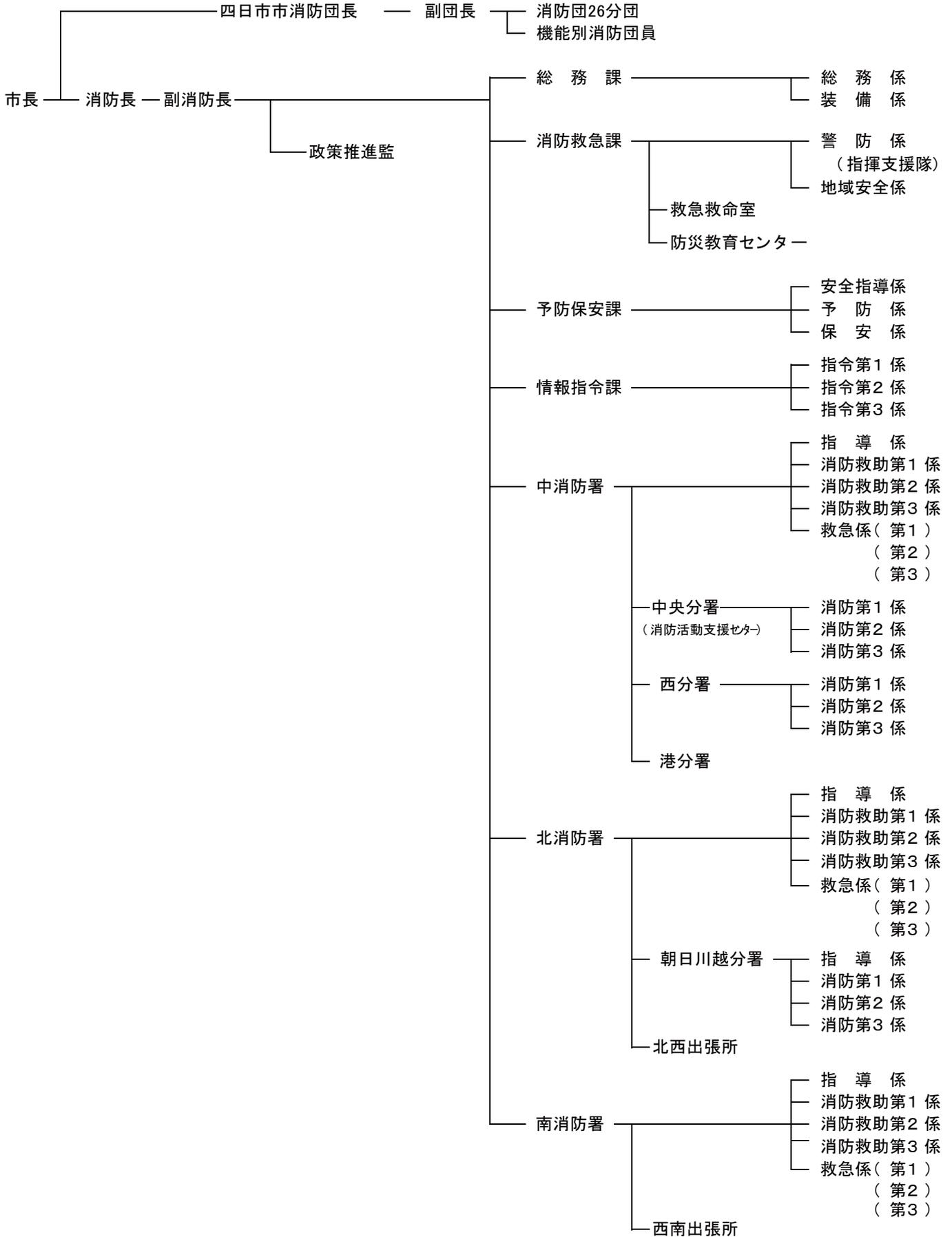
平成3年4月1日	中消防署港分署庁舎移転・新築(鉄筋コンクリート造一部2階建延べ面積208.75㎡) 消防職員定員 245名
平成4年4月1日	三重郡楠町、朝日町及び川越町の消防事務受託に伴い消防職員を増員 消防職員定員 274名 県下初の女性消防吏員3名を採用
平成4年4月15日	消防本部次長を2人制とし、消防課に救急救助係を設けた
平成4年6月23日	救急救命中央研修所及び大阪市消防学校において各1名が研修を終了し、4月19日第1回 救急救命士国家試験に合格 県下初の救急救命士 2名誕生
平成5年2月10日	三重郡楠町の消防事務受託に際し、南消防署を一部増築(事務所部分135.18㎡)
平成5年2月26日	三重郡朝日町、川越町の消防事務受託に際し、北消防署朝日川越分署を建設(鉄筋 コンクリート造一部2階建、延べ面積560㎡)竣工式を挙行
平成5年3月1日	三重郡楠町、朝日町、川越町の消防事務を受託し業務開始 水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、広報車・軽トラック各1台を配備、予防係、消防第1係、 消防第2係、消防第3係、を設置し分署長以下18名で業務を開始した
平成5年4月1日	機構改革により、消防本部に通信指令室を設け消防課の所管とし消防署に副参事を設けた 中消防署に特別救急隊を設置し、高規格救急車の運用を開始した 消防音楽隊を再結成し、練習・訓練を開始した 消防職員定員 284名
平成6年4月1日	機構改革により、中消防署港分署の水上第3係を廃止した 消防職員定員 286名
平成7年3月 3日	四日市市消防本部・四日市市消防団連名で、消防庁長官表彰・表彰旗を受章
平成7年4月1日	消防職員定員 290名
平成8年3月31日	島村隆氏消防長を退任
平成8年4月1日	10代目消防長に小山佳志氏就任 消防職員定員 294名
平成8年7月12日	消防緊急通信指令システム運用開始
平成9年4月1日	機構改革により、消防本部に防災教育センター、中消防署に特別救急救助第1、第2、第3係を設けた
平成9年4月10日	北消防署、防災教育センター竣工
平成10年2月1日	予防システムのOA機器更新
平成10年4月1日	機構改革により、消防本部総務課の所管として情報指令室を置き、同課施設整備係を装備係に、 消防課を消防救急課に、同課の防災係及び救急救助係を統合し地域安全係とし、予防課を 予防保安課に、同課の建築物係を予防係に、危険物係を保安係に、指導査察係を安全指導係に、 各消防署及び朝日川越分署の予防係を指導係に、中消防署の消防第1～3係及び特別救急救助 第1～3係を消防救助第1～3係及び救急係に改称し、北消防署及び南消防署に救急係を設置した 消防職員定員 293名
平成10年10月5日	北勢地域携帯電話119番通報運用開始
平成11年3月31日	小山佳志氏消防長を退任
平成11年4月1日	消防職員定員 292名
平成11年4月3日	11代目消防長に星合隆毅氏就任
平成12年10月1日	北消防署保々分遣所を廃止し、新たに北消防署北西救急分駐所(職員3名、救急車1台)を開設
平成14年2月27日	中消防署に救助工作車(Ⅲ型)を増強配備した
平成14年3月31日	小山田分遣所を廃止
平成14年4月1日	機構改革により北消防署消防係を消防救助係に改め、救助工作車の運用を開始した
平成14年10月1日	小山田地区市民センター内に、新たに南消防署西南救急分駐所(職員3名、救急車1台)を開設
平成15年3月31日	星合隆毅氏消防長を退任 消防音楽隊活動休止
平成15年4月1日	12代目消防長に鈴木史郎氏就任 四日市市消防本部水難救助隊発足
平成15年4月13日	四日市市消防本部水難救助隊発足式
平成16年4月1日	四日市市消防団防災支援者制度発足
平成16年8月20日	四日市市消防支援隊発足
平成17年1月1日	消防情報支援システムの運用開始
平成17年2月7日	四日市市と楠町が合併し新たな四日市市が誕生
平成17年4月1日	機構改革により消防本部総務課情報指令室を消防本部情報指令課に改組した 消防音楽隊を再編し、活動再開
平成17年8月9日	北勢地域携帯電話からの119番通報がブロック代表受信方式から直接受信方式に切替
平成18年3月31日	鈴木史郎氏消防長を退任
平成18年4月1日	13代目消防長に北川保之氏就任 消防職員定員310名
平成18年7月10日	四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会の設置
平成19年4月1日	消防職員定員320名 四日市市、桑名市消防本部が、桑名市消防本部内で消防指令センターの共同運用を開始 機構改革により消防本部消防救急課の指揮支援隊の24時間体制を開始、南消防署消防係を 消防救助係に改め救助工作機能付消防ポンプ自動車の運用を開始した
平成20年4月1日	消防職員定数320名 特別救助隊に替えて高度救助隊を導入
平成20年11月1日	中消防署中央分署(消防活動支援センター)を開署(鉄筋コンクリート造3階建 敷地面積 5,227㎡) 11月10日から業務開始 11月16日開署式を挙行

平成22年3月31日	北川保之氏消防長を退任 楠町消防団解団
平成22年4月1日	14代目消防長に川北悟司氏就任 四日市市消防団の1元化を図るとともに機能別消防団員の 신설および各分団定数増を図り定数620名とする 職員6名を国際消防救助隊(IRT)へ登録 西南および北西救急分駐所へ消防ポンプ自動車を配備し、西南及び北西出張所に名称変更した
平成23年4月1日	機構改革により消防次長制を改め副消防長を設置した
平成24年4月1日	機構改革により消防本部消防救急課に救急救命室を設置した
平成25年1月15日	救急ワークステーション試行運用開始
平成26年3月31日	川北悟司氏消防長を退任
平成26年4月1日	15代目消防長に後藤善博氏就任 救急ワークステーション本格運用開始
平成27年3月31日	後藤善博氏消防長を退任
平成27年4月1日	16代目消防長に山本良也氏就任 消防職員定員361名

歴 代 消 防 長

代	氏名	在 職 期 間
初	吉田千九郎	昭和24年3月29日～昭和29年11月15日
2	中村松次郎	昭和29年11月16日～昭和36年3月31日
3	竹内鉄雄	昭和36年4月15日～昭和43年3月31日
4	富山光三	昭和43年4月1日～昭和47年3月31日
5	倉谷徳助	昭和47年4月1日～昭和50年3月31日
6	松村佳美	昭和50年4月4日～昭和53年3月31日
7	渡邊靖三	昭和53年4月5日～昭和58年9月30日
8	山口博	昭和58年10月1日～平成2年3月31日
9	島村隆	平成2年4月2日～平成8年3月31日
10	小山佳志	平成8年4月1日～平成11年3月31日
11	星合隆毅	平成11年4月3日～平成15年3月31日
12	鈴木史郎	平成15年4月1日～平成18年3月31日
13	北川保之	平成18年4月1日～平成22年3月31日
14	川北悟司	平成22年4月1日～平成26年3月31日
15	後藤善博	平成26年4月1日～平成27年3月31日
16	山本良也	平成27年4月1日～現在

# 四日市市消防機構図



# 総務

## 一 目 統 計

(2町消防事務受託分含む)

消 防 予 算	5,026,048,000 円 (市予算 4.3%)
一 般 会 計 総 予 算	118,390,000,000 円
消 防 職 員 定 数	361 人 以 内
市 職 員 定 数	3,000 人 以 内
人 口 (委 託 2 町 含 む)	337,267 人
人口の最も多い地区 (四日市市)常磐地区	27,963 人
人口の少ない地区 (四日市市)水沢地区	3,303 人
消 防 車 両 等	
(常 備) はしご自動車	2 台
化学消防自動車	2 台
水槽付ポンプ自動車	8 台
消防ポンプ自動車	6 台 (救助工作機能付1台含む)
小型動力消防ポンプ付水槽車	1 台
大型化学高所放水車	1 台
はしご機能付高所放水車	1 台
泡原液搬送車	2 台
救助工作車	2 台
高規格救急自動車	12 台
大容量送水ポンプ車	1 台
大型放水砲車	1 台
その他車両	38 台
(非常備) 消防ポンプ自動車	25 台
水槽付ポンプ自動車	1 台
消防ポンプ積載車	1 台
資機材搬送車	2 台
参 考 (受 託 2 町 非 常 備)	
(朝日町) 水槽付ポンプ自動車	1 台
可搬式ポンプ積載車	5 台
救助資機材搭載型車両	1 台
(小型動力消防ポンプ積載車)	
(川越町) 水槽付ポンプ自動車	1 台
可搬式ポンプ積載車	11 台
救助資機材搭載型車両	1 台
(小型動力消防ポンプ積載車)	

平成26年度・27年度消防費歳出予算(当初額)

(千円)

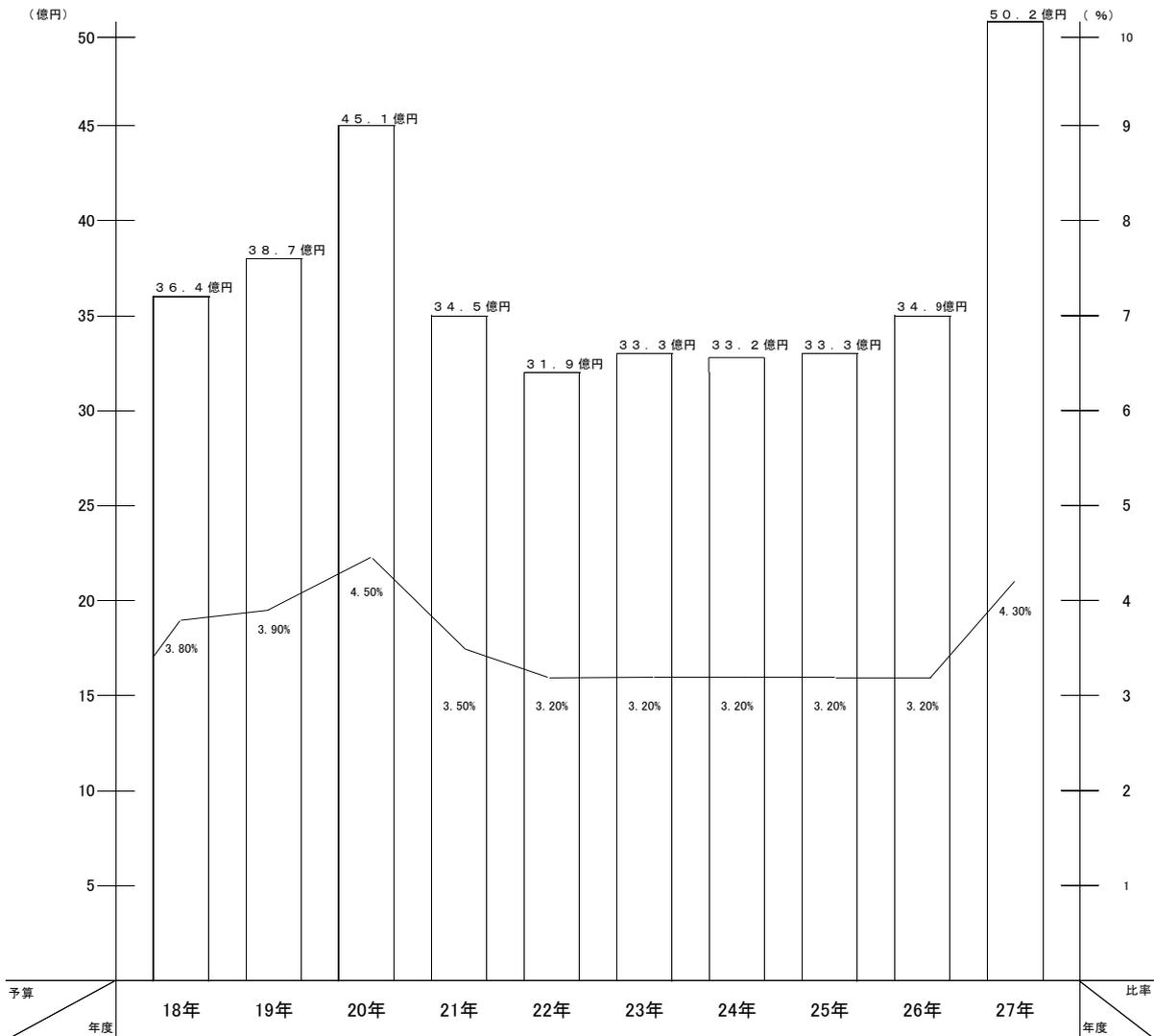
款 項 目	節	平成26年度	平成27年度	比較増△減
消 防 費		3,497,664	5,026,048	1,528,384
消 防 費		3,497,664	5,026,048	1,528,384
常備消防費		3,192,050	3,131,147	△ 60,903
	給 料	1,222,957	1,225,892	2,935
	職 員 手 当	1,189,810	1,141,592	△ 48,218
	共 濟 費	413,059	419,987	6,928
	賃 金	1,315	1,330	15
	報 償 費	19,360	24,567	5,207
	旅 費	5,913	6,476	563
	交 際 費	0	0	0
	需 用 費	145,750	108,218	△ 37,532
	役 務 費	8,594	9,371	777
	委 託 料	72,225	78,556	6,331
	使用料及び賃借料	5,070	5,348	278
	工 事 請 負 費	300	10,000	9,700
	原 材 料 費	50	50	0
	備 品 購 入 費	14,665	9,990	△ 4,675
	負担金補助及び交付金	75,446	71,234	△ 4,212
	補償補填及び賠償金	17,500	18,500	1,000
	公 課 金	36	36	0
非常備消防費		138,038	144,576	6,538
	報 酬	17,442	17,442	0
	共 濟 費	1,178	1,178	0
	災 害 補 償 費	2,000	2,000	0
	報 償 費	12,420	12,420	0
	旅 費	70,838	65,837	△ 5,001
	交 際 費	0	0	0
	需 用 費	11,415	22,771	11,356
	役 務 費	4	4	0
	委 託 料	1,636	1,841	205
	使用料及び賃借料	455	564	109
	工 事 費	0	0	0
	備 品 購 入 費	80	80	0
	負担金補助及び交付金	20,570	20,439	△ 131
	補償補填及び賠償金	0	0	0
消防施設費		166,450	1,748,793	1,582,343
	需 用 費	0	0	0
	役 務 費	200	2,350	2,150
	委 託 料	10,150	43,450	33,300
	使用料及び賃借料	0	0	0
	工 事 請 負 費	78,100	1,340,400	1,262,300
	公有財産購入費	0	76,500	76,500
	備 品 購 入 費	78,000	286,093	208,093
	負担金補助及び交付金	0	0	0
水 防 費		1,126	1,532	406
	報 償 費			0
	旅 費			0
	需 用 費	650	962	312
	委 託 料	0	0	0
	工 事 請 負 費	0	0	0
	原 材 料 費	476	570	94
	備 品 購 入 費			0
	負担金補助及び交付金			0

## 消防費に対する人口世帯当り額

	消防費（千円）	人口（人）	世帯	1人当り額（円）	1世帯当り額（円）
平成23年度	3,326,125	338,041	137,504	9,839	24,189
平成24年度	3,315,899	337,976	138,537	9,811	23,935
平成25年度	3,327,122	337,400	139,573	9,861	23,838
平成26年度	3,497,664	337,162	140,956	10,374	24,814
平成27年度	5,026,048	337,267	142,518	14,902	35,266

## 過去10年間の消防費の推移

%は、市一般会計予算額に対する消防費の比率



消 防 職 員 の 推 移

(平成27年4月1日現在)

年 度 別	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
定 員	320	320	320	320	361	
実 員	消防吏員	315	314	316	316	315
	再任用/その他の職員	6	6	5	5	11
	合 計	321	320	321	321	326
消防職員定員増減	0	0	0	0	41	

(県出向職員・再任用・その他の職員は合計数に含む 市長部局への出向職員・嘱託職員は合計数に含まず)

消 防 職 員 特 殊 技 能 資 格 取 得 状 況

(平成27年4月1日現在)

階 級 別 資格種別		合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
自 動 車 免 許	大 型	243		3	16	30	67	112		15
	け ん 引	9				1	6	1		1
	大 型 特 殊	9				2	3	4		
自動車整備士		5				1	2	2		
海技士(航海)		1				1				
海技士(機関)		1			1					
小型船舶操縦士1級		10			2	2	4	1		1
小型船舶操縦士2級		38			4	5	9	16		4
小型移動式クレーン		243		3	9	18	43	125		45
玉掛資格		300		6	15	35	65	134		45
ガス溶接資格		261		3	11	30	60	133		24
無 線 技 師	第2級海上特殊無線技士	7				1	3	2		1
	レーダー級海上特殊無線技士	6				1	3	2		
	第2級陸上特殊無線技士	314	1	7	19	35	70	138		44
救 急	救急I課程	18	1	4	4	5		4		
	救急II課程(標準課程含む)	235		2	10	22	56	100		45
	救急救命士	72		1	5	9	14	42		1
応急手当指導員		315	1	7	19	36	70	138		44
第2種衛生管理者		24		5	6	5	6	2		
酸素欠乏危険作業主任者		48		1	6	16	16	8		1
潜水士		39				1	12	20		6
予 防 技 術 資 格 者	防火査察	37	1	4	7	9	8	8		
	消防用設備	20		2	3	7	4	4		
	危険物	29	1	2	5	8	6	7		
危 険 物 取 扱 者	甲種	11		2	1		2	5		1
	乙種	199		1	7	10	34	102		45
消 防 設 備 士	甲種	5		1	1			3		
	乙種	10		1	2	2	3	2		
防火対象物点検資格者		3				2		1		
非破壊検査技術者		2					1	1		

階級別・所属別消防職員配置状況

(平成27年4月1日)

階級別		合	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員
所属別		計									
合計		326(14)[5]<13>⑩(1)●	1	7[2]	17(1)[2]	36(1)	69(1)<3>	139<5>⑩		56(11)<5>	1(1)●
消防	消防長	1	1								
	副消防長	2		2							
	警防技監	0									
	政策推進監兼同和行政推進監	1			1						
	小計	23(14)<1>[1]①(1)		[1]	2(1)	2(1)	4(1)	3①		11(11)<1>	1(1)
	総務課	[1]		[1]							
	課長補佐	1			1						
	総務課付	14(14)<1>			1(1)	1(1)	1(1)			11(11)<1>	
	総務係	3				1	1	1			
	装備係	3					2	1			
課員	2①(1)						1①			1(1)	
消防	消防救急課	22[1]<1>①		[1]	2	3	8	9<1>①			
	課長補佐	[1]		[1]							
	警防係	1			1						
	地域安全係	15				1	7	7			
	救急救命室	2①				1	1	1①			
本部	センター	3(1)●			[1]						③
	所長	[1]			[1]						
	所員	③									③
本部	予防保安課	17<1>②		1	2	3	2	9<1>②			
	課長補佐	1		1							
	予防係	2			2						
	保安係	3				1		2			
	安全指導係	5<1>				1	1	3<1>			
本部	情報指令課	6②				1	1	4②			
	小計	15		1	3	2	4	5			
	課長補佐	3			3						
消防	指令課	11				2	4	5			
	小計	110[1]<5>②		1	4[1]	10	29<2>	46(2)②		20<1>	
	本署	62[1]<3>②		1	[1]	7	13<1>	29<1>②		12<1>	
	署長	1		1							
	副署長	[1]			[1]						
	指導係	6<1>②				1	1	4<1>②			
	消防救助係	43				3	10	19		11	
	救急係	12(2)				3	2<1>	6		1<1>	
	中央分署	31(2)			2	2	8<1>	11<1>		8	
	分署長	1			1						
	副署長	1			1						
	分署員	29(2)				2	8<1>	11<1>		8	
	西分署	16			1	1	8	6			
	分署長	1			1						
	分署員	15				1	8	6			
港分署	1			1							
分署長	1			1							
分署員	1			1							
消防	北分署	77<4>②		1	2	10	11<1>	40(1)②		13(2)	
	小計	58<4>②		1	1	7	7<1>	30(1)②		12(2)	
	本署	1		1							
	副署長	1			1						
	指導係	5<1>②				1		3②		1<1>	
	消防救助係	39(3)				3	7<1>	20<1>		9<1>	
	救急係	12				3		7		2	
	朝川分署	19			1	3	4	10		1	
	分署長	1			1						
	指導係	2				1				1	
消防係	16				2	4	10				
消防	南分署	58<1>②		1	1	6	11	27②		12<1>	
	署長	1		1							
	副署長	1			1						
	指導係	5<1>②				1	1	2②		1<1>	
	消防救助係	39				3	8	17		11	
救急係	12				2	2	8				
市長部局へ出向		4			2		1	1			

( )は県派遣職員および消防学校入校職員、<>は女性消防吏員、○数字は再任用職員、{ }はその他の職員をそれぞれ内数で表す。市長部局への出向職員、●数字の嘱託職員は合計数に含まず。[ ]は兼務である。

## 消 防 職 員 年 令 別 分 布

(平成27年4月1日現在)

階級別 年令	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合 計	326	1	7	17	36	69	139	0	56	1
18	3								3	
19	3								3	
20	1								1	
21	1								1	
22	6								6	
23	4								4	
24	6								3	
25	3						1		5	
26	5								5	
27	7						2		5	
28	7						4		3	
29	8						6		2	
30	15						12		3	
31	15						9		6	
32	17						14		3	
33	18						15		3	
34	8					1	7			
35	10					3	7			
36	9						9			
37	5					3	2			
38	9					6	3			
39	11					4	7			
40	8				2	2	4			
41	7				2	4	1			
42	8				3	3	2			
43	11				3	6	2			
44	12				2	6	4			
45	8			1	2	1	4			
46	10					4	6			
47	12				4	3	5			
48	4					2	2			
49	5				3	2				
50	8			3	3	2				
51	5			1	1	3				
52	3			1		1	1			
53	8			2	3	3				
54	5		1	1	2	1				
55	2				1	1				
56	8		1	4	1	2				
57	5		1	3		1				
58	11	1	2	1	3	4				
59	4		2		1	1				
60	6						6			
61	1						1			
62	3						3			
63	1									1

(県出向職員・再任用・その他の職員は合計数に含む 市長部局への出向職員、嘱託職員は合計数に含まず)

平均年齢 39.7 歳

## 消 防 職 員 勤 続 年 数 別 分 布

(平成27年4月1日現在)

階級別 勤続年数	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合 計	326	1	7	17	36	69	139	0	56	1
0～1	11								11	
1～2	4								4	
2～3	5								5	
3～4	6								6	
4～5	4								4	
5～6	5						1		4	
6～7	17						8		9	
7～8	28						18		10	
8～9	20						18		2	
9～10	12						12			
10～11	13						12		1	
11～12	8					1	7			
12～13	7					1	6			
13～14	9					2	7			
14～15	7					2	5			
15～16	7					5	2			
16～17	3					3				
17～18	14				3	5	6			
18～19	4				1	1	2			
19～20	11				1	4	6			
20～21	6				2	4				
21～22	6				1	3	2			
22～23	12				1	8	3			
23～24	26			1	7	9	9			
24～25	5				2		3			
25～26	4				1	2	1			
26～27	3				1	2				
27～28	0									
28～29	8			3	2	2	1			
29～30	2			1		1				
30～31	0									
31～32	2				2					
32～33	6		1	1	2	2				
33～34	10	1		2	3	4				
34～35	9			4	3	2				
35～36	12		2	2	3	4	1			
36～37	7		3	1	1	1	1			
37～38	3					1	2			
38～39	5		1	1			3			
39～40	2			1			1			
40～41	1						1			
41～42	0									
42～43	1						1			
43～44	1									1

(県出向職員・再任用・その他の職員は合計数に含む 市長部局への出向職員、嘱託職員は合計数に含まず)

平均勤続年数 17.1 年

## 消 防 車 両 配 置 状 況

(平成27年4月1日現在)

区分		所属別											合計	消防団
		消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	朝日川越分署	北西出張所	南消防署	西南出張所	防災教育センター		
消 防 車	消防ポンプ自動車	-	1	1	-	-	1	-	1	-	1	-	5	25
	救助機能付消防ポンプ自動車	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	
	水槽付ポンプ自動車	-	1	1	2	-	2	1	-	1	-	-	8	1
	化学消防ポンプ自動車	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	2	
	小型動力消防ポンプ付水槽車	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	はしご自動車	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	
	はしご機能付高所放水車	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	
	大型化学高所放水車	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	泡原液搬送車	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	
	救助工作車	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	
	消防ポンプ積載車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	1
	大容量送水ポンプ車	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	大型放水砲車	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
高規格救急自動車	-	3	1	1	-	2	1	1	2	1	-	12		
そ の 他 の 車 両	指揮車	2	1	-	-	-	1	-	-	1	-	5		
	支援車	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	水難救助車	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1		
	泡原液運搬車	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	資機材搬送車	1	-	1	-	-	1	-	-	1	-	4	2	
	火災原因調査車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	立入検査車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	広報車	6	1	1	1	1	1	1	-	1	-	13		
	防災指導車	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2	
	救急普及啓発車	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	
	軽四トラック	-	1	-	1	-	1	1	-	1	-	-	5	
	乗用車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
その他	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2		
合計	14	14	8	5	2	13	4	2	12	2	1	77	29	

消防用資機材配置状況

(平成27年4月1日現在)

区分 / 所属	消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	朝川分署	南消防署	合計
空気呼吸器		29	20	15		44	10	29	147
酸素呼吸器		5				5			10
エンジンカッター		4	1	3		2	1	2	13
高発泡器		1				2			3
大容量泡放射砲(1S)		1				1		1	3
可搬式放水銃		3	2	3		3	1	2	14
耐熱服		8	5			4		6	23
ガス測定器	1	6	1	1		6	1	3	19
各種測定器	4	12				10		3	29
救命ボート		3	1			1		1	6
油圧切断機		2				1		1	4
チェーンソー		2				3	1	1	7
ボートパワー		1				1			2
救命索発射銃		1				1		1	3
ガス溶断器		1				1	1	1	4
発動発電機		8	5	4	1	16	2	3	39
排送風機		2	1	2		4	1	1	11
エアソー		2	1	1		2		1	7
救助幕		1							1
油圧スプレッター		1				2		1	4
マット型空気ジャッキ		4				6		2	12
削岩機		1				2			3
耐電衣		5				5		3	13
防毒衣		8				9		15	32
マンホール救助器具		1				2			3

高度救助用資機材

画像探索機 1型		1							1
画像探索機 2型		1				1			2
熱画像直視装置		1	3			1		1	6
地中音響探知機		1							1
夜間用暗視装置		2							2
エアラインマスク		1							1
地震警報器		1				1			2
オイルフェンス	20m×10								10
潜水器具					31				31
高圧空気充てん機		1			1				2

救急用資機材配置状況

(平成27年4月1日現在)

区分 / 所属	消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	朝川分署	南消防署	合計
AED	1	7	4	3	1	9	3	6	34
AEDトレーナー	3	7	3	2		9	3	10	37
指導用訓練人形 成人	7	11	5	9		16	12	19	79
小児	5	5	5	6		5	5	6	37
乳児	5	5	5	5		5	5	5	35
救急隊員教育訓練人形		1	1			1		1	4

平成26年度職員研修実施状況

研修別	研修名	研修日	計(人)
派遣研修	1 消防大学校		
	1 指揮隊長コース	5/15-5/23	1
	2 危険物科	6/24-7/24	1
	3 救助科	8/25-10/15	1
	4 警防科	10/21-12/10	1
	5 違反是正特別講習	12/15-12/19	1
	6 幹部科	1/13-2/27	1
	7 警防業務リーダー講習会(愛知県会場)	1/30	1
	8 高度救助・特別高度救助コース	2/12-2/25	1
	9 NBCコース	3/4-3/17	1
2 三重県消防学校	1 初任科(51期)	4/7-12/2	4
	2 救急科救急課程(17期)	9/25-11/19	4
	3 救助科水難救助課程(14期)	5/19-5/30	2
	4 特別科気管挿管追加講習(ビデオ喉頭鏡)	7/15-7/16	1
	5 特別科救急救命士処置拡大講習	7/7.8 11/4.5 3/2.3	25
	6 気管挿管フォローアップ研修	9/12	1
	7 救助科救助課程(24期)	10/1-10/31	3
	8 特別科指揮課程(2期)	12/2-10/6	4
	9 危険物科危険物課程	12/4-12/10	3
	10 特別科はしご自動車講習(21期)	12/15-12/18	3
	11 指導救命士養成研修	12/18-12/19	2
	12 初級幹部科(36期)	1/19-1/30	4
	13 予防査察科予防査察課程(6期)	1/26-2/6	4
	14 特別科救急救命士ブラッシュアップ講習①	1/10-1/23	3
	15 特別科救急救命士ブラッシュアップ講習②	2/16-2/20	3
	16 中級幹部科(23期)	2/2-2/10	4
	17 警防科警防課程(26期)	2/23-3/6	3
3 救急救命士養成所	1 救急救命東京研修所(前期) 新規養成	4/3-9/25	2
	2 救急救命東京研修所(後期) 新規養成	8/29-3/9	1
	3 名古屋市救急救命養成所 新規養成	8/18-3/9	1
4 全国市町村アカデミー	1 災害に強い地域づくり(大災害にそなえて)	6/2-6/6	1
	2 人事・組織管理とメンタルヘルス	6/23-6/27	1
	3 災害に強い地域づくりと危機管理	12/2-12/10	2
5 財団法人日本経営協会主催研修	公共用地取得の法律と税務実務	6/26-6/27	1
	6 市職員研修所が企画する研修		
1 新規採用職員研修	4/2-4/3	4	
2 新任係長級職員研修	4/17, 4/24, 5/8, 5/13	6	
3 新任課長補佐級職員研修	4/16, 4/23, 5/29, 6/3	6	
4 新任課長級職員研修	4/15, 4/25, 5/9, 5/23, 5/29	4	
5 新所属長職員研修	4/29, 5/2, 5/28-30	1	
6 準管理職候補者研修	5/1, 7/1, 7/15	10	
7 管理職候補者研修	7/8, 7/16, 7/22, 8/7, 8/8, 10/20, 10/21	3	
8 ステージ②49歳研修	5/28-5/30, 7/2	2	
9 ステージ③54歳研修	5/28-5/30, 7/2	4	
10 災害情報システム操作研修会	5/13	7	
7 全国消防長会/消防協会東海支部が主催する講習会	1 消防長研修会	9/3	1
	2 第17回日本臨床救急医学会		
	3 火災調査研究発表会	10/15	4
	4 救急コ・メディカルセミナー	10/16	7
	5 鉄道構造講習会及び訓練会	11/8	2
	6 違反是正事例研究会	11/20	4
	7 企業防災対策指導者研修会	2/20	2
8 三重県消防長会が関係する研修	1 違反是正研修会	8/25	4
	2 水難救助オープンカレッジ	10/22	2
	3 消防長研修会	11/12	7
	4 救助オープンカレッジ	11/19	3
	5 違反是正に関する事例研究会	1/30	4
	6 ステータックロープレスキューセミナーSTEP3	2/3, 2/4	1
9 危険物セミナー	1 危険物施設安全推進講習会(大阪市)	6/12	1
	2 危険物安全講習	6/12	1
	3 保安技術講習会(大阪市)	7/23, 7/24	1
	4 第14回事故の教訓と保安管理技術セミナー(大阪市)	8/21, 8/22	1
	5 事故防止対策セミナー	10/14	1
	6 統括防災要員研修会	1/20	1
	7 危険物事故事例セミナー(大阪市)	2/23	1
	8 石油コンビナート事務担当研修会(東京都千代田区)	3/2	1
10 その他派遣研修	1 三重県人権大学講座	6/3-10/28の間、全20回	1
	2 放射線の基礎とサーベイメータの使い方(入門編)	6/19	3
	3 調査技術会議(名古屋)	7/10	5
	4 非常通信セミナー(名古屋)	11/28	1
	5 日本救急医学会中部学術集会(第17回)(甲府市)	11/28	1
	6 消防用設備等保守点検業務研修会(津市)	12/10	1
	7 消火設備研修会(小牧市)	1/20	1
	8 救急隊員シンポジウム(相模原市)	1/29, 1/30	3
	9 三重県市町村総合事務組合主催プレゼンテーションスキルアップ研修	2/12, 2/13	1
資格取得研修	11 資格取得など		
	1 大型自動車運転免許(新規)	随時	10
	2 危険物取扱者保安講習	随時	3
	3 潜水士免許(新規)	6/6	2
	4 酸素欠乏・硫化水素危険業務作業主任技能講習	6/25-6/27	2
	5 第2種衛生管理者免許	8/26	2
	6 2級小型船舶操縦士免許(新規取得)	2/23, 2/24	2
	7 2級小型船舶操縦士免許(更新及び失効講習)	1/12, 1/18, 2/1, 2/8のうち1日	6
8 予防技術資格者(新規)	3/15	9	
視察研修	12 先進都市視察など 総務省消防庁主催 国際消防救助隊セミナー(大津市及び京都市)	12/2-12/4	1

# 消防プリセプターシッププログラム

## プリセプター研修について

四日市市消防本部では、新人消防職員の育成と能力開発を図り、住民に質の高い消防行政サービスの維持・向上を図るため、プリセプターシッププログラムによる新人教育を実践しています。

他の業種では、看護職場が1990年初期から質の高いサービスを安定的に提供するため、新人をバックアップする体制としてプリセプターシップを取り入れています。

プリセプターシップとは、新人職員の業務遂行に必要な能力開発を効果的に効率よく達成するための、組織内教育制度です。「努力と根性」を長い間ポリシーとしてきた日本のスポーツ界でも、辛い練習を延々と続けることを強いる時代から「科学的な個別の練習メニュー」を尊重する時代になり成果を上げています。プリセプターシップに求めていることも同様です。仕事の特性と人材の特徴を捉えて、無理なく効果的に、そして達成感を味わいながら、新人職員が成長を続けていける人材教育システムがプリセプターシップです。

さらに、プリセプターシップは、新人職員だけでなく、先輩職員のキャリアアップの一環としても機能するものです。先輩がプリセプターとして後輩を教育指導することにより、対人関係能力や指導能力の成長が図られ、その役割遂行を通じて、準備や能力開発の努力をして、消防観の確立を図る効果があります。

消防本部では、消防行政サービスの維持・向上を図るため、平成20年度から「消防プリセプターシッププログラム」を策定し、新人教育体制の確立を図りました。

## 消防プリセプターシッププログラム策定の目的

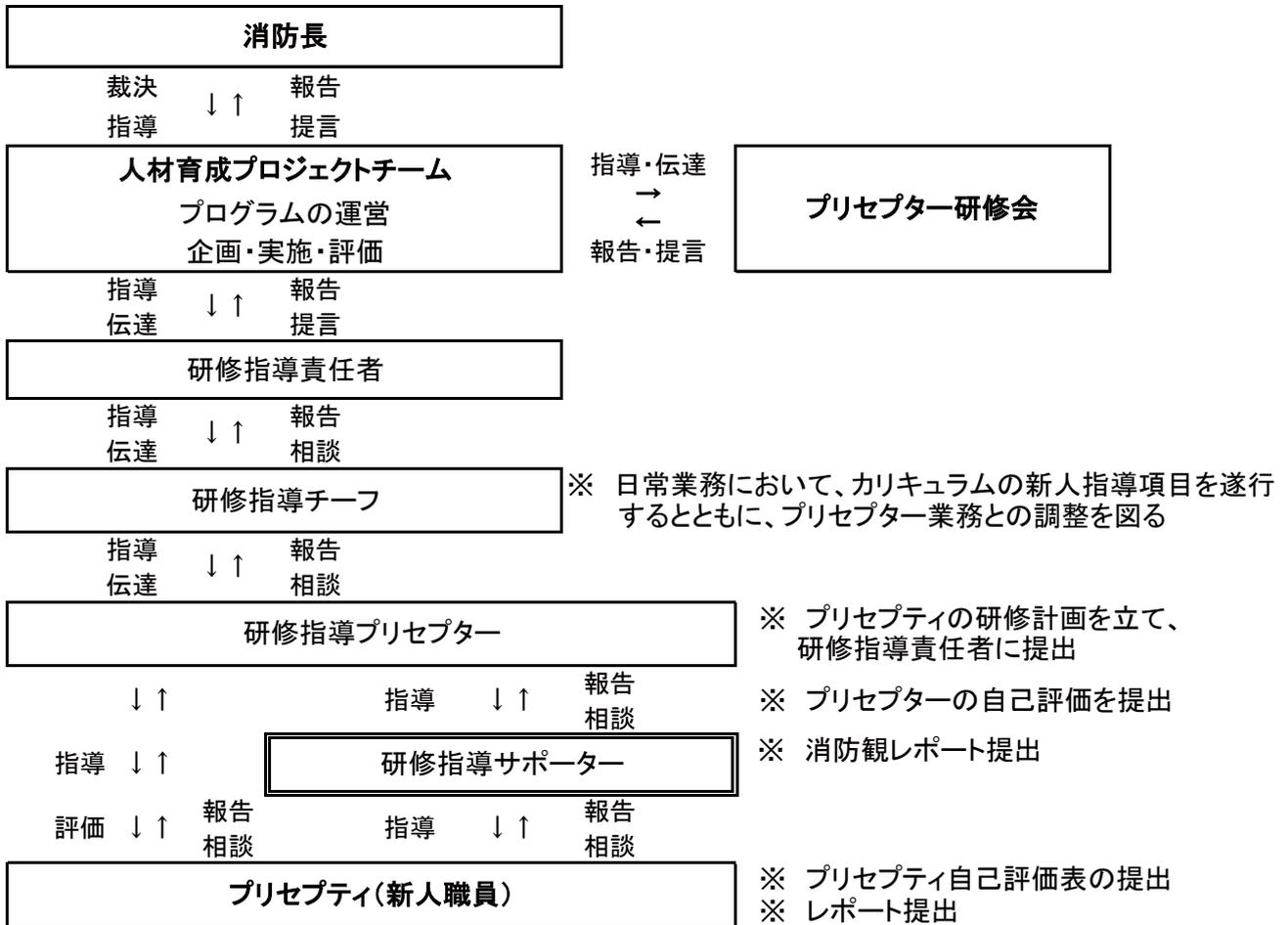
- 1 消防学校を卒業した新人消防士(プリセプティ)に対して、リアリティショックを緩和し、早く職場に適応することができるよう促す。
- 2 消防士長以上の階級職員を新人研修指導者とし、その役割遂行を通して、指導能力の育成および消防観の確立を図る。
- 3 警防・救急業務に関して、消防実践能力を習得し、消防実務者としての役割が取れるようにサポートシステムを形成する。

## 消防プリセプターシッププログラム運営の方法

- 1 目的の1、2については、プリセプターシップ研修プログラムを用いて、目的の達成を図る。
- 2 目的の3については、分野別指導カリキュラムを用いて、職場全体で取り組む。

## プログラムの管理運営

- 1 プログラムの管理責任 消防長
- 2 プログラムの管理運営体制



### 3 プログラムの運営

#### 「人材育成プロジェクトチーム」

##### 1) 構成

責任者 総務課長  
委員長 政策推進監

##### 2) 機能

- ① 研修プログラムの運営(企画・実施・評価)を行う。
- ② 消防長に対して、プリセプターシップ研修プログラムに関する報告・提言を行う。
- ③ 研修部署の指導責任者およびプリセプター研修会に対して、指導・伝達を行う。
- ④ プリセプター研究会(隔月1回)が、自主的・効果的に運営されるよう指導する。
- ⑤ 研修部署から提出されたプリセプター評価表および指導観レポート等に基づき研修目標に対する達成度を評価する。
- ⑥ 研修プログラムの総合評価を行い、消防長に報告する。

### 4 各部署の指導体制

「新人職員人材育成体制」のとおり。

## 消防プリセプターシップ 新人職員人材育成体制

区分	役割・機能	備考
人材育成の責任者	消防長	
人材育成の運営	人材育成プロジェクトチーム	
人材育成計画・実施・評価		
研修指導責任者	所属長	
研修指導チーフ	係長	プリセプターの相談に対し、助言・指導する。
	新人職員が属する係の係長	
研修指導プリセプター	新人職員が属する係の消防士長以上で、所属長が指名する。	プリセプティーに対する研修指導担当者で、プリセプティー1人に対し、プリセプター1人の体制を原則とする。
研修指導サポーター	新人職員が属する係の採用2年目以上の職員	プリセプティーに対する研修支援・補助者
受講者	採用1年目の職員	
研修指導期間	消防学校卒業後、各所属に配属された12月から翌年の11月までの1年間	
研修指導内容	新人職員指導カリキュラム	
プリセプター養成研修	消防士長以上受講	プリセプターは必ずプリセプター養成研修を受講
プリセプターフォローアップ研修	12月から毎月実施、4月以降3ヶ月に1回実施	プリセプター・プリセプティー・チーフ・所属長

## 平成26年度主要記録

年	月	日	主な記事	日	その他の記事
26	4	7	<b>初任科生入校</b> 於：三重県消防学校 第51期生 4名が入校、12月2日卒業	11	<b>三重県消防職員意見発表会</b> 於：桑名市
	5	14.15	<b>防火管理講習</b> 甲種防火管理新規講習110名、乙種防火管理講習20名が受講	25	<b>指揮活動訓練</b>
		16	<b>防災管理講習</b> 防災管理新規講習39名が受講		
		30	<b>防火協会総会</b> 優良防火管理事業所として6事業所を表彰		
	6	1～30	<b>危険物安全管理強調月間</b> 月間中にコンビナート事業所を対象に本部で「防災診断」及び危険物保有事業所等を対象に各署で立入検査及び消防訓練を実施	6	<b>三重県内高速道路消防連絡協議会(全員協議会)</b>
		4	<b>優良危険物事業所表彰</b> 優良危険物事業所として4事業所を表彰	17	<b>消防安全衛生委員会</b>
		24.25.26	<b>防火管理講習</b> 甲種防火管理再講習19名、甲種防火管理新規講習115名が受講		
	7	4	<b>安全講演会</b> 『コンビナート災害における消防隊の安全管理について』 講師：姫路市消防局	30	<b>第43回消防救助技術東海地区指導会</b> 於：三重県消防学校
		27	<b>第51回消防団消防操法競技大会及び防災フェスタ</b> 於：中央緑地公園 25分団が出場し競技を実施 第1位： 神前分団 第2位： 富田分団 第3位： 水沢分団	30	<b>愛知県消防通信連絡協議会総会</b> 於：名古屋市役所
	8	28	<b>石油コンビナート・海上防災訓練</b> 於：コスモ石油株式会社四日市製油所	27	<b>第43回全国消防救助技術大会</b> 於：千葉県千葉市 (広島市土砂災害により中止)
				27	<b>消防職員委員会</b>
	9	28	<b>市民総ぐるみ総合防災訓練</b> 於：なやプラザ	8	<b>第1回三重県図上訓練</b> 於：三重県庁

10	1	<b>安全衛生講演会</b> 『良好なコミュニケーションについて』 講師:臨床心理士	2	<b>第11回三重県警防技術交換会</b> 於:三重県消防学校
			8	<b>三重県内高速道路消防連絡協議会(研修会)</b> 於:三重県消防学校
	25	<b>防火ポスター・防火習字の入選者の表彰</b> 管内の園児及び小・中学生を対象に防火ポスター・防火習字を募集し、入選者の表彰式	18, 19	<b>緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練</b> 於:和歌山県 田辺市 串本町 白浜町
			24,27,28	<b>警防救助技術発表会</b> 於:県合同庁舎
11	10	<b>特別消防訓練</b> 於:イオン四日市北店	2	<b>三重県総合防災訓練</b> 於:志摩市
11.12.13		<b>防火管理講習</b> 甲種防火管理新規講習110名、乙種防火管理講習16名、甲種防火管理再講習27名が受講	12	<b>消防長研修会</b> 『緊急消防援助隊の今後について』 講師:総務省消防庁国民保護・防災部防災課 広域応援室長 於:四日市市
9~15		<b>秋の火災予防運動</b> 9 防火パレード	15,16	<b>緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練</b> 於:石川県珠洲市
12	29~30	<b>年末特別警戒</b>	20	<b>三重県内高速道路消防連絡協議会(訓練)</b> 於:伊勢自動車道 勢和多気JCT
26	1	11 <b>平成27年消防出初式</b> 於:四日市ドーム 市民に対し消防力を披露し防火防災意識の普及啓発を図るため実施	11	<b>朝日町・川越町合同出初式</b> 於:朝日町
		26 <b>第61回文化財防火デー</b> 文化財愛護思想と防火防災思想の高揚と貴重な文化遺産を後世に継承するため管内一円で消防訓練や立入検査等を実施		
		27 <b>防災管理講習</b> 防火・防災管理再講習7名が受講		
	28.29	<b>防火管理講習</b> 甲種防火管理新規講習110名、乙種防火管理講習12名が受講		
	2	17 <b>特別消防訓練</b> 於:近鉄百貨店	6	<b>第2回三重県図上訓練</b> 於:三重県庁
	3	1~7 <b>春の火災予防運動</b>	6	<b>指揮能力向上研修</b>

## 平成27年度消防重点事業

安全で安心なまちづくりに向け、消防力の強化・消防救急体制の充実をはじめ、総合的な災害対応力の向上を図ります。特に、各種災害に迅速かつ的確に対応するため、初動体制の強化、救命率の向上、火災の予防及び延焼防止対策を重点的に実施します。

### 1. 消防救急無線デジタル化及び新消防指令センター整備事業について

平成28年4月の運用開始に向け、消防救急無線のデジタル化する。平成26年度に整備した共通波(全国の消防車と通信可能)に加え、平成27年度は活動波(各消防本部の専用波)の整備を行うとともに、中消防署中央分署において四日市市、桑名市及び菰野町の3消防本部による共同の新消防指令センターを設置します。

### 2. 新消防分署整備事業について

消防車及び救急車の現場到着時間の短縮を図るため、本市の南部及び北部地域に新消防分署を設置するため、平成27年度は(仮称)南部消防分署の用地取得、造成及び設計に取り組むとともに、北部地域における候補地選定等の基本調査を行います。

### 3. 消防団の施設、装備の充実について

地域防災活動における中核的な役割を果たす消防団員の安全を確保するため、「消防団の装備の基準」の改正に伴い、全消防団員に防塵メガネを配備するとともに、難燃性能を有した新基準の活動服に更新します。また、消防団の活動拠点を整備するため、老朽化した消防分団車庫の改築等を行います。

### 4. 庁舎整備事業(アセットマネジメント)について

四日市市アセットマネジメント基本方針に基づき、消防庁舎の計画的な予防保全による長寿命化及び長期的な経費の削減に取り組みます。

### 5. 消防車両の整備について

更新計画に基づき老朽化した消防車両の更新を行います。平成27年度は、北消防署の水槽付消防ポンプ自動車、中消防署の消防ポンプ自動車、南消防署及び中央分署の高規格救急自動車、北消防署の広報車、中消防署及び南消防署の軽トラックを更新します。

### 6. 救急業務の高度化について

平成26年4月から市立四日市病院において本格稼働している救急ワークステーションでの研修を充実させるとともに、全ての救急車に救急救命士が乗車する体制を確立するため、4名の救急救命士を養成します。

### 7. 火災予防対策事業について

火災予防対策の強化に向け、コンビナート事業所や防火対象物等への立入検査や防火安全指導を強化するとともに、市民の防火意識の高揚を図るため、火災予防運動などの啓発活動を実施します。

### 8. 耐震性貯水槽整備事業について

大規模災害時における消防水利を確保するため、地下式耐震性貯水槽を整備します。平成27年度は生桑町及びときわ5丁目地内に60m<sup>3</sup>型の耐震性貯水槽を設置します。

## 相 互 応 援 協 定

当該市町村だけでは対処し得ない大規模広域災害や市町村境界付近で発生した災害等に対し、応援協定を締結して、円滑有効な防ぎよ活動を実施し、災害による被害を最小限にとどめるため、本消防本部においては下記に示すとおり各市町村と応援協定を締結し、消防力の効率的な運用を図っている。

### (1) 消防相互応援協定

協 定 名	締 結 年 月 日	協 定 市 町 村
三重県内消防相互応援協定	平成19年3月1日 締結	四日市市長以下県内29市町長、5消防組合管理者及び三重県知事

### (2) 船舶消防に関する応援協定

協 定 名	締 結 年 月 日	協 定 市 町 村
船舶消防に関する業務協定	昭和46年5月22日締結	四日市市消防本部、四日市海上保安部

### (3) 高速道路における消防応援協定

協 定 名	締 結 年 月 日	協 定 市 町 村
高速自動車国道近畿自動車道名古屋亀山線、名古屋神戸線、伊勢線及び尾鷲多気線にかかる消防相互応援協定	平成25年3月19日締結	四日市市・津市・伊勢市・松阪市・桑名市・鈴鹿市・亀山市・木曾岬町・朝日町・川越町・多気町・玉城町・大台町・大紀町・紀北町・松阪地区広域消防組合・紀勢地区広域消防組合・三重紀北消防組合

警

防

# 一 目 統 計

平成 2 6 年 中

火 災 件 数 1 1 1 件

損 害 額 1 4 1, 8 9 4 千 円

出 火 率 3. 3 件

【朝日町・川越町を含む 3 3 7, 9 8 8 人で算出】

建 物 焼 損 床 面 積 2, 1 3 4 m<sup>2</sup>

建 物 焼 損 表 面 積 5 1 1 m<sup>2</sup>

最 も 多 か っ た 火 災 原 因 放 火 ( 放 火 の 疑 い を 含 む ) 1 7 件

火 災 種 別 件 数

建 物 火 災 6 3 件

林 野 火 災 4 件

車 両 火 災 1 2 件

船 舶 火 災 1 件

そ の 他 火 災 3 1 件

( 3 1 件 中 枯 草 火 災 1 3 件 )

火 災 多 い 少 な い

火 災 の 多 か っ た 月 3 月 1 6 件

火 災 の 少 な か っ た 月 9 月、 1 1 月 4 件

火 災 の 多 か っ た 時 間 帯 1 6 時 ~ 1 7 時 9 件

火 災 の 少 な か っ た 時 間 帯 1 時 ~ 2 時、 2 時 ~ 3 時、 2 3 時 ~ 0 時 0 件

火 災 の 一 番 多 か っ た 日 1 2 月 1 2 日 3 件

## 平成26年中の火災概要

### 1 火災の概要

平成26年中の火災は111件で、昨年の94件と比較して17件の増加となりました。

火災種別では、建物火災が63件と全火災の56.8%を占め、次いで車両火災が12件(10.8%)、林野火災が4件(3.6%)、船舶火災が1件(0.9%)となっております。また、その他火災は、31件(27.9%)となっております、その他火災の内、13件が枯草火災となっております。

火災の損害は、焼損床面積が2,134㎡、焼損棟数が93棟、損害額が約1億5,021万円、死者が7人、負傷者が28人となっております。

損害額は、前年の7,173万円と比較して7,848万円の増加となり、焼損床面積は、前年の1,235㎡と比較して899㎡の増加となっております。

出火率(人口1万人当たりの出火件数をいう。)は、3.3件で、昨年より0.5件の増加となりました。

月別発生状況は、3月が16件と最も多く、次いで7月が14件となっております。一方、9月、11月が4件と最も少ない月となっております。

### 2 出火原因

出火原因の第1位は放火(放火の疑いを含む。以下同じ。)となっております、17件で全体の15.3%を占めています。第2位はたき火の13件で全体の11.7%を占めています。続いて、たばこ、こんろが7件と同件数で、それぞれ6.3%を占めています。

昨年の第1位はたき火の13件でしたが、昨年を除き過去十数年連続していた放火が再び出火原因の第1位となりました。

### 3 火災による死者

火災による死者は、7人発生し、前年より3人の増加となりました。

死者の発生した経過別では、逃げ遅れによるものが5人、着衣着火が1人、その他が1人となっております。

また、年齢別では、20歳代が1人、30歳代が2人、40歳代が2人、60歳代が1人、80歳代が1人となっております。

### 4 火災による負傷者

火災による負傷者は、28人発生し、前年より19人の増加となりました。

また、年齢別では、10歳以下が2人、10歳代が2人、20歳代が6人、30歳代が8人、40歳代が2人、50歳代が1人、60歳代が3人、70歳代が4人となっております。

負傷者の発生した経過別では、作業中が13人、消火中が7人、避難中が4人、就寝中が2人、その他が2人となっております。

### 5 初期消火の実施

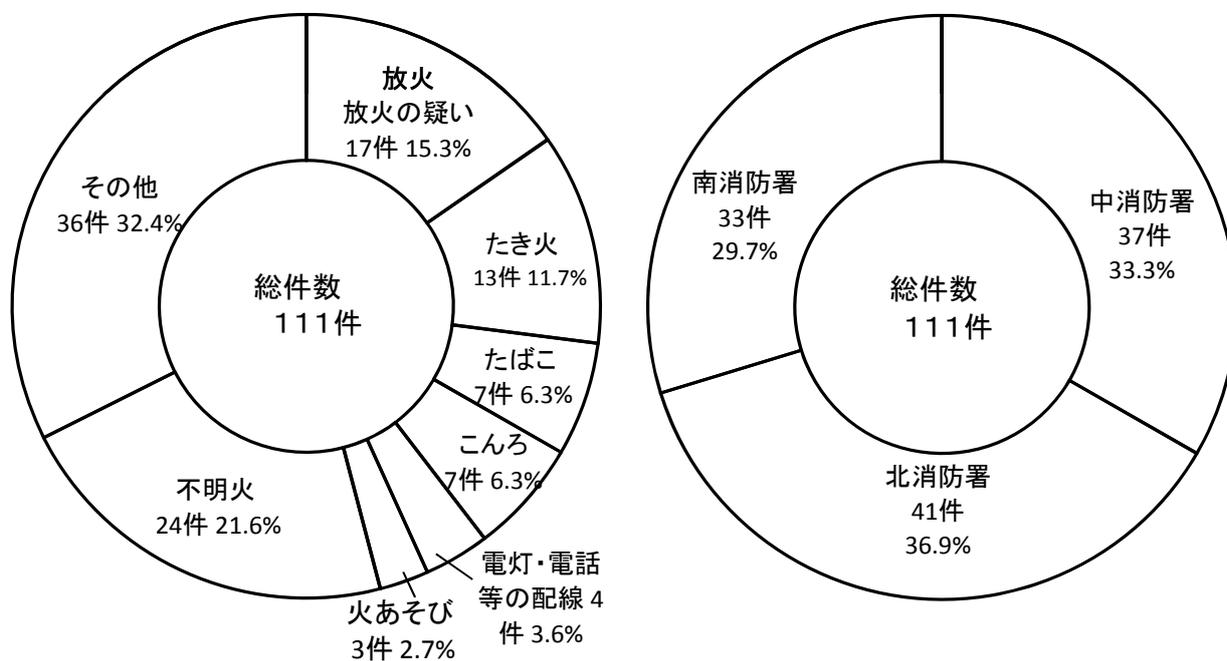
111件の火災において74件の初期消火が実施され、成功かつ効果ありは40件となっております。

初期消火器具	消火器	水道ホース等	濡れタオル等	消火設備等	その他
実施件数	26	29	4	2	13
成功・効果あり	15	14	4	2	5

# 火 災 概 要

(平成26年中)

火 災 件 数	111 件
建 物 火 災 件 数	63 件
建 物 以 外 火 災 件 数	48 件
建 物 焼 損 床 面 積	2,134 m <sup>2</sup>
建 物 焼 損 表 面 積	511 m <sup>2</sup>
林 野 焼 損 面 積	23 a
損 害 額	150,213千円
死 者	7 人
30日 死 者	0 人
負 傷 者	28 人



※小数点以下第2位で四捨五入。

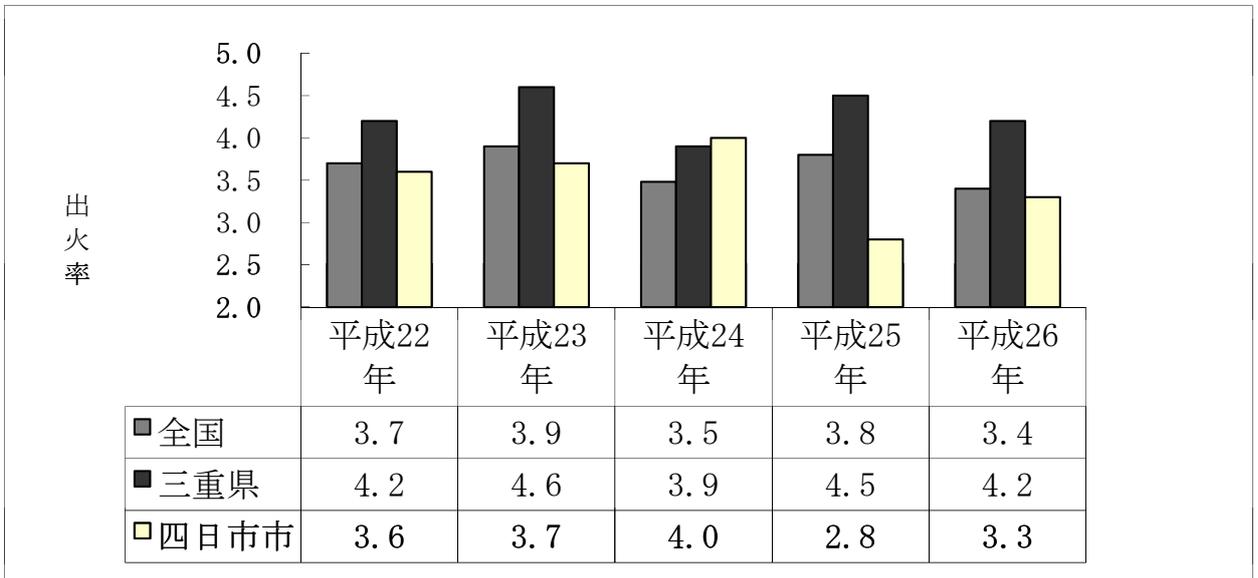
※四捨五入により100%にならないことがあります。

## 火 災 発 生 状 況 比 較

区 分		年 別				
		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
全 国	火 災 件 数	46,620	50,006	44,102	48,095	43,741
	出 火 率	3.7	3.9	3.5	3.8	3.4
	一件当たり損害額 (千円)	2,183	2,256	2,024	1,888	1,950
三 重 県	火 災 件 数	771	847	714	843	797
	出 火 率	4.2	4.6	3.9	4.5	4.2
	一件当たり損害額 (千円)	1,692	2,041	2,334	1,614	2,257
四日市市 (朝日、 川越町舎)	火 災 件 数	122	124	136	94	111
	出 火 率	3.6	3.7	4.0	2.8	3.3
	一件当たり損害額 (千円)	1,351	1,766	993	763	1,353

$$\text{出火率} = \frac{\text{出火件数}}{\text{人口}} \times 10,000$$

## 出 火 率 比 較



### 地区別火災発生状況

(平成26年中)

火災状況 地区別	火災件数													焼損種数										り災世帯数				焼損面積			死傷者		損害額 (千円)						
	外							計	元				類				全	半	小	計	建物 焼損床面積 (㎡)	建物 焼損表面積 (㎡)	林野 (a)	死 30日 死者	負 傷者	建物		船 舶	航 空 機	車 両	林 野	そ の 他	爆 発	計					
	建 物	船 舶	航 空 機	車 両	林 野	そ の 他 (枯草)	全		半	部分	ば や	計	全	半	部分	ば や										計	建 造 物								収 容 物				
																																				建 造 物	収 容 物		
合計	63	1	0	12	4	18	13	111	15	4	12	31	62	4	1	16	10	31	13	3	42	58	140	2134	511	23	7	0	28	102464	25432	13	0	6785	0	13099	2420	150,213	
中消防署管内	計	18	0	0	4	1	8	5	36	6	2	6	4	18	0	0	5	1	6	2	3	7	12	31	613	58	9	0	0	9	26161	10655	0	0	646	0	68	0	37530
	共同	1	0	0	1	0	2	0	4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	58	0	2	0	61
	同和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	港	1	0	0	1	0	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	44	0	0	0	0	554	151	0	0	30	0	0	0	735	
	浜田	4	0	0	0	0	0	0	4	2	0	1	1	4	0	0	1	1	2	1	0	2	3	10	316	10	0	0	0	7	14992	5272	0	0	0	0	1	0	20,265
	橋北	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	7	
	海蔵	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	常盤	4	0	0	1	0	1	0	6	1	1	1	1	4	0	0	2	0	2	0	2	1	3	10	99	29	0	0	0	8660	1652	0	0	110	0	65	0	10,487	
	川島	1	0	0	0	1	2	3	7	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	9	0	0	172	181	0	0	0	0	0	0	353	
	神前	1	0	0	0	0	1	1	3	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	桜	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	12	2	0	0	0	0	0	0	14	
	県	1	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	195	17	0	0	200	0	0	0	412	
	三重	3	0	0	1	0	1	0	5	1	0	2	0	3	0	0	2	0	2	1	0	3	4	9	119	9	0	0	0	1	1574	3373	0	0	248	0	0	0	5,195
北消防署管内	計	26	1	0	4	3	2	4	40	6	2	2	16	26	2	0	3	2	7	7	0	14	21	54	833	41	11	2	0	2	32743	8576	13	0	2967	0	303	0	44,602
	羽津	1	0	0	0	0	2	0	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1602	0	0	0	0	29	0	1,631	
	富田	2	0	0	1	0	0	1	4	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	4	0	0	0	54	0	0	0	118	0	0	0	172	
	富洲原	2	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	3	3	0	1	0	1	0	0	10	93	0	0	2600	0	0	0	2,703
	大矢知	2	0	0	0	0	0	1	3	2	0	0	0	2	0	0	0	2	2	1	0	2	3	10	273	0	0	1	0	0	14871	4337	0	0	133	0	0	0	19,341
	八郷	6	0	0	1	0	0	0	7	2	0	0	4	6	0	0	0	0	0	2	0	3	5	11	215	3	0	0	0	6142	1275	0	0	47	0	70	0	7,534	
	下野	4	0	0	0	2	0	0	6	0	2	0	2	4	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	98	9	7	0	0	0	1585	167	0	0	0	0	201	0	1,953
	保々	3	0	0	0	1	0	1	5	1	0	0	2	3	2	0	2	0	4	3	0	3	6	16	169	24	4	0	0	2	7270	69	0	0	0	0	0	0	7,339
	朝日町	2	0	0	0	0	0	1	3	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	10	0	0	0	0	1065	628	0	0	0	0	0	0	1,693	
	川越町	4	1	0	1	0	0	0	6	1	0	0	3	4	0	0	0	0	0	1	0	2	3	12	68	0	0	0	0	1746	405	13	0	69	0	3	0	2,236	
南消防署管内	計	19	0	0	2	0	8	4	33	3	0	4	11	18	2	1	8	7	18	4	0	21	25	55	688	412	3	5	0	17	43560	6201	0	0	2022	0	12681	2420	66,884
	塩浜	3	0	0	0	0	2	1	6	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	5	0	13	3510	4	0	0	3	0	1200	0	4,717
	日永	6	0	0	0	0	2	0	8	1	0	1	4	6	0	1	4	2	7	1	0	6	7	21	230	164	0	0	0	1	22700	538	0	0	656	0	761	0	24,655
	四郷	4	0	0	1	0	2	1	8	1	0	1	2	4	1	0	1	4	6	2	0	12	14	26	163	40	0	0	0	1	6857	399	0	0	193	0	216	0	7,665
	内部	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	1	1	42	0	0	0	0	0	761	409	0	0	0	0	212	0	1,362
	河原田	2	0	0	0	0	1	0	3	0	0	1	0	1	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	90	45	0	0	0	1	2241	4205	0	0	0	0	10192	2420	19,058
	小山田	1	0	0	1	0	0	1	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0	0	1170	0	100	0	1,274
	水沢	1	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	1	1	0	0	1	2	0	0	2	2	6	163	163	3	0	0	0	7491	296	0	0	0	0	0	0	7,787
	楠	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	346	0	0	0	0	0	0	346
高速道路	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1150	0	47	0	1,197	

月別・曜日別・時間帯別火災発生状況

(平成26年中)

火災状況 月・曜日	出火件数							焼損棟数					焼損面積			死者負傷者		り災世帯数				り災 人員	損害額 (千円)								
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 床面積(㎡)	建物 表面積(㎡)	林野 面積(a)	死者	負傷者	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発	
合計	111	63	4	12	1		31	93	19	5	28	41	2,134	511	23	7	28	58	13	3	42	140	150,213	127,896		6,785	13		13,099	2,420	
月別	1月	9	6				3	9	2		5	2	221	55	0	5	21	4	1		3	11	22,672	18,848		203			1,201	2,420	
	2月	7	3	1	1		2	5	2			3	289	0	9		1	3			3	14	18,159	17,911		248					
	3月	16	7		4			5	8	1		3	4	166	1	0	1	3	2		1	5	6,998	5,927					324		
	4月	11	6		2			3	9	1	2	4	2	199	14	13			5	1		4	14	6,185	5,984					201	
	5月	9	7					2	12	4		4	4	202	48	0		2	7	3	1	3	15	8,903	8,878		25				
	6月	9	5		2			2	5	1		2	2	31	9	0		1	2		2	2	6	1,953	636					1,217	100
	7月	14	9		3			2	9		1	2	6	64	9	0		1	6		1	5	15	5,911	3,168		2,743				
	8月	6	4		1			1	10	3		1	6	344	41	0	1	1	15	3		12	26	20,704	20,192		296				216
	9月	4	2					2	2	1			1	68	0	0			1	1		2	2	1,664	1,423						241
	10月	9	3			1		5	5	3			2	262	163	0			3	1		2	7	20,484	10,273			13			10,198
	11月	4	3	1				3	3				3	0	0	1	1		2			2	5	18	18						618
	12月	13	8		1			4	16	1	2	7	6	288	171	0			7	1	1	5	20	36,562	34,638		1,306				
不明													0	0	0																
合計	111	63	4	12	1		31	93	19	5	28	41	2,134	511	23	7	28	58	13	3	42	140	150,213	127,896		6,785	13		13,099	2,420	
曜日別	日曜日	21	15		2		4	20	5	1	4	10	429	39			3	9	3		6	24	20,632	20,503				129			
	月曜日	16	7	1	5		3	14	2	1	5	6	234	166	6		1	7	1		6	19	29,940	24,276		5,302			362		
	火曜日	13	8		2		3	10	1	1	4	4	237	16		1	7	9	2	2	5	23	22,536	19,389				333		394	2,420
	水曜日	24	11	1	1		11	16	2	2	7	5	370	55	9		2	7	1	1	5	21	17,334	16,891				30			413
	木曜日	15	10	1			4	18	4		5	9	460	46	4	6	15	19	4		15	36	40,814	28,937				269			11,608
	金曜日	16	9		2	1		3	9	2		2	5	233	2	1			5	2		3	11	11,057	10,057		697	13			290
	土曜日	4	2				2	3	1		1	1	8	24	3									110	56						29
	不明	2	1				1	3	2			1	163	163					2			2	6	7,790	7,787						3
合計	111	63	4	12	1		31	93	19	5	28	41	2,134	511	23	7	28	58	13	3	42	140	150,213	127,896		6,785	13		13,099	2,420	
時間帯別	0~1時	4	2		1		1	2	1	1			227			1		2	1	1		3	13,753	13,590		163					
	1~2時																														
	2~3時																														
	3~4時	8	5		1		2	15	4	1	2	8	421	51			7	18	3		15	40	27,226	23,532		2,733				961	
	4~5時	2	2					9	1	1	4	3	220	163				5	1		4	17	23,840	22,966		656				218	
	5~6時	1	1					1	1			1	1	1							1	2	90	90							
	6~7時	2	1				1	1				1	1	1							1	3	17	16							1
	7~8時	3	2		1			2			1	1	10						2		2	7	390	272							
	8~9時	6	5		1			5	1		3	1	102	11					2	2		3	2,557	2,488				69			
	9~10時	6	3	1			2	3				3	1	1	4			1			1	1	83	54							29
	10~11時	7	4		1		2	4	1		1	2	21	4					1		1	1	1,445	790				650			5
	11~12時	7	4	1	1		1	3			1	2	5		9		2				1	1	3,168	663				85			2,420
	12~13時	8	3	1	1	1	2	5	2		2	1	215	24	6		1	1			1	1	13,286	11,763		1,195	13			315	
	13~14時	3	1				2	5	3		2		169	22				2	5	3	2	11	7,327	7,327							
	14~15時	8	4				4	6	1		2	3	230	11			5	13	2	1	1	4	19,350	18,015							1,332
	15~16時	5	2		1		2	2				2					1	1	1		1	1	1,662	1,615				47			
	16~17時	9	6		2		1	8	1		3	4	104	47					2		2	6	7,314	6,996		318					
	17~18時	2	1				1	1				1			3								1	1							
	18~19時	2	2				2	2			1	1	25	1					2		1	1	7	671	671						
	19~20時	2	2				2	2				2						1	1			1	2	1	1						
	20~21時	6	2		2		2	2				2							2		2	2	10	795	5		748				42
	21~22時	1	1				1	1	1				99						1	1		1	2,485	2,485							
	22~23時	2	2				2	2			1	1	10	5				1	1		1	1	568	568							
	23~0時																														
不明	17	8	1				8	12	3		4	5	276	168	1			7	1		6	19	24,184	13,988						10,196	

### 出火原因別火災発生概況

(平成26年中)

原因別	出火件数							焼損棟数					焼損面積			死者負傷者		り災世帯数				り災 人員	損害額(千円)								
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物	建物	林野	死者	負傷者	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発	
													床面積(m <sup>2</sup> )	表面積(m <sup>2</sup> )	面積(a)																
合計	111	63	4	12	1		31	93	19	5	28	41	2,134	511	23	7	28	58	13	3	42	140	150,213	127,896		6,785	13		13,099	2,420	
たばこ	7	5	1	1			5				2	3	44	1	6		1	4	1		3	6	1,409	1,362		47					
こんろ	7	7					7				2	5	15	6			2	6			6	16	1,258	1,258							
かまど																															
風呂かまど																															
炉	2	2					2				2			1				1			1	4	447	447							
焼却炉	2	1					1	3	1		2		16	24									405	168		25			212		
ストーブ	2	2					2				2			1				2			2	6	440	440							
こたつ																															
ボイラー																															
煙突・煙道																															
排気管	2			2																			660			618				42	
電気機器	2	1		1				1			1			1				1			1	5	69	11		58					
電気装置	2	1		1				1			1												1,687	1,602		85					
電灯・電話等の配線内燃機関	4	4					4				1	3		10				1			1	2	460	460							
配線器具	2	2					5	1	1	1	2		156	4				3			1	2	15,978	15,916						62	
火あそび	3	1					2	1			1												41	12						29	
マッチ・ライター	1	1					8	1	1	4	2		220	163				5	1		4	17	23,839	22,965		656			218		
たき火	13	4	2				7	8	4		3	1	190	25	16		3	5	3		2	11	7,682	7,682							
溶接機・切断機	2	1					1	1			1												727	727							
灯火	1	1					1	1			1						1	1			1	1	13	13							
衝突の火花																															
灰																															
火入れ																															
放火	5	2					3	2			2												551	5					546		
放火の疑い	12	4	1	1			6	4			3	1	10	3	1								298	229		69					
その他	18	9		4			5	10	1		3	6	289	45		5	15	1			1	4	37,382	21,552		1,913		11,497	2,420		
不明	24	15		2	1		6	28	11	3	7	7	1,194	227		1	7	28	8	2	18	58	56,867	53,047		3,314	13		493		

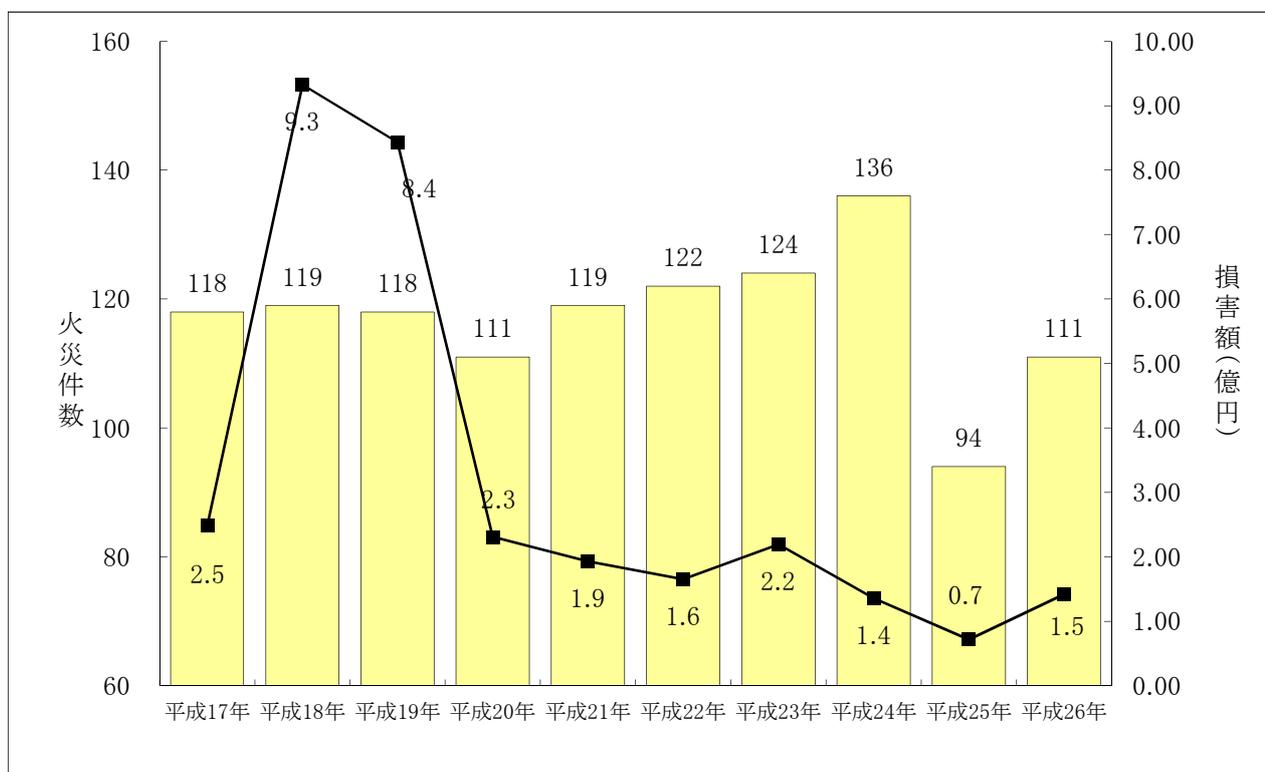
## 過去10年間 年別主な火災原因

年 別	火災件数	主 な 火 災 原 因		
平成17年	118件	放 火 (放火の疑い含む) 34件	電 気 機 器 9件	た ば こ 9件
平成18年	119件	放 火 (放火の疑い含む) 32件	こ ん ろ 10件	た ば こ 10件
平成19年	118件	放 火 (放火の疑い含む) 24件	た ば こ 15件	こ ん ろ 11件
平成20年	111件	放 火 (放火の疑い含む) 25件	こ ん ろ 12件	た ば こ 10件
平成21年	119件	放 火 (放火の疑い含む) 29件	こ ん ろ 13件	た ば こ 8件
平成22年	122件	放 火 (放火の疑い含む) 21件	こ ん ろ 12件	た ば こ 12件
平成23年	124件	放 火 (放火の疑い含む) 43件	こ ん ろ 8件	た ば こ 8件
平成24年	136件	放 火 (放火の疑い含む) 34件	た ば こ 16件	た き 火 14件
平成25年	94件	た き 火 13件	放 火 (放火の疑い含む) 11件	た ば こ 10件
平成26年	111件	放 火 (放火の疑い含む) 17件	た き 火 13件	た ば こ 各 こ ん ろ 7件

### 過去10年間の火災発生状況

区分 年別	火 災 件 数						損害額 (千円)	損 害 面 積		死 傷 者	
	合 計	建物	林野	車両	船舶	その他		建物焼損 表面積(m <sup>2</sup> )	林野 (a)	死者	負傷者
平成17年	118	61	1	19	0	37	248,221	2,186 <265>	1	6	26
平成18年	119	77	2	13	0	27	932,595	4,534 <270>	71	8	23
平成19年	118	76	2	19	0	21	843,475	4,280 <608>	6	6	16
平成20年	111	67	0	17	1	26	231,055	1,598 <147>	0	13	15
平成21年	119	63	5	15	0	36	192,819	2,287 <451>	21	7	15
平成22年	122	75	5	13	0	29	164,908	2,265 <272>	10	8	23
平成23年	124	63	3	16	0	42	218,987	1,926 <706>	70	5	10
平成24年	136	62	5	18	2	49	135,202	1,129 <193>	14	2	24
平成25年	94	58	6	6	0	24	71,732	1,235 <425>	58	4	9
平成26年	111	63	4	12	1	31	150,213	2,134 <511>	23	7	28
平 均	117	67	3	15	0	32	318,921	2,357 <385>	27	7	19

※< >は建物焼損表面積



## 海上・沿岸防災等（IBK委託状況）

（平成26年中）

種 別		月 別	合 計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
災 害 出 動	火 災		0												
	水難救助		1	1											
	流出油		0												
	その他		0												
警 防	警 備		1								1				
	警 戒		0												
	警防調査		0												
	その他		0												
予 防	広 報		0												
	予防調査		0												
	その他		0												
訓 練	災害防御		0												
	航 海		0												
	操 船		0												
	水難救助訓練		12	1	1				3		3			3	1
	その他		2	1							1				
合 計			16	3	1	0	0	0	3	0	5	0	0	3	1

## 火災・救助以外の消防車両の出動

平成26年中

分類	件数	説明
交通支援	231	国道1号、23号等通行量の多い道路における救急支援のための出動
救急支援	1196	消防隊・救助隊による上記以外の救急の支援出動
たき火	55	たき火等の怪煙による調査警戒のための出動
交通油漏れ	38	交通事故等により、人的損害を生じ、又はそのまま放置すれば爆発、火災若しくは人的被害を生じる恐れがある危険物が、道路上に漏れ出たものによる出動
その他油漏	26	人的損害を生じ、又はそのまま放置すれば爆発、火災若しくは人的被害を生じる恐れがある危険物が、池、湖、河川、海等に流れ出たものによる出動
ガス漏れ	7	人的損害を生じ、又はそのまま放置すれば爆発、火災若しくは人的被害を生じる恐れがあるガス又は毒劇物等の漏洩による出動
機器発報	66	直接通報、火災通報、即時通報及び自動火災報知設備の発報等による出動で非火災であったもの
虚報	13	出動した結果、いたずら等であったもの
誤報	31	出動した結果、誤報、誤認であったもの
非火災事故	53	火災調査の結果、火災に至らないもの
搜索	0	山岳遭難、水難事故に伴う搜索等による出動
その他	57	「警戒」から「搜索」までに掲げる種別以外による出動
総計	1773	

# 消 防 水 利 状 況

(平成27年4月1日)

	合 計	消 火 栓						防 火 水 槽						そ の 他						
		小計	工業用水		上水道		小計	100	60	40	100	40	40	小計	井戸	プールの	池沼	河川	海運河	
			双口	単口	双口	単口		m3耐震	m3耐震	m3耐震	m3以上	m3以上	m3未満							
<b>合 計</b>	<b>7446</b>	<b>6615</b>	<b>90</b>	<b>98</b>	<b>57</b>	<b>6370</b>	<b>598</b>	<b>39</b>	<b>43</b>	<b>178</b>	<b>8</b>	<b>224</b>	<b>106</b>	<b>233</b>	<b>52</b>	<b>73</b>	<b>14</b>	<b>76</b>	<b>18</b>	
中消防署管内	共 同	152	138	0	1	4	133	9	4	0	0	0	4	1	5	3	2	0	0	0
	同 和	14	12	0	0	1	11	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	中 央	60	52	0	0	1	51	4	2	0	0	0	0	2	4	4	0	0	0	0
	港	131	117	5	4	2	106	6	2	0	0	1	1	2	8	0	0	0	0	8
	浜 田	268	246	4	1	5	236	16	5	1	4	1	3	2	6	3	2	0	1	0
	橋 北	148	127	1	5	4	117	12	3	0	2	0	4	3	9	3	3	0	3	0
	海 蔵	215	200	1	0	0	199	10	1	1	3	0	4	1	5	0	2	0	3	0
	常 磐	305	275	12	5	2	256	18	0	3	4	0	10	1	12	2	3	0	7	0
	川 島	205	184	0	0	1	183	18	0	2	1	0	13	2	3	0	1	1	1	0
	神 前	210	190	0	0	1	189	17	0	2	4	1	6	4	3	0	3	0	0	0
	桜	289	263	0	0	0	263	18	0	1	6	0	11	0	8	0	3	0	5	0
	県	258	210	0	0	1	209	40	0	2	17	0	16	5	8	0	2	0	6	0
三 重	431	374	6	5	6	358	45	0	0	25	0	13	7	12	0	6	0	6	0	
小 計	2687	2389	29	21	28	2311	215	17	12	66	3	87	30	83	15	27	1	32	8	
北消防署管内	羽 津	301	280	4	17	8	251	13	2	2	2	0	4	3	8	2	3	1	1	1
	富 田	246	219	4	2	0	213	10	2	1	4	1	1	1	17	9	3	0	3	2
	富洲原	246	215	6	1	0	208	15	3	0	8	0	3	1	16	7	2	0	0	7
	大矢知	301	277	0	1	3	273	18	0	3	8	0	3	4	6	3	2	1	0	0
	八 郷	298	256	3	3	0	250	39	0	1	13	0	18	7	3	0	3	0	0	0
	下 野	209	188	1	0	0	187	18	0	1	10	0	3	4	3	0	2	0	1	0
	保 々	257	220	0	0	0	220	33	0	0	5	1	17	10	4	0	2	1	1	0
	朝 日	283	231	0	13	4	214	49	0	0	7	0	22	20	3	0	3	0	0	0
	川 越	547	513	2	6	1	504	22	0	0	18	0	4	0	12	2	4	0	6	0
小 計	2688	2399	20	43	16	2320	217	7	8	75	2	75	50	72	23	24	3	12	10	
南消防署管内	塩 浜	244	215	9	14	3	189	15	6	1	3	1	3	1	14	8	3	0	3	0
	日 永	301	269	16	5	7	241	15	3	1	3	1	5	2	17	5	3	1	8	0
	四 郷	357	328	0	4	2	322	17	2	2	2	0	7	4	12	0	6	0	6	0
	内 部	333	300	0	2	1	297	23	0	3	4	0	10	6	10	1	3	1	5	0
	河原田	153	129	5	5	0	119	18	1	0	6	0	10	1	6	0	2	0	4	0
	小山田	218	180	0	0	0	180	27	0	0	5	0	15	7	11	0	2	5	4	0
	水 沢	162	142	0	0	0	142	14	0	0	4	1	6	3	6	0	1	3	2	0
	楠	303	264	11	4	0	249	37	3	16	10	0	6	2	2	0	2	0	0	0
	小 計	2071	1827	41	34	13	1739	166	15	23	37	3	62	26	78	14	22	10	32	0

## 開発行為に関する事前協議等について

### 概要

本市では、地域の計画的な発展と良好な市街地の形成を図るため、都市計画法（昭和43年法律第100号）の規定に基づき、良質な開発行為等を誘導し、もって住みよいまちづくりの実現と地域住民の健全な生活環境を保全することを目的として、開発許可等に関し必要な事項について四日市市開発許可等に関する条例を定めています。

消防本部としては、四日市市開発許可等に関する条例に基づき、万一の災害が発生しても、安全かつ円滑な災害防ぎょ活動が実施できるよう、消防活動上必要な施設の設置等、宅地開発行為に関し必要な事項の同意、協議について審査、指導をしています。

		平成25年度	平成26年度
審査件数		98件	74件
指導内容	水利関係	8件	7件
	消防活動用空地	3件	3件
	その他	0件	0件
	指導件数合計	11件	10件

## 緊急消防援助隊の派遣体制

緊急消防援助隊は、平成7年1月に発生した兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）の教訓を踏まえて、平成7年6月に創設されています。各地で大規模災害が発生した場合に、その被災都道府県内の消防力だけでは対応できないときに、緊急消防援助隊に登録している他の都道府県の市町村消防本部から、被災地に応援出動します。三重県隊のうち本市の派遣体制は次のとおりです。

隊 名 等			人員	派遣車両等
県大隊長			1	本部51号
指揮隊	指揮隊長		1	
	指揮隊員		3	
ドラゴン指揮隊	ドラゴン指揮隊長		1	本部61号
	ドラゴン指揮隊員		3	
消火隊（タンク）1台目			4	北6号
消火隊（タンク）2台目			4	南15号
消火隊（タンク）3台目			4	西14号
救助隊（Ⅲ型）			5	中41号
特殊災害 部隊	大規模 危険物	大型高所放水車	2	南34号
		大型化学車	4	南10号
		原液搬送車	2	中74号
	毒劇物対応		※4	※南10号
特殊装備小隊（水利システム車2台）			4	特装1 特装2
救急隊（高規格救急車）1台目			3	救急1号
救急隊（高規格救急車）2台目			3	救急4号
後方支援隊			2	後方支援車

※登録隊数等 15車両50名（重複除く 14車両46名） 平成27年4月1日現在

## 四日市市消防支援隊の活動状況

四日市市消防支援隊とは、大規模災害の発生時に迅速な市民対応と安全な市民生活を確保するため、四日市市消防本部の退職者が有する消防及び防災の知識、技術、経験を活かし、消防本部及び消防署等が行なう消防、防災活動を支援する制度です。

### 【 活動内容 】

- (1) 消防本部、消防署及び消防分署の広報活動
  - ア 庁舎、資機材等の管理
  - イ 市民への機材貸出し（のこぎり、パール等の軽量機材）
  - ウ 避難者の応急手当
  - エ 避難者の広域避難地への案内
  - オ 支援物資の管理
- (2) 情報収集
  - ア 自宅周辺の被害状況の報告
  - イ 参集途上の道路、危険箇所及び建築物等の被害状況に係る報告
  - ウ 消防署等における住民からの情報収集
- (3) 消防本部、消防署及び消防分署が行なう災害活動の支援
  - ア 広域応援隊の誘導
  - イ 活動中の消防署員等の食糧及び飲料水等の供給
- (4) 地域防災活動の支援
  - ア 地域の防災リーダーとしての地元自治会が実施する地域防災活動等の支援

### 【 四日市市消防支援隊登録状況 】

平成27年4月1日現在 105名

# 防災教育センター利用状況

## 【概要】

平成9年4月に四日市市北消防署に併設された防災教育センターは、市民の皆様方に防災に関する知識や技術を高め、その行動を楽しみながら体験学習をして頂くことを目的として開設しました。

1階の防災展示体験室には、種々な体験資材を揃え楽しんで学習ができる施設が備えてあり、2階の防災センターには、視聴覚設備を利用して防火・防災に関する種々なDVDやビデオテープを活用し、防災意識を高めて頂いたり、また、消防防災に関する会議等に利用して頂いております。今後も、多くの市民の方々に防災意識を高めて頂くよう利用の促進に努めていきたいと考えております。

## 26年度

区分 月別		防災展示体験室											防災センター			
		消防施設見学		自主 防災隊	消防 関係	自治会	会社 関係	官公庁	他都市 視察	家族		個別		計	計	累計
		保・幼稚園	小中学校							子供	大人	子供	大人			
4月	件数									1	2		6	6	6	
	人員									3	2	3	1	33	88	88
5月	件数		1											6	14	20
	人員		5											56	191	279
6月	件数		1					1		2				6	13	33
	人員		3					45		5	6			68	150	429
7月	件数		1							6		4		13	2	35
	人員		23							12	8	7	7	63	40	469
8月	件数									30		14		50	4	39
	人員									56	41	6	18	161	47	516
9月	件数	1	4	1	1					6		13		32	13	52
	人員	46	307	4	1					2	11	15	16	444	524	1,040
10月	件数	6	2		1					2		4		18	15	67
	人員	247	188		31					5	3	10	3	519	491	1,531
11月	件数	6	2		1					1		1		18	18	85
	人員	426	92		26					1	2	4	0	604	693	2,224
12月	件数	3	1							8		1		16	17	102
	人員	123	16							13	15	0	11	211	5,639	7,863
1月	件数				4				1	1		11		22	5	107
	人員				6				14	2	2	0	63	107	74	7,937
2月	件数	2							1	2				7	7	114
	人員	75							20	4	3			110	240	8,177
3月	件数	2	1		1	1			1	3		7		20	12	126
	人員	78	2		60	30			2	5	4	3	7	213	342	8,519
合計	件数	20	13	1	8	1	46	2	4	62		57		214		
	人員	995	636	4	124	30	333	7	81	108	97	48	126	2589		

防災展示室月平均利用者数

215.8人

防災センター月平均利用者数

709.9人

## 四日市市防災指導員制度

阪神・淡路大震災は、私たちに数多くの防災対策に関する教訓を残しましたが、その教訓のひとつが高齢者等の災害時要援護者の人たちへの防火・防災対策です。

そこで、四日市市消防本部では平成8年度から地域に密着したきめ細やかな、災害に強いまちづくりを実施するために防災指導員制度を創設しました。また、平成23年3月に発生した関東東北大震災はその重要性を大きくクローズアップさせました。

指導員は、防災に関し豊富な知識と経験を有した人を防災指導員として任命し、ひとり暮らしの高齢者宅などの防災診断として家の中の危険な箇所や地震が発生した場合における注意点などを指導しています。

防災診断は、平成8年からスタートし、平成23年度までに全市域の高齢者宅を5巡実施しております。

また、平成18、19年度には、特別防災診断して住宅用火災警報器の設置を完了させ、平成23年度から 第6回目の防災診断6巡目をスタートさせ、高齢者の安全、安心に努めています。

### 防災診断実施状況

平成26年度

診断対象区分		第1～4回 (H8.6～H19.3)	特別 (H19.4～H20.3)	第5回 (H20.4～H23.3)	第6回 (H23年度)	第6回 (H24年度)	第6回 (H25年度)	特別 (H26年度)	総合計
対象世帯数	合計	13,621	3,256	5,766	1,567	1,918	2,239	1,457	29,824
ひとり暮らし高齢者		12,934	3,092	5,462	1,470	1,850	2,104	1,373	28,285
寝たきりの高齢者世帯等		475	136	218	59	36	97	39	1,060
障害者等		212	28	86	38	32	38	45	479
診断世帯数	合計	10,919	3,235	3,752	743	907	1,188	680	21,424
ひとり暮らし高齢者		10,306	3,071	3,536	694	863	1,108	637	20,215
寝たきりの高齢者世帯等		419	136	148	25	24	54	19	825
障害者等		194	28	68	24	20	26	24	384

### 防災指導員による指導状況

指導内容		件数
防火管理	暖房器具の性能、設置場所及び取扱等により問題があり火災予防上危険である。	
	調理器具の性能、設置場所及び取扱等により問題があり火災予防上危険である。	
	風呂釜の性能、設置場所及び取扱等により問題があり火災予防上危険である。	
	たばこの始末及びマッチ、ライター、ロウソク等の火気の管理が適切でない。	1
	ガス器具、ガスボンベ及びガス警報機等管理及び付近の整理が適切でない。	
	屋内に灯油等の危険物が放置され、その管理が適切でない。	3
	電気配線が適切でない。	4
	屋内の整理整頓が必要である。	4
住宅用火災警報器が未設置	184	
地震対策	建物の構造等に問題があり、地震が発生した場合に危険である。	
	就寝場所に家具があるため、地震が発生した場合、家具が転倒し負傷する危険がある。	80
	地震や風水害の発生により避難の必要があるときに、自力で避難することができない。	
	燃焼器具等の燃料タンクが屋内で地震が発生した場合、転倒の危険がある。	
指導件数合計		276

# 防火・防災教室の経緯と現状

平成27年3月31日

<p>1. 防災教育の目的</p>	<p>阪神・淡路大震災を教訓とした、「災害に強い人づくり」事業として、小・中学校の防災教育をとおり、災害時における行動等について理解を深め、防災意識の高揚を図ります。</p>
<p>2. 活動実績 (1)防災教室 (原則として中学1年生を対象として1学期に実施)</p>	<p>管内の中学1年生を対象として平成8年度からモデル校を指定して試行的に実施。 平成13年度から管内の中学校（私立中を含む）28校で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成22年度実施校（28校・3,472人）</li> <li>・ 平成23年度実施校（27校・3,468人）</li> <li>・ 平成24年度実施校（28校・3,494人）</li> <li>・ 平成25年度実施校（28校・3,421人）</li> <li>・ 平成26年度実施校（28校・3,403人）</li> </ul>
<p>(2)防火教室 (原則として小学5年生を対象として2学期に実施)</p>	<p>管内の小学5年生（一部の小学校では4年生）を対象として昭和56年度より管内の小学校を対象として実施。 平成25年度から管内の小学校（私立小を含む）44校で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成22年度実施校（45校・3,606人）</li> <li>・ 平成23年度実施校（45校・3,982人）</li> <li>・ 平成24年度実施校（45校・3,501人）</li> <li>・ 平成25年度実施校（44校・3,282人）</li> <li>・ 平成26年度実施校（43校・3,196人）</li> </ul>
<p>3. 標準カリキュラム (1)防災教室（中学生） (全体3時限、分割有)</p>	<p>(ア) 避難訓練及び教諭の講話（学校主体） (イ) スライド等を活用した防災講話 (阪神淡路大震災、新潟中越地震、東海豪雨、東日本大震災等) (ウ) 応急手当ての実技指導（止血、固定、搬送法）等 (エ) 防災啓発車による地震体験</p>
<p>(2)防火教室（小学生） (全体2時限、連続)</p>	<p>(ア) テキスト「みんなで防火」を用いた防火講話 (イ) 体験実技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水消火器による模擬消火体験</li> <li>・ スモークマシンによる煙体験</li> <li>・ 天ぶら油火災シミュレーション</li> </ul>

救急 ・ 救助

# 一 目 統 計

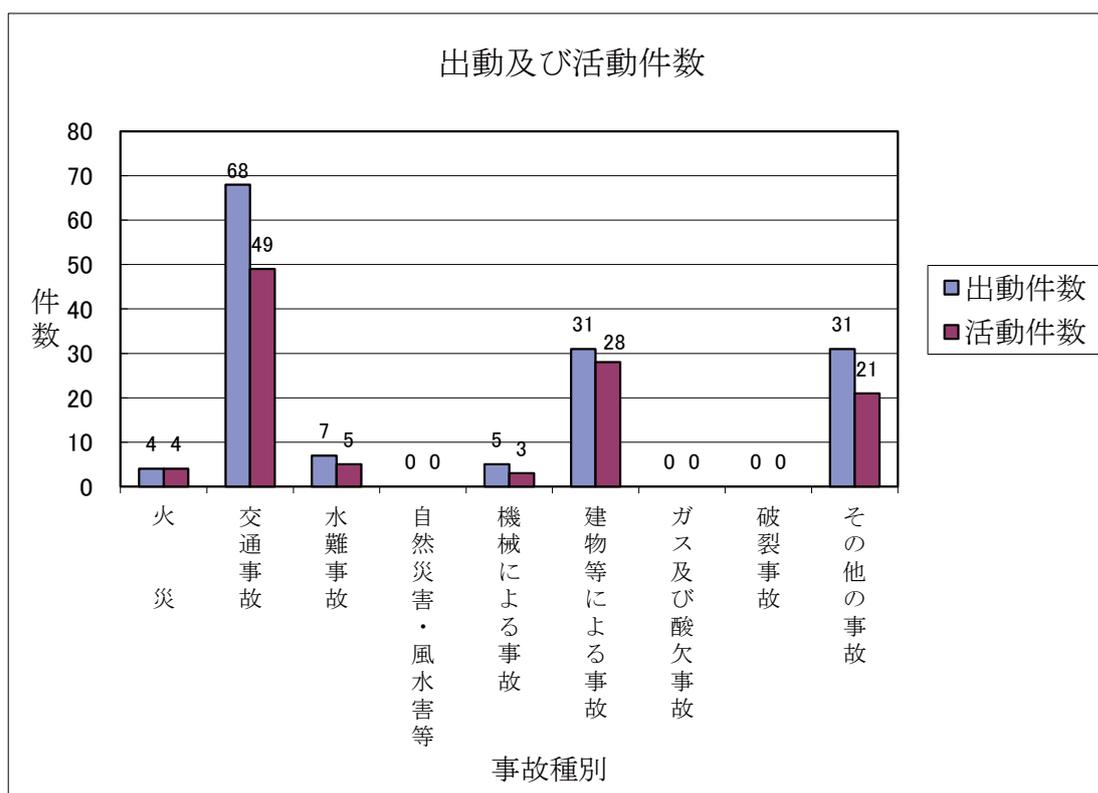
平 成 2 6 年 中

救 助 出 動 件 数		1 4 6 件
	(うち 高度救助隊 出動件数	9 4 件 )
救 助 活 動 件 数		1 1 0 件
	(うち 高度救助隊 活動件数	4 2 件 )
活 動 割 合		7 5 . 3 %
出 動 延 べ 隊 数		5 5 0 隊
救 助 人 員		1 0 7 人
1 日あたりの平均出動件数		0 . 4 件
活動 1 回あたりの平均救助人員		0 . 9 7 人
出 動 件 数 の 多 か っ た 月	2 月	2 2 件
出 動 件 数 の 少 な っ た 月	4 月	4 件
出 動 件 数 の 多 っ た 曜 日	月曜日	3 0 件
出 動 件 数 の 少 な っ た 曜 日	土曜日	1 3 件
出 動 件 数 の 多 っ た 地 区	日永地区	1 2 件
出 動 件 数 の 少 な っ た 地 区	朝日町	0 件
出 動 件 数 の 多 っ た 時 間 帯	8 時～9 時	1 2 件
出 動 件 数 の 少 な っ た 時 間 帯	0 時～1 時、1 時～2 時	1 件
出 動 の 多 っ た 事 故 種 別	交通事故	6 8 件
出 動 件 数 の 1 番 多 っ た 日	1 月 1 4 日	3 件

## 救出・救助活動状況

(平成26年中)

	火災	交通事故	水難事故	自然災害・風水害等	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
出動件数	4	68	7	0	5	31	0	0	31	146
出動隊数	33	270	50	0	21	77	0	0	99	550
出動延べ人員	118	985	137	0	78	278	0	0	362	1,958
活動件数	4	49	5	0	3	28	0	0	21	110
救助人員	1	52	5	0	3	26	0	0	20	107



## 水難救助隊の災害出動概要

四日市港内、河川などで発生する乗用車の転落、レジャー中の事故等、早期に救助の必要がある水難救助事案に対応するため、平成15年4月に「水難救助隊」が発足し、平成27年4月1日現在、20名の水難救助隊員で活動しています。

水難救助隊は、水中での困難な救助活動を円滑に遂行するため、「潜水」という特殊技能を身に付け、更なる水難救助の知識・技術の向上を目指して日々錬成訓練を実施しています。

### 水難救助隊の出動回数及び訓練・研修回数

年 別	月別 種別	合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
22 年 中	災害出動 水難救助	8		2		1		1		2		1	1	
	水難訓練	30	2	1	2		3	3	5	3	4	4	2	1
	新人研修	18						3	2	2	2	2	5	2
23 年 中	災害出動 水難救助	5		1		1	1			2				
	水難訓練	37	1	2	2		3	3	5	6	4	7	3	1
	新人研修	23	2	1	1			5		2	2	4	4	2
24 年 中	災害出動 水難救助	7	1	1					2	1		2		
	水難訓練	41	1	1	3	3	3	3	7	5	4	8	3	1
	新人研修	28	2	2	2			5	3	3	3	2	4	2
25 年 中	災害出動 水難救助	10	0	0	0	1	2	1	3	1	0	1	1	0
	水難訓練	33	1	1	3	3	3	3	4	6	3	3	2	1
	新人研修	25	2	2	2	0	0	5	2	2	2	2	4	2
26 年 中	災害出動 水難救助	7	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1
	水難訓練	29	1	1	3	1	4	3	2	4	3	3	2	2
	新人研修	24	2	2	2	0	0	4	2	2	2	2	4	2

## 一 目 統 計

平成26年中

救 急 出 動 件 数		14,307件
搬 送 件 数		12,364件
不 搬 送 件 数		1,943件
搬 送 人 員		12,543人
	男	6,745人
	女	5,798人
一日あたりの平均出動件数		39.2件
一日あたりの平均搬送人員		34.4人
救急告示医療機関数		12施設 四日市市消防本部管内 (四日市市、三重郡川越町、朝日町)
出動件数の多かった月	12月	1,379件
出動件数の少なかった月	6月	1,077件
出動件数の多かった曜日	月曜日	2,192件
出動件数の少なかった曜日	木曜日	1,969件
出動件数の多かった地区	常磐地区	1,316件
出動件数の少なかった地区	同和地区	38件
出動件数の多かった時間帯	9時～10時	886件
出動件数の少なかった時間帯	3時～4時	269件
出動の多かった事故種別	急病	9,338件
出動件数の一番多かった日	12月27日	67件
出動件数の一番少なかった日	9月11日	16件

## 平成26年中の救急業務の概要

平成26年中の救急出動件数は14,307件で、前年に比べ135件の減少となりました。また、搬送人員は12,543人で前年と比べ378人の減少となりました。

救急出動件数を事故種別構成比で見ると、「急病」が9,338件(65.3%)で最も多く、続いて「一般負傷」が1,786件(12.5%)、「交通事故」が1,604件(11.2%)、「転院搬送」が973件(6.8%)となりました。「急病」は昭和47年以降から毎年連続して事故種別のトップを占めております。

救急車の利用状況については、管内の住民約23人に1人が救急車を利用したことになり、1日あたり、39.2件出動したことになっています。

以下に救急搬送した傷病者について、『年齢層別』『傷病程度別』『地区別』などの観点から眺めた特徴的な傾向について示します。

『年齢層別』の傾向については、前年と比較して「新生児」は増加していますが、「高齢者」「成人」「少年」「乳幼児」は減少しています。「高齢者」の搬送比率は54.7%となっており、年々増加しています。

『傷病程度別』の傾向については、「軽症」の割合が一番多く、その比率は61.5%となっています。前年と比較し、「重症」の比率は増加していますが、「中等症」、「軽症」、「その他」の比率は減少しています。

『地区別』の傾向については、「常磐」「日永」「三重」「四郷」の各地区が救急需要の多い4地区となっています。これらの地区は人口も多い地区であることから必然的に救急需要が多くなっています。

このように、増加し続ける救急需要に対して、本市では、3消防署に5台の救急車を、また中央地域、西部地域、北西地域、西南地域と消防事務を受託している朝日町・川越町地域にそれぞれ1台ずつ、計10台の救急車を配置しています。

今後も都市整備や救急需要の動向などを踏まえて、署所配置などの検討を行いながら、“5分救急”施策の実現を目指します。

◎ 現場到着時間(出動指令から現場到着までの平均時間)

年 中	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
現場到着時間	5分45秒	5分42秒	5分49秒	5分52秒	5分54秒

◎ 医療機関到着時間(出動指令から医療機関到着までの平均時間)

年 中	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
医療機関到着時間	28分12秒	28分42秒	29分27秒	30分24秒	31分36秒

また、全ての救急車に少なくとも1名以上の救急救命士を配置できるよう、救急救命士の養成を継続していきます。

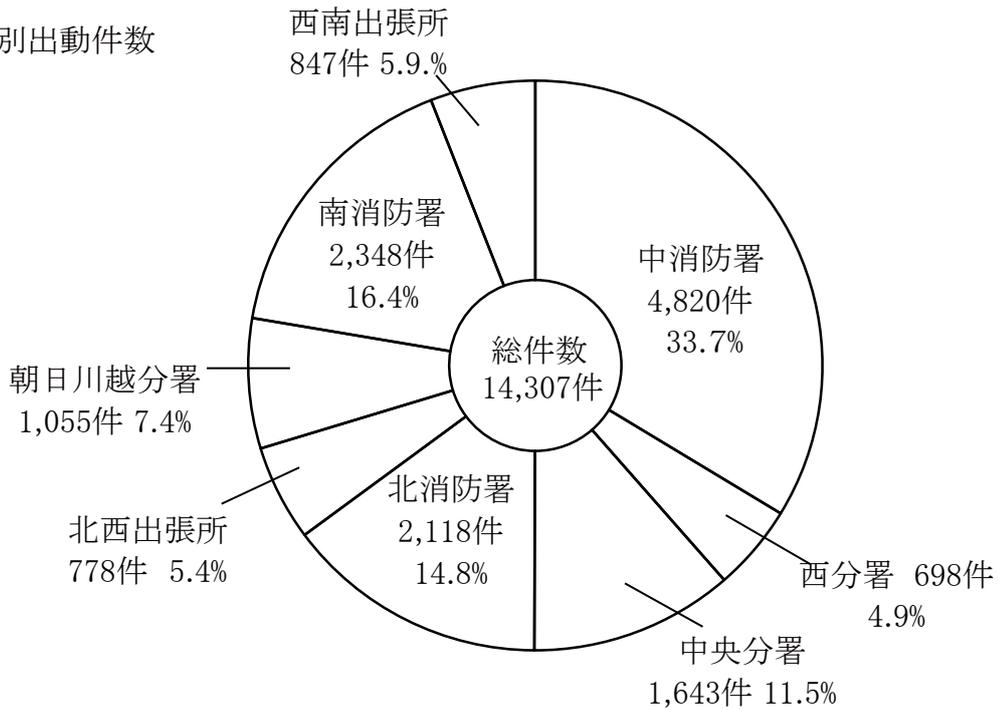
加えて、平成27年4月現在、市内の公的施設にAED(自動体外式除細動器)が218台配備され、さらに一般事業所等への設置も進んでおり、それらの事業所等で勤務する職員に対するAEDの取扱いを含めた応急手当講習を計画的に進めていきます。

# 救急概要

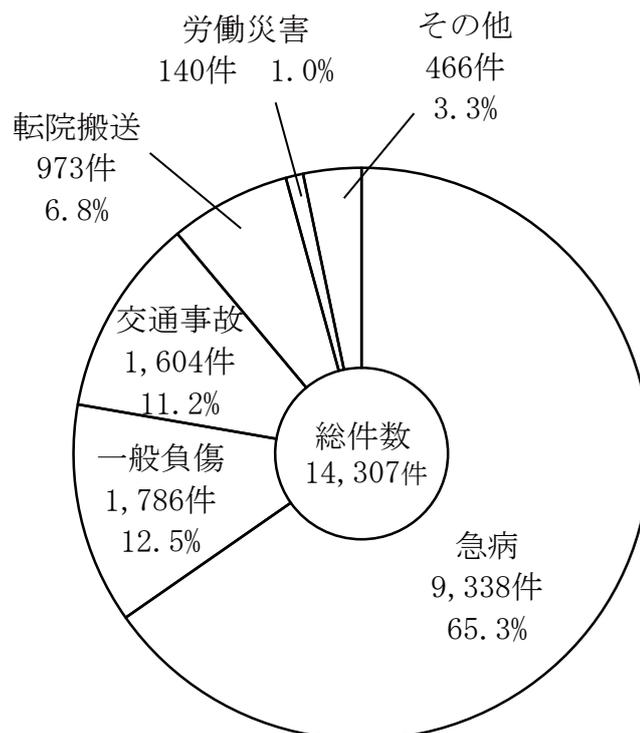
(平成26年中)

区分	件数・人員	一日平均
救急出動件数	14,307件	39.2件
搬送件数	12,364件	33.9件
搬送人員	12,543人	34.4人

救急隊別出動件数



事故別出動件数



## 救急発生状況比較

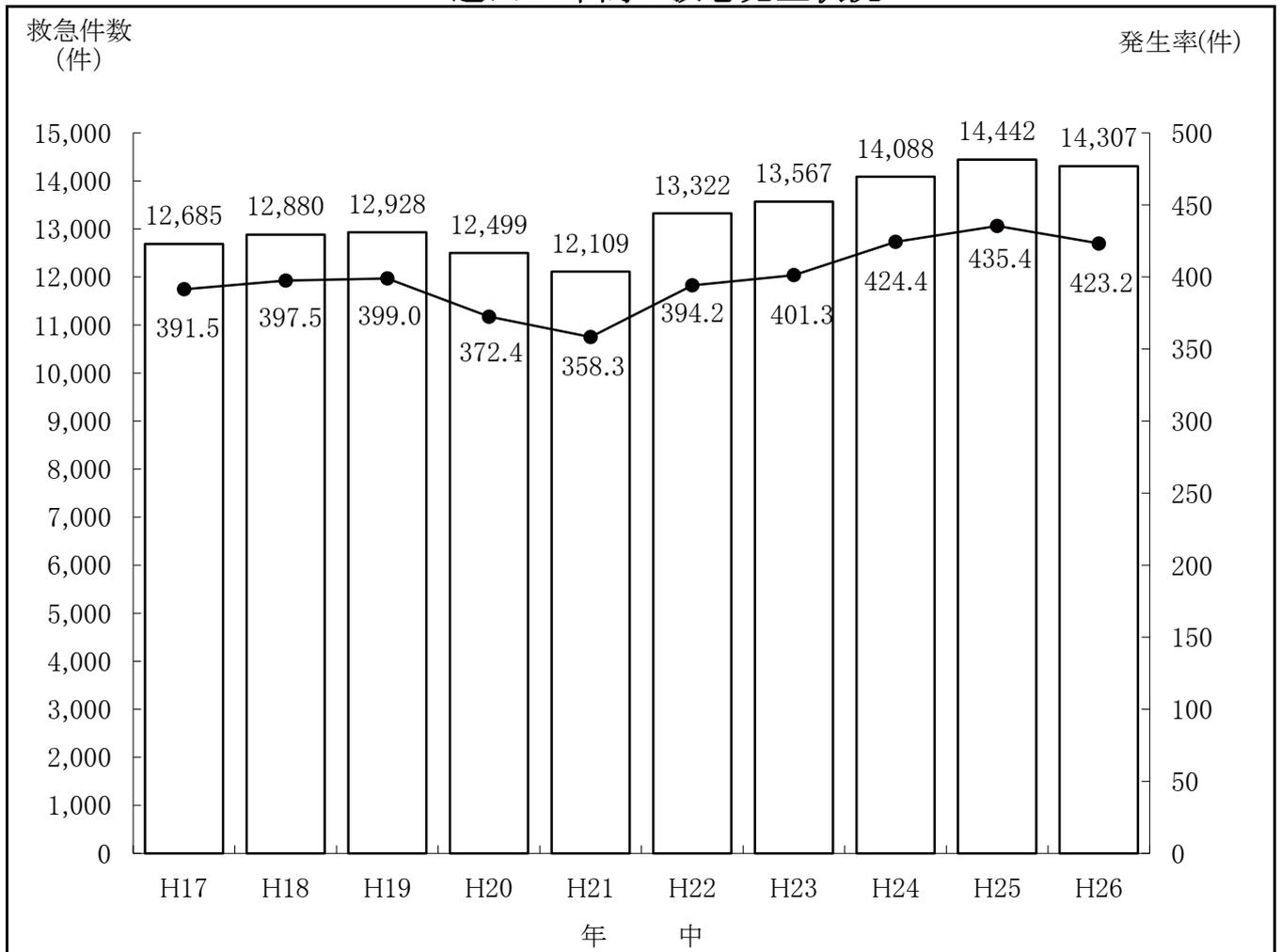
年 別		平成22年中	平成23年中	平成24年中	平成25年中	平成26年中
区 分						
全 国	救急件数	5,463,682件	5,707,655件	5,802,455件	5,909,367件	未確定
	発生率	427.0件	446.1件	453.5件	461.8件	未確定
三重県	救急件数	78,971件	83,223件	87,076件	90,560件	未確定
	発生率	425.8件	448.7件	469.5件	488.3件	未確定
四日市市 (朝日、川越町舎)	救急件数	13,322件	13,567件	14,088件	14,442件	14,307件
	発生率	394.2件	401.3件	424.4件	435.4件	423.2件

※救急自動車による救急出動件数

$$\text{発生率} = \frac{\text{救急件数}}{\text{人 口}} \times 10,000$$

(人口1万人あたりの発生件数)

## 過去10年間の救急発生状況



平成26年

## 地区別救急出場状況

地区別		区分		出場件数		搬送件数		搬送人員	
		合計							
		<b>14,307 件</b>	<b>100 %</b>	<b>12,364 件</b>	<b>100 %</b>	<b>12,543 件</b>	<b>100 %</b>		
中 消 防 署	小計	<b>6,229</b>	<b>43.54</b>	<b>5,235</b>	<b>42.34</b>	<b>5,295</b>	<b>42.21</b>		
	共同	678	4.74	506	4.09	516	4.11		
	同和	38	0.27	35	0.28	35	0.28		
	中央	127	0.89	110	0.89	110	0.88		
	港	141	0.99	126	1.02	126	1.00		
	浜田	763	5.33	589	4.76	602	4.80		
	橋北	374	2.61	300	2.43	301	2.40		
	海蔵	459	3.21	386	3.12	389	3.10		
	常磐	1,316	9.20	1,108	8.96	1,114	8.88		
	川島	319	2.23	288	2.33	291	2.32		
	神前	320	2.24	286	2.31	295	2.35		
	桜 県	538	3.76	467	3.78	469	3.74		
	三重	211	1.47	192	1.55	197	1.57		
	945	6.61	842	6.81	850	6.78			
北 消 防 署	小計	<b>3,217</b>	<b>22.49</b>	<b>2,857</b>	<b>23.11</b>	<b>2,888</b>	<b>23.02</b>		
	羽津	670	4.68	589	4.76	602	4.80		
	富田	617	4.31	552	4.46	554	4.42		
	富洲原	420	2.94	355	2.87	359	2.86		
	大矢知	552	3.86	504	4.08	505	4.03		
	八郷	438	3.06	388	3.14	394	3.14		
	下野	314	2.19	285	2.31	290	2.31		
	保々	206	1.44	184	1.49	184	1.47		
南 消 防 署	小計	<b>3,814</b>	<b>26.66</b>	<b>3,362</b>	<b>27.19</b>	<b>3,414</b>	<b>27.22</b>		
	塩浜	404	2.82	352	2.85	361	2.88		
	日永	1,029	7.19	893	7.22	913	7.28		
	四郷	862	6.03	759	6.14	769	6.13		
	内部	546	3.82	469	3.79	472	3.76		
	河原田	210	1.47	183	1.48	186	1.48		
	小山田	203	1.42	189	1.53	192	1.53		
	水沢 楠	130	0.91	118	0.95	118	0.94		
	430	3.01	399	3.23	403	3.21			
高速自動車道		81	0.57	66	0.53	81	0.65		
市 外	小計	<b>966</b>	<b>6.75</b>	<b>844</b>	<b>6.83</b>	<b>865</b>	<b>6.90</b>		
	朝日町	340	2.38	297	2.40	303	2.42		
	川越町	614	4.29	535	4.33	550	4.38		
	その他	12	0.08	12	0.10	12	0.10		

平成26年

## 月別救急出場状況

事故別	区分	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		合計												
合計	出場件数	<b>14,307</b>	<b>1,251</b>	<b>1,159</b>	<b>1,173</b>	<b>1,116</b>	<b>1,118</b>	<b>1,077</b>	<b>1,303</b>	<b>1,253</b>	<b>1,125</b>	<b>1,186</b>	<b>1,167</b>	<b>1,379</b>
	搬送人員	<b>12,543</b>	<b>1,138</b>	<b>1,015</b>	<b>1,026</b>	<b>1,004</b>	<b>986</b>	<b>937</b>	<b>1,146</b>	<b>1,109</b>	<b>971</b>	<b>1,012</b>	<b>1,029</b>	<b>1,170</b>
火災	出場件数	<b>64</b>	13	5	5	4	6	7	5	5	3	3	3	5
	搬送人員	<b>26</b>	19	1	1	0	2	0	1	1	0	0	0	1
自然災害	出場件数	<b>0</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	搬送人員	<b>0</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水難	出場件数	<b>7</b>	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1
	搬送人員	<b>5</b>	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
交通	出場件数	<b>1,604</b>	105	132	147	131	122	141	141	116	131	153	131	154
	搬送人員	<b>1,551</b>	107	120	140	128	114	136	148	126	120	139	129	144
労働災害	出場件数	<b>140</b>	10	7	11	12	7	12	13	12	11	10	13	22
	搬送人員	<b>134</b>	10	6	11	11	7	12	13	12	11	10	13	18
運動競技	出場件数	<b>105</b>	4	9	6	7	16	10	11	6	6	8	17	5
	搬送人員	<b>102</b>	3	9	4	7	16	9	11	6	6	9	17	5
一般負傷	出場件数	<b>1,786</b>	151	142	118	143	155	120	146	145	153	167	158	188
	搬送人員	<b>1,593</b>	144	128	107	133	130	106	123	123	141	149	146	163
加害	出場件数	<b>98</b>	8	11	10	10	6	6	7	7	7	7	6	13
	搬送人員	<b>74</b>	7	11	9	7	4	4	4	5	4	6	4	9
自損行為	出場件数	<b>128</b>	8	19	16	8	11	6	10	12	11	9	6	12
	搬送人員	<b>59</b>	3	12	10	4	5	4	4	4	4	4	1	4
急病	出場件数	<b>9,338</b>	865	747	785	725	705	707	903	846	699	707	753	896
	搬送人員	<b>8,019</b>	760	644	672	637	620	598	775	739	595	583	648	748
転院搬送	出場件数	<b>973</b>	83	83	70	75	88	68	65	92	90	111	72	76
	搬送人員	<b>971</b>	83	83	70	75	88	68	65	91	90	112	70	76
その他	出場件数	<b>64</b>	2	3	5	1	2	0	1	11	14	11	7	7
	搬送人員	<b>9</b>	0	1	2	2	0	0	2	1	0	0	0	1

## 応急手当の普及計画

大切な人の命は、救急隊が到着するまでの間に、傷病者の近くに居合わせた住民の方が適切な応急手当を実施することによって、救われるものといっても過言ではありません。

本市では、平成6年から本格的に住民に対する応急手当の普及啓発活動を開始し、各自治会や各種団体を対象にした普通救命講習や上級救命講習などを年間約340回程度開催しています。

また、毎月第2土曜日に一般公募による定期普通救命講習を開催し、個人での受講希望者への対応も行っています。さらに事業所や各種団体等において、応急手当の普及啓発活動の中心的な役割を担ってもらえるよう、指導者養成コースである普及員講習や指導員講習なども計画的に開催しており、現在、管内には約1,500名の応急手当普及員及び指導者がいます。

なお、平成26年中の心肺停止傷病者に対する家族等による応急手当実施率は42.2%となっています。

### 応急手当普及啓発活動の状況

○普通救命講習の実績 (270回) 4,596人 (平成26年中)

講習 実施 月	講習 回数	男女別		修了 者数 合計	消 防 防 災 団 隊	自 治 会	公 務 員	P T A	事 業 所 等	福 祉 関 係	学 校 関 係	そ の 他  (定期 含む)
		男	女									
合 計	270	2689	1907	4596	297	252	241	770	1853	257	478	448
1 月	13	106	74	180	45	0	8	0	74	11	16	26
2 月	15	117	158	275	51	0	0	59	87	0	0	78
3 月	23	407	85	492	0	0	9	0	438	21	0	24
4 月	17	137	44	181	1	0	0	0	126	46	0	8
5 月	32	269	155	424	28	19	0	40	179	35	97	26
6 月	53	401	638	1039	60	79	0	502	236	59	28	75
7 月	31	324	413	737	17	78	78	169	72	0	258	65
8 月	11	106	73	179	4	0	0	0	96	12	44	23
9 月	23	280	93	373	0	15	0	0	257	24	7	70
10月	23	200	61	261	27	0	40	0	131	31	1	31
11月	19	236	60	296	33	61	106	0	69	0	27	0
12月	10	106	53	159	31	0	0	0	88	18	0	22

※ 応急手当普及員にて94回実施、受講者1,340人含む。

○上級救命講習の実績

一般公募・学校関係・事業所等	実施回数 7回 170名(男68名・女102名)
----------------	-----------------------------

○応急手当指導員講習の実績

消防団員・消防職員	新規講習 4回・再講習 9回 288名(男276名・女12名)
-----------	------------------------------------

○応急手当普及員講習の実績

事業所・市職員・教職員・一般公募等	新規講習 3回・再講習 10回 251名(男179名・女72名)
-------------------	-------------------------------------

○救命入門コース(90分)の実績 : 時間的な制約や年齢により、従来型の講習への参加が難しい市民を対象に、平成24年4月1日から実施。併せて普通救命講習へ繋げるための講習とする。

一般・学校関係・事業所等	実施回数 31回 701名(男215名・女486名)
--------------	-------------------------------

## 心肺機能停止傷病者の救命率

◎ 救命率とは、救急搬送した心肺停止傷病者の1ヵ月後の生存率です。  
ただし、調査の条件としては、心臓に原因があり、かつ一般市民等により心肺機能停止の時点が目撃された傷病者を対象としています。

年別	区 分	四日市市 (朝日、川越町含む)	全 国
平成 22 年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	342人	123,095人
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	71人	22,463人
	1ヵ月後の生存者数	9人	2,561人
	救命率	12.7%	11.4%
平成 23 年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	322人	127,109人
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	74人	23,296人
	1ヵ月後の生存者数	14人	2,655人
	救命率	18.9%	11.4%
平成 24 年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	268人	127,866人
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	65人	23,797人
	1ヵ月後の生存者数	5人	2,736人
	救命率	7.7%	11.5%
平成 25 年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	312人	123,987人
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	94人	25,469人
	1ヵ月後の生存者数	14人	3,035人
	救命率	14.9%	11.9%
平成 26 年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	282人	未確定
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	80人	未確定
	1ヵ月後の生存者数	12人	未確定
	救命率	15.0%	未確定

$$\text{※救命率} = \frac{\text{1ヵ月後の生存者数}}{\text{心臓に原因があるもので一般市民に目撃された傷病者数}}$$

通信 ・ 気象

# 一 目 統 計

平成26年中

## 119番通報取扱状況

受 信 総 件 数	19,878件
携 帯 電 話 受 信 件 数	8,508件
一日あたりの平均受信件数	54.5件
一日あたりの携帯電話による平均受信件数	23.3件
通 報 件 数 の 多 か っ た 月	12月 1,872件
通 報 件 数 の 少 な っ た 月	9月 1,508件

## 気 象 状 況

最 高 気 温	7月25日	38.2℃
最 低 気 温	1月7日	-1.9℃
最 大 瞬 間 風 速	3月6日	25.8m/s
年 間 総 雨 量		1,441.5mm
時間あたりの最大降雨量	9月25日(3時~4時)	36.5mm
一日あたりの最大降雨量	8月9日	150.0mm
最 多 風 向		西北西
最 少 風 向		南西

## 指令事務の共同運用

四日市市と桑名市は、「四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会」を設置して、平成19年4月1日から指令事務の共同運用を開始しました。

- 1 四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会の目的  
地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の2第1項の規定に基づき、複雑多様化する消防需要に広域的に対応し、住民の期待と信頼に応えられる消防サービスの高度化を図るため、消防通信指令施設において行う消防通信指令に関する事務を共同して管理し、及び執行する。
- 2 四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会の担当事務
  - ・ 災害通報の受信
  - ・ 出動指令
  - ・ 通信統制
  - ・ 情報の収集伝達
- 3 担当事務を執行する施設の名称  
消防指令センター
- 4 消防指令センターの設置場所  
桑名市消防本部内
- 5 共同運用部分の経費の負担割合  
経費の2分の1を国勢調査人口比率、残りの2分の1を消防費基準財政需要額比率とする。
- 6 消防指令センターの管内人口及び面積  
管内人口約56万人・面積約614km<sup>2</sup>
- 7 消防指令センター管内署所数  
17署所
- 8 消防指令センター員の構成状況  
総員 27名  
内訳 四日市市消防本部職員 15名  
桑名市消防本部職員 12名

## 消防通信施設の概要

高機能消防通信指令システムには次の機能を備え、119番通報受付から出動指令までの時間短縮及び消防車・救急車が災害場所に到着するまでの時間短縮を図っています。

- 1 NTT発信地表示システム  
NTTからの119番通報時に、通報者の住所を瞬時に特定し、地図上に通報場所を表示します。
- 2 携帯電話・IP電話の発信者位置情報通知システム  
携帯電話・IP電話からの119番緊急通報時に、音声通話と併せて通報者の発信位置に関する情報が自動的に通知され、地図上に表示します。
- 3 車両位置管理システム  
GPS（衛星利用測位システム）機能により、出向している消防車や救急車の走行している位置を把握して、災害場所に速い消防車・救急車に対して出動を指令（直近車両の隊編成）します。
- 4 Eメール・FAX119番緊急通報システム  
音声による119番通報が困難な聴覚障害や言語障害のある方が、携帯電話機やインターネット接続端末機からEメール、又はFAXを利用して火災・救急事案等の緊急通報を受信します。
- 5 消防団への出動指令  
消防団への出動指令は、出動対象分団車庫へファックスによる指令書を送信するとともに、出動対象団員へ電話音声による順次指令とEメール指令を送信します。

● 119番通報受付取扱状況

119番通報受付取扱状況

(四日市市消防本部管内)

(平成26年中)

月	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	FAX 119	その他	合計
1	25	1,220	14	14	20	69	54	137	14	0	101	1,668
2	23	1,119	9	10	15	58	87	113	10	0	104	1,548
3	27	1,129	12	12	31	83	150	130	14	0	137	1,725
4	23	1,096	2	8	27	63	75	90	16	0	113	1,513
5	38	1,084	5	14	15	68	73	107	9	0	122	1,535
6	25	1,048	3	12	3	64	121	102	7	0	148	1,533
7	16	1,275	3	14	14	87	68	107	6	0	163	1,753
8	19	1,223	4	27	43	87	53	155	6	0	169	1,786
9	6	1,077	11	12	7	48	97	126	11	0	113	1,508
10	21	1,141	12	14	101	96	140	124	14	0	129	1,792
11	10	1,121	8	18	55	63	141	113	10	0	106	1,645
12	23	1,342	8	16	7	56	110	164	9	0	137	1,872
合計	256	13,875	91	171	338	842	1,169	1,468	126	0	1,542	19,878

※災害通報には重複通報含む。

119番通報（回線別）受付取扱状況

(四日市市消防本部管内)

(平成26年中)

回線種別	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	FAX 119	その他	合計
固定電話	43	4,637	12	39	131	183	877	349	7	0	384	6,662
IP電話	46	3,822	14	25	15	99	213	287	8	0	179	4,708
携帯電話	167	5,416	65	107	192	560	79	832	111	0	979	8,508
合計	256	13,875	91	171	338	842	1,169	1,468	126	0	1,542	19,878

119番通報（消防本部別）受付取扱状況

(四日市市消防本部・桑名市消防本部管内別)

(平成26年中)

消防本部	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	FAX 119	その他	合計
四日市市	256	13,875	91	171	338	842	1,169	1,468	126	0	1,542	19,878
桑名市	182	7,946	49	94	63	522	969	1,052	64	0	1,077	12,018
合計	438	21,821	140	265	401	1,364	2,138	2,520	190	0	2,619	31,896

# 通 信 施 設 保 有 状 況

(平成27年4月1日現在)

所 属 別 区 分	消 防 緊 急 通 信 指 令 施 設 Ⅲ 型	火 災 報 知 電 話	M C A 無 線	指 令 電 話	道 路 公 団	加 入 電 話 (回 線)	テ レ フ ォ ン ガ イ ド (回 線)	消 防 無 線 電 話 (ア ナ ログ)			消 防 無 線 電 話 (デ ジ タ ル)			救 急 無 線 電 話		消 防 団 無 線 電 話		県 防 災 無 線 電 話		市 防 災 行 政 用 無 線 電 話		フ ァ ク シ ミ リ		無 線 フ ァ ク シ ミ リ		携 帯 電 話																
								基 地	移 動	携 帯	基 地	移 動	携 帯	基 地	移 動	携 帯	基 地	移 動	携 帯	車 載	携 帯	地 上 ・ 衛 星	防 災 相 互 波	防 災 相 互 波	防 災 相 互 波	防 災 相 互 波	防 災 相 互 波	防 災 相 互 波	防 災 相 互 波	防 災 相 互 波	防 災 相 互 波	防 災 相 互 波	防 災 相 互 波	防 災 相 互 波								
																																			消 防 車 両	そ の 他 車 両	消 防 車 両	可 搬 型 ・ 卓 上 型	消 防 車 両	可 搬 型 ・ 卓 上 型	消 防 車 両	可 搬 型 ・ 卓 上 型
																																			1	2	3	1	2	3	1	2
合 計	1	12	2	9	1	28	10	1	26	24	74	1	2	3	1	12	24	7	5	15	11	39	1	22																		
消 防 本 部	1	12	2		1	11	10	1		9	8	1		3	1				5	7	2	2	1	4																		
中 消 防 署				1		4			8	2	15				3					2	1	1	1	5																		
中 央 分 署				1		1			3	3	10		2		1					2	1	1	1	2																		
西 分 署				1		2			2	1	3				1							1	1	2																		
港 分 署				1		1				2	2									2	1	1	1																			
北 消 防 署				1		2			5	3	13				2					1	1	1	1	2																		
朝 日 川 越 分 署				1		2			1	1	6				1						1	1	1	1	2																	
北 西 分 駐 所				1		1			1	1	2				1						1	1	1	1	1																	
南 消 防 署				1		3			5	3	13				2						1	1	1	1	3																	
西 南 分 駐 所				1		1			1		2				1						1	1	1	1	1																	
消 防 団	団 本 部																1	3																								
	消 防 団																23	4					25																			
	水 防 対 応 班																						3																			

◎県防災行政無線電話には、FAX・衛星可搬型地球局含む。

- \* 四日市市デジタル防災行政無線 各署に設置、25年度運用開始
- \* ホットラインについては、平成24年10月末日で全撤去、MCA無線を配置した。
- \* 北西分駐所・西南分駐所・消防団・水防対応班はFAXと電話回線兼用

## 無 線 配 置 状 況

消 防 本 部	中 消 防 署	北 消 防 署	南 消 防 署
○車載無線 (よっかいち) 指揮車 51 広報車 61・68・69・73・78 資機材搬送車 82 都道府県隊指揮車 (指揮1、指揮2) ○携帯無線 (よっかいち) 800.801.802.803.804 805.810.820 ○携帯無線 (デジタル) よっかいちほんぶ 201.202.203 ○基地局 よっかいちしょうぼう きゅうきゅうよっかいち 三重県防災行政無線 (固定局) 四日市市防災行政無線 (固定局)	○車載無線 (よっかいち) ポンプ車 1 水槽付ポンプ車 5 はしご車 31 大型化学高所放水車 35 救助工作車 (Ⅲ型) 41 広報車 62・72 泡原液搬送車 74 原液運搬車 76 支援車 しえん1 ○携帯無線 (よっかいちなか) 100.101.103.105.106 108.141.142.143.144 145.190.191.192.193 ○救急無線 (きゅうきゅうよっかいち) 高規格救急車 1・7・9	○車載無線 (よっかいち) ポンプ車 2 水槽付ポンプ車 6 水槽付ポンプ車 8 化学車 9 屈折はしご車 32 救助工作車 (Ⅱ型) 43 広報車 63・65 資機材搬送車 81 ○携帯無線 (よっかいちきた) 200.201.202.203.204 205.206.207.208.241 242.292.295 ○救急無線 (きゅうきゅうよっかいち) 高規格救急車 5・11	○車載無線 (よっかいち) ポンプ車 3 水槽付ポンプ車 15 化学車 10 高所放水車 34 泡原液搬送車 36 広報車 64・80 資機材搬送車 84 ○携帯無線 (よっかいちみなみ) 300.301.302.303.305 306.307.308.309.390 391.392.393 ○救急無線 (きゅうきゅうよっかいち) 高規格救急車 2・3
<b>四日市市消防団</b> (よっかいちしょうぼうだん) ○消防団本部 車載1 携帯3 ○消防団 車載23 携帯4	<b>中 央 分 署</b> ○車載無線 (よっかいち) ポンプ車 4 水槽車 11 水槽付ポンプ車 12 広報車 66 資機材搬送車 83 大容量送水ポンプ車 特装1 大型放水砲車 特装2 ○携帯無線 (よっかいちちゅうおう) 700.701.702.703.704 705.706.707.708.790 ○救急無線 (きゅうきゅうよっかいち) 高規格救急車 12	<b>北 西 出 張 所</b> ○車載無線 (よっかいち) ポンプ車 17 ○救急無線 (きゅうきゅうよっかいち) 高規格救急車 4 ○携帯無線 (よっかいちほくせい) 290.291	<b>西 南 出 張 所</b> ○車載無線 (よっかいち) ポンプ車 18 ○救急無線 (きゅうきゅうよっかいち) 高規格救急車 10 ○携帯無線 (よっかいちせいなん) 304.395
<b>港 分 署</b> ○車載無線 (よっかいち) 広報車 71 水難救助車 45 ○携帯無線 (よっかいちみなど) 601.603	<b>西 分 署</b> ○車載無線 (よっかいち) 水槽付ポンプ車 7・14 広報車 70 ○携帯無線 (よっかいちにし) 401.403.491 ○救急無線 (きゅうきゅうよっかいち) 高規格救急車 6	<b>朝 日 川 越 分 署</b> ○車載無線 (よっかいち) 水槽付ポンプ車 16 広報車 79 ○携帯無線 (よっかいちあさかわ) 501.502.503.504.590 591 ○救急無線 (きゅうきゅうよっかいち) 高規格救急車 8	

警報・注意報・情報等の発表状況(四日市)

(平成 26年中)

種別		月別												発表回数 計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
特別 警報	暴風特別警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	暴風雪特別警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大雨特別警報	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	大雪特別警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高潮特別警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	波浪特別警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
警報	暴風警報	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	3
	暴風雪警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大雨警報	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2	0	0	5
	大雪警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	洪水警報	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	4
	波浪警報	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	3
注意 報	高潮警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大雨注意報	0	0	0	1	0	5	5	12	4	4	0	0	31
	大雪注意報	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
	風雪注意報	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	雷 注意報	1	0	3	2	2	11	16	16	5	5	4	3	68
	強風注意報	5	6	6	4	2	1	1	2	1	5	2	8	43
	融雪注意報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	濃霧注意報	0	2	1	1	1	2	2	1	1	0	1	1	13
	乾燥注意報	3	3	1	4	4	0	0	0	1	0	1	1	18
	なだれ注意報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	低温注意報	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10
	霜注意報	0	0	10	8	0	0	0	0	0	0	0	0	18
	着水注意報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	着雪注意報	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	洪水注意報	0	0	0	1	0	5	4	11	4	4	0	0	29
波浪注意報	0	1	2	1	0	1	1	2	0	4	0	0	12	
高潮注意報	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	4	
計		16	20	23	22	9	25	31	52	16	32	8	15	269
火災気象通報		4	13	3	15	5	0	0	0	1	2	2	2	47
土砂災害警戒情報	四日市市	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	朝日町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
竜巻注意情報		0	0	1	0	0	1	4	8	2	1	0	0	17
津波警報	大津波	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	津波	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津波注意報		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1) 火災気象通報は三重県北部を対象に発表された回数を示す。  
 注2) 同一種類の注意報・警報を継続する場合に発表された注意報・警報は回数に含めない。  
 注3) 土砂災害警戒情報について、川越町は発表対象外です。  
 注4) 竜巻注意情報は、三重県北部地域を対象に発表された回数を示す。

# 気 象 状 況

風速・湿度・気温・風向・降雨量

(平成26年中)

区分		月別												
		年間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
風速(m/s)	平均	2.6	2.7	3.8	3.3	2.5	2.9	2.3	2.0	1.9	2.4	2.6	2.1	2.9
	最大瞬間	25.8	19.9	21.5	25.8	23.5	22.2	18.8	17.6	24.0	17.2	24.0	16.1	20.6
湿度(%)	平均	64.7	58.5	56.6	62.4	56.9	61.9	69.5	72.5	78.7	67.5	67.2	63.6	60.8
	最低	33.8	49.6	45.3	51.3	33.8	46.0	54.2	62.8	71.6	51.5	54.0	50.8	50.0
気温(°C)	平均	16.5	5.4	5.8	9.5	14.8	19.8	24.3	27.5	27.3	23.9	19.4	14.0	6.3
	最高	38.2	14.0	17.3	20.7	25.4	34.6	34.4	38.2	34.7	33.6	29.5	26.0	15.9
	最低	-1.9	-1.9	-1.7	-0.6	5.2	9.0	18.2	20.4	21.3	15.6	9.9	3.9	-1.6
気圧(hPa)	平均	1012.2	1018.0	1017.4	1014.4	1014.0	1009.3	1004.1	1006.3	1007.3	1009.6	1014.8	1016.2	1015.2
	最高	1030.6	1027.2	1028.3	1026.2	1025.9	1020.7	1012.4	1014.1	1013.6	1019.6	1025.6	1025.7	1030.6
	最低	981.2	1001.5	1001.3	988.6	993.3	991.7	989.3	987.5	986.8	1000.0	981.2	1001.1	995.4
風 向 頻 度  (%)	東	2.1	1.5	0.5	1.8	2.2	3.0	2.7	3.4	4.4	1.6	1.7	1.1	0.7
	東南東	5.7	1.5	0.8	2.4	5.9	8.3	10.6	12.3	10.6	7.1	6.0	1.7	0.9
	南東	10.3	1.6	2.3	5.8	9.4	15.9	24.0	20.9	18.7	10.7	10.6	2.2	0.5
	南南東	2.9	0.7	0.4	0.9	3.8	4.0	6.4	6.2	5.1	3.8	2.4	0.9	0.4
	南	3.2	0.6	0.4	1.2	4.1	2.6	6.4	7.1	6.7	4.3	3.1	1.3	1.1
	南南西	2.0	1.3	0.6	0.8	2.6	0.7	4.4	2.7	3.0	1.6	1.8	1.8	2.7
	南西	1.7	2.1	0.8	0.6	1.7	1.2	2.8	2.3	2.1	0.9	0.8	2.5	2.8
	西南西	5.0	6.4	2.8	3.6	5.4	3.1	3.1	3.4	4.0	2.8	2.5	7.0	15.2
	西	7.1	10.9	5.7	7.9	6.3	5.0	3.3	4.0	3.1	4.0	4.7	10.5	19.0
	西北西	24.5	30.1	40.3	33.1	25.0	24.5	12.8	10.3	11.1	30.6	25.3	29.6	22.4
	北西	14.5	18.5	25.1	18.3	13.0	14.1	10.9	8.4	6.7	14.5	17.3	16.2	12.3
	北北西	5.6	7.7	6.4	6.7	4.2	4.8	3.4	4.6	4.3	4.8	7.1	7.5	5.4
	北	4.8	5.2	5.2	6.6	4.6	4.1	3.0	4.6	4.6	4.5	5.1	5.6	4.6
	北北東	4.9	4.7	4.6	4.9	5.3	3.1	2.6	3.6	6.6	4.1	7.1	6.2	6.4
	北東	3.7	4.8	3.2	3.6	4.5	3.1	1.8	4.0	5.2	2.9	3.4	4.2	4.1
	東北東	2.0	2.4	0.9	1.8	2.0	2.5	1.8	2.3	3.8	1.8	1.1	1.7	1.5
静 穩	1.0	0.9	1.5	0.9	0.5	0.7	0.6	1.1	0.8	0.9	1.1	2.5	0.6	
降雨量 (mm)	日 数	111	6	7	11	9	8	9	12	14	8	10	7	10
	時間最大	36.5	2.5	4.5	18.0	26.0	12.5	13.0	10.0	20.5	36.5	14.0	5.5	5.0
	1日最大	150.0	21.5	25.0	29.0	81.0	40.5	27.5	34.5	150.0	72.5	54.5	32.5	11.5
	合 計	1441.5	33.5	93.0	114.5	183.5	131.5	48.5	115.0	240.5	199.0	148.0	82.0	52.5

予 防

# 一 目 統 計

平成26年度

広報活動		380件
広報催事に対する参加者数		31,241人
立入検査数		5,258件
建築同意数		527件
防火対象物		13,118棟
		<small>注)H25年度から延べ面積150㎡以上の数</small>
中高層ビル	4階以上	1,495棟
危険物関係事務処理件数		3,735件
危険物施設数		3,991施設
火災予防条例に基づく届出件数		7,603件

## 広 報 活 動 状 況

(平成26年度)

種 別	回数／人員	合計	消防本部	中署	北署	朝川分署	南署
広報車等による宣伝活動	回数	9	0	3	3	1	2
	人員	321	0	9	208	100	4
防火講演会 座談会	回数	21	11	5	3	2	0
	人員	2453	839	1175	278	161	0
防火映画会	回数	13	1	5	0	5	2
	人員	1590	78	435	0	867	210
自衛消防隊等訓練指導	回数	204	4	90	36	34	40
	人員	18432	103	7176	4594	1899	4660
庁舎見学	回数	91	1	55	30	3	2
	人員	4357	64	2367	1555	333	38
防火展	回数	22	11	6	2	2	1
	人員	11153	5653	3400	800	1000	300
防火教室	回数	43	0	17	10	3	13
	人員	3230	0	1246	876	331	777
防災教室	回数	28	0	11	7	2	8
	人員	3430	0	1385	923	253	869
地震体験車	回数	36	1	8	7	4	16
	人員	4417	34	865	865	1049	1604
火災予防相談	回数	117	13	42	49	1	12
	人員	290	13	90	141	1	45
合 計	回数	584	42	242	147	57	96
	人員	49673	6784	18148	10240	5994	8507

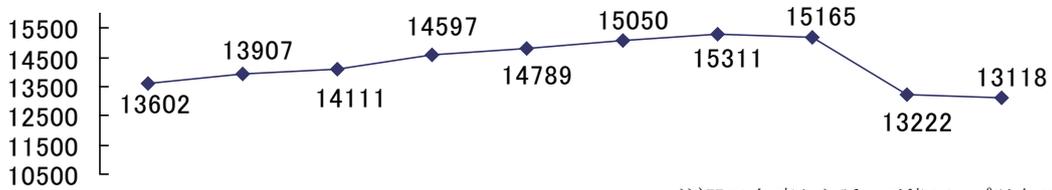
## 広 報 用 印 刷 物

(平成26年度)

種 別	回数／部数	合計	消防本部	中署	北署	朝川分署	南署
チラシ	回数	31	17	6	2	3	3
	部数	11294	6695	3606	402	231	360
ポスター	回数	6	4	2	0	0	0
	部数	7862	7861	1	0	0	0
ステッカード	回数	0	0	0	0	0	0
	部数	0	0	0	0	0	0
防火だより	回数	2	2	0	0	0	0
	部数	290900	290900	0	0	0	0
その他	回数	33	0	31	0	2	0
	部数	6013	0	5792	0	221	0
合 計	回数	72	23	39	2	5	3
	部数	316069	305456	9399	402	452	360

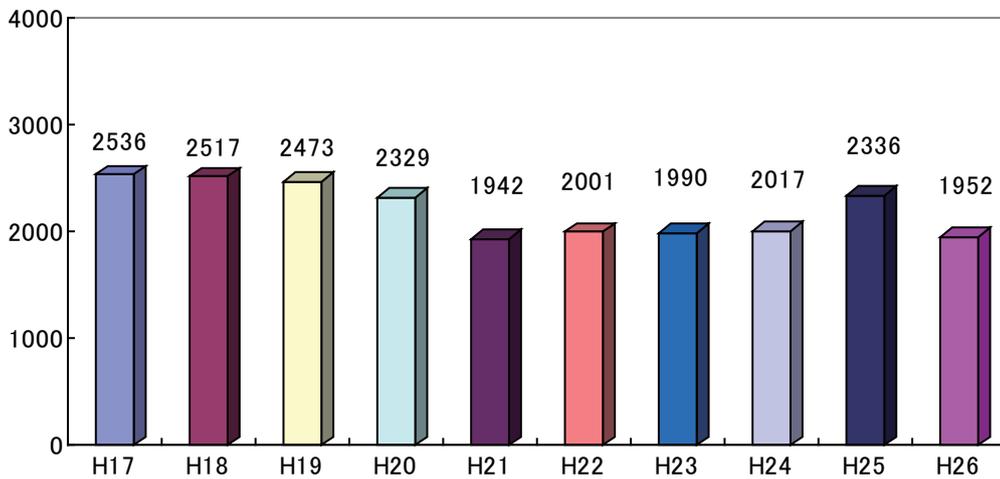
## 年別建築同意状況及び防火対象物の推移

### 防火対象物



注)H25年度から延べ面積 150㎡以上の数

### 建築同意件数



### 建築同意件数

(平成 26 年度)

区分 項目	件 数	
	同 意	不同意
新 築	4 1 0	0
増 築	1 0 5	0
改 築	1	0
修 繕	1	0
用途変更	8	0
そ の 他	2	0
小 計	5 2 7	0
消防通知	1 4 2 5	0
合 計	1 9 5 2	0

### 消防用設備等届出状況

(平成 26 年度)

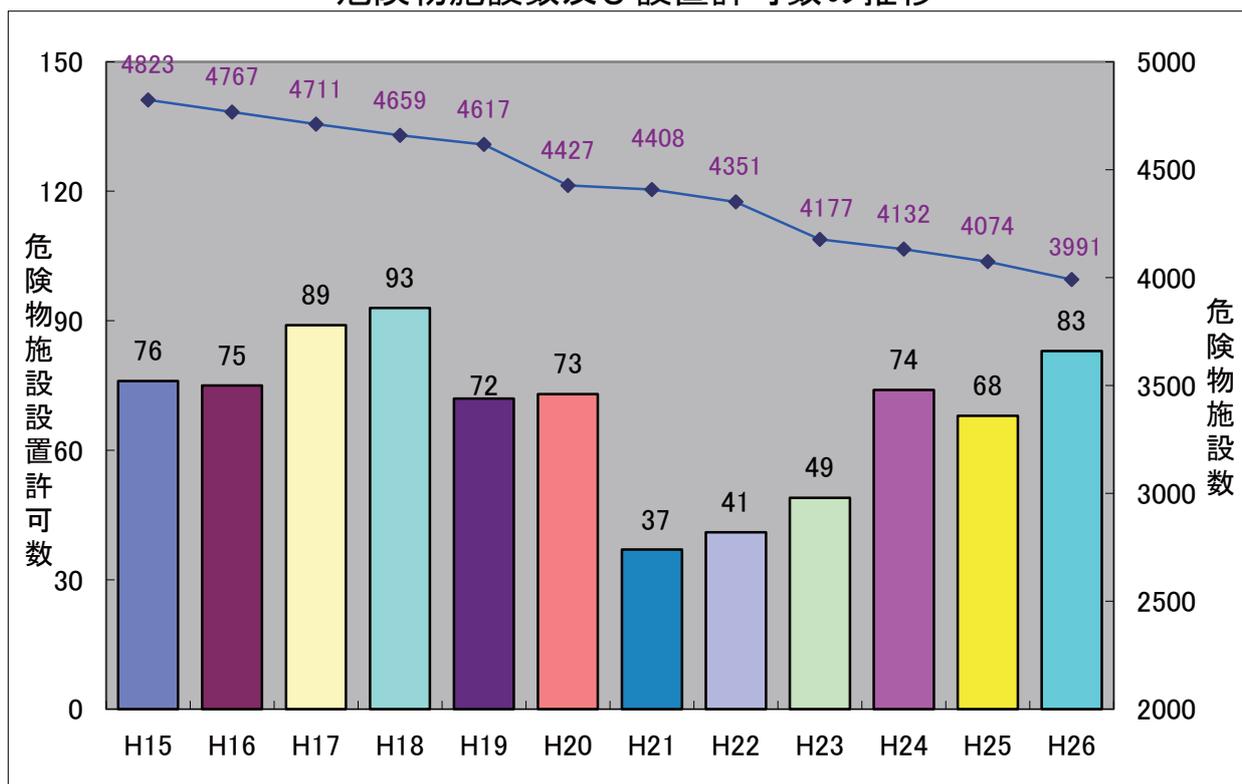
工事計画書	着工届出	設置届出
9 3 件	5 2 0 件	5 4 5 件

### 危険物仮貯蔵・仮取扱申請承認状況

(平成 26 年度)

署別 区分	合計	中署	北署	南署
仮 貯 蔵	2 5	1	2 3	1
仮 取 扱	9	4	1	4

## 危険物施設数及び設置許可数の推移



## 危険物関係事務処理状況

(平成26年度)

	許可		完成検査	
	設置	変更	設置	変更
製造所	2	168	1	161
屋内貯蔵所	5	7	4	4
屋外タンク貯蔵所	15	241	6	202
屋内タンク貯蔵所	3	0	3	0
地下タンク貯蔵所	3	6	2	4
簡易タンク貯蔵所	0	0	0	0
移動タンク貯蔵所	49	57	45	42
屋外貯蔵所	1	2	0	1
給油取扱所	0	19	1	18
販売取扱所	0	0	0	0
移送取扱所	0	36	0	35
一般取扱所	5	180	3	185
合計	83	716	65	652

完成検査前検査	181
水張検査	121
水圧検査	42
溶接部検査	18
基礎地盤検査	0
保安検査(定期・臨時)	11

予防規程認可	62
--------	----

仮使用	517
仮貯蔵・仮取扱	34

変更届出(軽微な変更工事等)	631
廃止届出	134
その他届出	630

## 火災予防条例に基づく届出事務処理状況

区分	署別	合計	本部	中署	西分署	中央分署	港分署	北署	朝川分署	南署
防火対象物使用開始届		225	0	76	6	26	0	45	13	59
防火管理者選解任届		630	0	267	20	64	0	94	48	137
消防計画作成(変更)届		734	0	299	22	67	0	115	55	176
共同防火管理協議事項作成(変更)届		0	0	0	0	0	0	0	0	0
消火・避難訓練実施計画書		825	0	250	30	80	0	177	107	181
工事中の消防計画届		0	0	0	0	0	0	0	0	0
防火対象物定期点検報告		143	0	59	2	9	0	28	14	31
防火対象物点検報告特例認定申請		3	0	1	0	0	0	0	0	2
消防用設備等設置届		545	36	142	8	48	0	83	43	185
消防用設備等着工届		519	102	148	11	47	0	83	31	97
消防用設備等の特例適用願い		9	5	0	0	3	0	1	0	0
消防用設備等点検結果報告		3073	0	1003	69	267	0	643	314	777
炉		19	0	1	0	1	0	8	1	8
厨房設備		0	0	0	0	0	0	0	0	0
温風暖房機		0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボイラー		21	0	1	1	0	0	12	1	6
給湯湯沸設備		8	0	0	0	0	0	2	0	6
乾燥設備		18	0	0	0	1	0	7	3	7
サウナ設備		0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒートポンプ冷暖房機		0	0	0	0	0	0	0	0	0
火花を生じる設備		0	0	0	0	0	0	0	0	0
放電加工機		0	0	0	0	0	0	0	0	0
発電設備		37	0	8	0	4	0	9	2	14
変電設備		113	0	17	4	10	0	31	9	42
蓄電池設備		53	0	13	2	10	0	13	1	14
ネオン管灯設備		0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定洞道		1	0	0	0	0	0	1	0	0
水素ガス気球届		1	0	0	0	0	0	1	0	0
熱風炉		0	0	0	0	0	0	0	0	0
少量危険物		216	0	23	3	66	0	33	8	83
指定可燃物		83	0	15	0	0	0	25	6	37
圧縮アセチレンガス		35	0	6	1	7	0	2	2	17
液化石油ガス		74	0	28	0	5	0	9	10	22
無水硫酸		2	0	0	0	0	0	0	0	2
生石灰		0	0	0	0	0	0	0	0	0
毒物		2	0	0	0	2	0	0	0	0
劇物		6	0	2	0	3	0	0	0	1
高圧ガス		0	0	0	0	0	0	0	0	0
喫煙届		1	0	1	0	0	0	0	0	0
裸火		45	0	32	0	3	0	9	1	0
危険物品持込		30	0	27	0	0	0	2	0	1
避難訓練実施計画届(法第36条)		9	0	3	3	3	0	0	0	0
自衛消防組織設置(変更)届		13	0	4	0	1	0	4	0	4
防災管理者選解任届		19	0	5	0	2	0	5	2	5
防災管理消防計画作成(変更)届		16	0	5	0	1	0	2	2	6
防災管理点検報告届		30	0	6	0	3	0	7	2	12
防災管理点検報告特例認定申請		1	0	1	0	0	0	0	0	0
統括防火管理者選解任届		20	0	20	0	0	0	0	0	0
全体の消防計画作成(変更)(防火)届		20	0	20	0	0	0	0	0	0
統括防災管理者選解任届		3	0	3	0	0	0	0	0	0
全体の消防計画作成(変更)(防災)届		1	0	1	0	0	0	0	0	0
露店等の開設届		149	0	17	12	26	0	51	11	32

平成26年度

防火対象物状況(階層別)

平成27年4月1日現在

階層の別	政令別表項目別 合計	1		2				3		4	5			6			7	8	9		10	11	12		13		14	15	16			16	16	17	18	
		イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	百貨店・マーケット	イ	ロ	ニ	イ	ロ	ハ	学	図書館・美術館	イ	ロ	車両の停車場	神社・寺院	イ	ロ	イ	ロ	倉庫	その他	イ	ロ	イ	ロ	三	文	延長50m以上のアーケード	
		劇場・映画館	公会堂・集会場	キャバレー・カフェー	遊技場等	風営法規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗等	カラオケ等	待合・料理店	飲食店		旅館・ホテル	寄宿舎・下宿・共同住宅	病院	老人短期入所・特別養護老人ホーム	老人デイサービス等	幼稚園・盲学校等			蒸気・熱気浴場	イに掲げる以外の公衆浴場			工場・作業場	映画・テレビスタジオ	自動車車庫・駐車場	飛行機等の格納庫		倉庫	イ以外の複合用途防火対象物	イ①②④⑤⑥⑨イが存する複合用途防火対象物	イ	ロ	二	三	財	
合計	13118	19	190	0	24	0	9	8	338	543	49	3391	212	98	198	57	423	7	5	6	7	203	2635	0	129	0	1799	1751	732	261	0	0	5	19		
地上階	1階	4044	0	73	0	7	0	2	0	128	313	0	19	31	32	105	25	146	0	1	4	3	132	1242	0	80	0	1200	444	24	11	0	0	3	19	
	2階	5812	11	100	0	16	0	5	7	130	191	14	2058	129	36	68	28	83	4	3	2	3	62	1123	0	35	0	520	833	253	96	0	0	2	0	
	3階	1767	5	13	0	0	0	0	1	38	28	8	616	29	16	15	3	135	2	1	0	1	8	179	0	6	0	60	320	215	68	0	0	0	0	
	4階	693	2	2	0	1	0	1	0	25	8	2	290	9	10	2	1	38	0	0	0	0	0	52	0	4	0	13	90	113	30	0	0	0	0	
	5階	353	0	1	0	0	0	0	0	11	3	3	192	6	1	4	0	12	0	0	0	0	1	19	0	1	0	5	29	39	26	0	0	0	0	
	6階	124	0	0	0	0	0	1	0	4	0	6	39	3	3	3	0	5	1	0	0	0	0	14	0	0	0	1	8	27	9	0	0	0	0	
	7階	89	1	0	0	0	0	0	0	1	0	4	32	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0	11	23	7	0	0	0	0	
	8階	76	0	1	0	0	0	0	0	1	0	4	33	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	9	12	8	0	0	0	0	
	9階	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	6	4	0	0	0	0	
	10階	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	14	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	11	1	0	0	0	0	
	11階	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	
	12階	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	
	13階	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14階	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	
	15階	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	
	16階以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
上記のうち階を有するもの	地下1階	239	2	5	0	0	1	0	12	3	7	34	13	4	2	4	3	1	1	0	1	1	14	0	0	0	4	80	42	5	0	0	0	0		
	地下2階	17	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	10	1	0	0	0	0	0		
	地下3階以下	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0		
地下のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

防火対象物状況(消防用設備別)

設備等の別	政令別表項目別	合計	1		2			3		4	5		6				7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		17	18				
			イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ		ロ	イ	ロ	イ	ロ	ハ			ニ	イ			ロ	イ	ロ	イ			ロ	イ			ロ	イ	ロ	イ
			劇場・映画館	公会堂・集会場	キャバレー・カフェー	遊技場等	風営法規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗等	カラオケ等	待合・料理店	飲食店	百貨店・マーケット	旅館・ホテル	寄宿舎・下宿・共同住宅	病院・診療所	老人短期入所・特別養護老人ホーム	老人デイサービス等	幼稚園・盲学校等	学校	図書館・美術館	蒸気・熱気浴場	イに掲げる以外の公衆浴場	車両の停車場	神社・寺院	工場・作業場	映画・テレビスタジオ	自動車庫・駐車場	飛行機等の格納庫	倉庫	その他事業所	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨イが存する複合用途防火対象物	イ以外の複合用途防火対象物	二地	三準地	文庫	延長50m以上のアーケード	
防火対象物合計			13118	19	190	0	24	0	9	8	338	543	49	3391	212	98	198	57	423	7	5	6	7	203	2635	0	129	0	1799	1751	732	261	0	0	5	19
消防用設備等を要する防火対象物の別	屋内消火栓設備を要するもの	1288	13	17	0	6	0	1	0	5	50	20	139	14	26	11	10	123	1	1	0	1	1	404	0	4	0	247	119	65	10	0	0	0	0	
	スプリンクラー設備を要するもの	198	5	0	0	1	0	0	0	2	24	3	35	10	72	1	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	9	3	23	0	0	0	0	0	0	
	水噴霧等消火設備を要するもの	220	1	1	0	1	0	1	0	0	28	5	15	3	2	0	0	0	1	0	0	0	48	0	56	0	4	34	17	3	0	0	0	0	0	0
	屋外消火栓設備を要するもの	329	4	0	0	0	0	0	0	0	3	0	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	173	0	1	0	120	19	1	0	0	0	0	0	0	0
	動力消防ポンプを要するもの	81	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	37	0	0	0	24	9	2	1	0	0	0	0	0	0
	自動火災報知設備を要するもの	4396	16	68	0	18	0	9	1	108	264	37	850	96	90	127	37	229	5	3	2	2	5	984	0	39	0	613	369	346	75	0	0	3	0	
	ガス漏れ火災警報設備を要するもの	10	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0
	漏電火災警報器を要するもの	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	1	0	3	3	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	消防機関へ通報する火災報知設備を要するもの	698	3	9	0	5	0	4	0	4	52	34	77	48	90	86	12	11	0	1	1	0	83	0	5	0	34	38	88	13	0	0	0	0	0	0
	非常警報設備を要するもの	1408	13	143	0	16	0	5	1	156	154	9	191	64	25	45	16	166	1	3	2	0	27	41	0	3	0	8	179	122	18	0	0	0	0	0
	避難器具を要するもの	1067	4	23	0	5	0	3	0	54	13	20	431	22	29	29	19	128	2	1	0	0	4	10	0	0	4	102	123	41	0	0	0	0	0	0
	誘導灯を要するもの	2897	18	160	0	18	0	9	2	302	473	38	103	184	89	179	39	54	4	4	3	1	14	242	0	21	0	170	333	401	36	0	0	0	0	0
	消防用水を要するもの	89	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	2	0	0	3	0	0	0	0	0	54	0	0	0	12	7	6	0	0	0	0	0	0	0
	排煙設備を要するもの	28	2	0	0	1	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	9	0	0	0	0	0	0	0
連結散水設備を要するもの	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	
連結送水管を要するもの	316	1	1	0	0	0	0	0	1	2	13	155	9	1	1	0	3	1	0	0	0	5	0	5	0	2	31	49	18	0	0	0	0	18	0	
非常コンセント設備を要するもの	76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	1	0	0	0	0	0	0	
無線通信補助設備を要するもの	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
甲種防火対象物	2072	8	83	0	22	0	6	2	124	261	42	359	48	73	106	35	102	3	4	1	1	24	172	0	0	0	22	170	360	44	0	0	0	0	0	
乙種防火対象物	592	0	162	0	2	0	3	0	216	81	1	2	6	0	8	2	5	0	0	0	0	17	5	0	0	0	1	22	57	2	0	0	0	0	0	
統括防火管理を要するもの	61	0	0	0	0	0	0	0	10	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	4	0	0	0	0	0	0	

防火対象物状況(地区別)

地区の別	政令別表項目別 合計	1		2				3		4		5				6				7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		16	16	17	18
		イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ
		劇場・映画館	公会堂・集会場	キャバレー・カフェー	遊技場等	風営法規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗等	カラオケ等	待合・料理店	飲食店	百貨店・マーケット	旅館・ホテル	寄宿舎・下宿・共同住宅	病院・診療所	ホ老人短期入所・特別養護老人等	ホ老人デイサービス等	幼稚園・盲学校等	学校	図書館・美術館	蒸気・熱気浴場	イに掲げる以外の公衆浴場	車両の停車場	神社・寺院	工場・作業場	映画・テレビスタジオ	自動車車庫・駐車場	飛行機等の格納庫	倉庫	その他の事業所	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨イが存する複合用途防火対象物	イ以外の複合用途防火対象物	二地	三下	文	延長50m以上のアーケード			
合計	13118	19	190	0	24	0	9	8	338	543	49	3391	212	98	198	57	423	7	5	6	7	203	2635	0	129	0	1799	1751	732	261	0	0	5	19			
中消防署管内	小計	4865	1	67	0	11	0	5	7	218	232	28	1342	96	33	71	23	146	2	3	2	2	79	576	0	69	0	541	670	472	150	0	0	0	19		
	共同	588	0	2	0	1	0	1	0	81	26	8	70	6	1	2	2	9	0	1	2	0	11	10	0	18	0	23	72	194	33	0	0	0	15		
	同和	13	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	4	1	0	0	0	0	0	0		
	中央	126	0	0	0	0	0	0	6	5	3	1	12	5	0	1	0	3	0	0	0	1	7	6	0	2	0	2	37	25	6	0	0	0	4		
	港	296	0	4	0	0	0	0	0	2	2	2	19	1	1	3	0	0	0	0	0	0	61	0	4	0	110	76	3	8	0	0	0	0	0		
	浜田	908	1	5	0	1	0	0	0	15	37	8	207	7	1	7	1	22	1	0	0	0	8	102	0	29	0	121	173	109	53	0	0	0	0		
	常磐	993	0	17	0	2	0	1	0	45	67	4	515	20	11	15	4	11	1	0	0	0	13	45	0	5	0	50	82	62	23	0	0	0	0		
	橋北	285	0	4	0	0	0	0	0	4	7	1	48	4	2	4	0	7	0	0	0	0	2	63	0	1	0	73	45	12	8	0	0	0	0		
	海蔵	466	0	3	0	2	0	1	0	5	18	0	161	6	2	7	1	9	0	1	0	0	7	110	0	1	0	76	35	15	6	0	0	0	0		
	三重	526	0	8	0	2	0	1	0	31	33	1	179	19	4	16	3	22	0	1	0	0	12	65	0	0	0	41	58	25	5	0	0	0	0		
	神前	144	0	6	0	1	0	0	0	8	11	1	18	5	2	3	1	31	0	0	0	0	6	19	0	3	0	9	14	5	1	0	0	0	0		
	川島	133	0	2	0	0	0	0	0	5	7	0	60	8	3	4	3	5	0	0	0	0	4	8	0	0	0	3	11	8	2	0	0	0	0		
県	183	0	4	0	1	0	0	0	5	4	1	15	5	3	4	3	12	0	0	0	0	6	53	0	2	0	20	37	5	3	0	0	0	0			
桜	204	0	12	0	1	0	1	1	12	15	1	36	9	3	5	5	15	0	0	0	1	3	33	0	4	0	11	26	8	2	0	0	0	0			
北消防署管内	小計	4061	13	69	0	5	0	3	0	59	153	6	1172	54	26	47	17	142	4	1	2	3	59	1031	0	25	0	558	411	147	53	0	0	1	0		
	富田	405	0	5	0	0	0	0	2	18	0	146	9	5	4	2	23	0	1	1	1	9	57	0	3	0	40	42	32	5	0	0	0	0			
	羽津	989	8	7	0	1	0	1	0	14	46	1	232	11	3	9	4	15	0	0	0	1	9	327	0	2	0	147	110	32	9	0	0	0	0		
	富洲原	300	0	5	0	2	0	1	0	10	11	3	59	6	3	5	3	9	0	0	0	0	4	88	0	5	0	42	25	16	3	0	0	0	0		
	大矢知	528	0	5	0	0	0	0	0	6	20	0	282	8	3	4	3	7	0	0	0	0	10	67	0	1	0	63	24	21	3	0	0	1	0		
	八郷	363	0	11	0	0	0	0	0	4	12	0	65	6	2	4	2	37	1	0	0	0	8	118	0	1	0	35	40	13	4	0	0	0	0		
	下野	163	0	7	0	0	0	0	0	2	8	0	59	2	1	3	1	10	0	0	0	0	3	32	0	0	0	15	11	6	3	0	0	0	0		
	保々	197	1	7	0	0	0	0	0	0	3	0	40	0	1	2	1	15	0	0	0	0	5	55	0	0	0	38	23	4	2	0	0	0	0		
川越町	812	4	11	0	2	0	1	0	13	20	1	223	4	5	13	1	17	1	0	0	1	5	208	0	13	0	142	95	16	16	0	0	0	0			
朝日町	304	0	11	0	0	0	0	0	8	15	1	66	8	3	3	0	9	2	0	1	0	6	79	0	0	0	36	41	7	8	0	0	0	0			
南消防署管内	小計	4192	5	54	0	8	0	1	1	61	158	15	877	62	39	80	17	135	1	1	2	2	65	1028	0	35	0	700	670	113	58	0	0	4	0		
	塩浜	852	0	2	0	0	0	0	0	7	12	2	60	1	2	10	0	9	0	0	1	2	11	305	0	9	0	179	214	15	11	0	0	0	0		
	日永	972	4	11	0	4	0	1	0	29	85	2	304	22	6	17	1	42	0	0	0	0	9	145	0	9	0	120	122	29	10	0	0	0	0		
	河原田	554	0	3	0	2	0	0	1	3	17	1	57	1	4	4	0	14	0	0	0	0	5	181	0	6	0	136	110	4	5	0	0	0	0		
	四郷	442	0	8	0	0	0	0	0	11	17	1	213	13	8	19	10	38	0	0	0	0	11	22	0	0	0	12	20	25	13	0	0	1	0		
	内部	415	0	5	0	2	0	0	0	7	14	2	99	11	10	16	4	12	0	1	0	0	10	91	0	5	0	73	35	11	7	0	0	0	0		
	小山田	181	0	8	0	0	0	0	0	3	2	0	6	0	4	6	0	8	0	0	0	0	9	79	0	1	0	15	32	5	3	0	0	0	0		
	水沢	199	0	6	0	0	0	0	0	0	1	6	9	7	3	3	0	3	0	0	0	0	2	52	0	0	0	31	72	3	1	0	0	0	0		
楠	576	1	11	0	0	0	0	0	1	10	1	128	7	2	5	2	9	1	0	1	0	8	153	0	5	0	134	65	21	8	0	0	3	0			

数量・類別危険物施設設置状況

平成27年4月1日現在

区分	製造所等の別	合計	製造所	貯蔵所									取扱所						事業所数			
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	特定屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	14klを越える被率引	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第1種販売取扱所	第2種販売取扱所	移送取扱所		特定移送取扱所	一般取扱所	
合計		3991	126	3123	359	1671	315	58	143	13	758	265	121	742	206	4	0	61	0	471	684	
数量別	5倍以下	516	6	421	108	100	0	31	62	13	85	4	22	89	5	1	0	0	0	83		
	5倍を越え10倍以下	456	12	323	63	128	0	8	28	0	60	3	36	121	23	2	0	0	0	96		
	10倍～50倍	939	17	729	86	419	0	19	39	0	119	13	47	193	88	1	0	2	0	102		
	50倍～100倍	680	15	586	22	177	0	0	4	0	376	142	4	79	14	0	0	1	0	64		
	100倍～150倍	283	5	252	31	123	0	0	4	0	94	91	0	26	11	0	0	2	0	13		
	150倍～200倍	106	5	78	8	55	3	0	2	0	3	2	10	23	12	0	0	2	0	9		
	200倍～1,000倍	509	34	354	23	307	56	0	4	0	18	10	2	121	51	0	0	7	0	63		
	1,000倍～5,000倍	214	17	162	8	154	66	0	0	0	0	0	0	35	2	0	0	11	0	22		
	5,000倍～10,000倍	77	3	64	6	58	50	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	4	0	6		
10,000倍を越えるもの	211	12	154	4	150	140	0	0	0	0	0	0	45	0	0	0	32	0	13			
類別別	単独	第1類	5	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2		
		第2類	24	1	20	6	11	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	1	0	2		
		第3類	46	6	32	3	29	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	8		
		第4類	3733	95	2967	290	1599	313	58	143	13	747	264	117	671	206	2	0	56	0	407	
		第5類	12	0	11	8	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
		第6類	44	0	41	1	29	2	0	0	0	11	1	0	3	0	0	0	1	0	2	
	混在	127	24	49	48	0	0	0	0	0	0	0	1	54	0	2	0	3	0	49		

# 地区別危険物施設設置状況

平成27年4月1日現在

地区別	区分	合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
合計		3991	126	3123	359	1671	58	143	13	758	121	742	206	4	61	471
中消防署管内	小計	753	21	573	53	239	30	54	7	164	26	159	60	1	14	84
	共同	9	0	5	0	0	1	4	0	0	0	4	2	1	0	1
	同和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中央	14	0	13	4	0	0	2	0	7	0	0	1	0	0	0
	港	288	6	242	18	112	3	6	0	90	13	40	7	0	2	31
	浜田	96	3	78	6	4	3	16	1	43	5	15	10	0	0	5
	橋北	163	9	122	6	108	0	1	0	3	4	32	4	0	12	16
	海蔵	22	0	17	2	0	1	2	0	12	0	5	4	0	0	1
	常磐	23	0	13	3	3		7	0	0	0	10	3	0	0	7
	川島	4	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0
	神前	14	0	9	3	0	0	3	0	0	3	5	4	0	0	1
	桜	15	1	11	4	0	0	5	2	0	0	3	3	0	0	0
県	27	0	14	2	5	1	4	1	0	1	13	6	0	0	7	
三重	78	2	48	5	6	21	4	3	9	0	28	13	0	0	15	
北消防署管内	小計	1173	42	915	102	432	18	43	4	266	50	216	71	0	17	128
	羽津	481	28	362	39	251	1	5	0	51	15	91	9	0	16	66
	富田	45	0	38	6	0	3	7	2	14	6	7	7	0	0	0
	富洲原	59	2	47	7	3	3	2	0	25	7	10	7	0	0	3
	大矢知	38	0	25	14	4	2	4	0	1	0	13	5	0	0	8
	八郷	19	0	12	4	0	4	1	0	3	0	7	6	0	0	1
	下野	10	0	8	3	1	0	2	1	1	0	2	1	0	0	1
	保々	24	1	15	7	4	0	1	0	1	2	8	5	0	0	3
	朝日町	66	0	50	6	14	2	0	1	24	3	16	6	0	0	10
川越町	431	11	358	16	155	3	21	0	146	17	62	25	0	1	36	
南消防署管内	小計	2065	63	1635	204	1000	10	46	2	328	45	367	75	3	30	259
	塩浜	884	33	709	60	489	4	11	1	128	16	142	13	0	26	103
	日永	389	12	302	43	202	2	12	0	31	12	75	13	2	1	59
	四郷	11	0	7	3	2	0	0	0	2	0	4	3	0	0	1
	内都	62	1	36	6	5	0	6	0	19	0	25	16	0	0	9
	河原田	388	12	314	60	208	2	1	0	34	9	62	9	1	2	50
	小山田	87	1	65	5	27	1	6	1	23	2	21	10	0	0	11
	水沢	21		16	1	11	0	4	0	0	0	5	4	0	0	1
桶	223	4	186	26	56	1	6	0	91	6	33	7	0	1	25	

# 事業所等別危険物施設状況

平成27年4月1日現在

区分  施設	合計	コンビナート				その他	
		小計	第1コンビナート	第2コンビナート	第3コンビナート		
合計	3991	1979	1283	319	377	2012	
製造所	126	93	51	15	27	33	
貯蔵所	小計	3123	1534	1010	250	274	1589
	屋内貯蔵所	359	154	112	16	26	205
	屋外タンク貯蔵所	1671	1316	860	218	238	355
	屋内タンク貯蔵所	58	3	3	0	0	55
	地下タンク貯蔵所	143	8	4	4	0	135
	簡易タンク貯蔵所	13	0	0	0	0	13
	移動タンク貯蔵所	758	0	0	0	0	758
	屋外貯蔵所	121	53	31	12	10	68
取扱所	小計	742	352	222	54	76	390
	給油取扱所（営業用）	79	0	0	0	0	79
	給油取扱所（自家用）	127	3	2	0	1	124
	販売取扱所	4	0	0	0	0	4
	移送取扱所	61	60	30	14	16	1
	一般取扱所	471	289	190	40	59	182

## コンビナート概要

事業所数

(平成27年4月1日現在)

事業所種別	第1コンビナート	第2コンビナート	第3コンビナート	コンビナート全体
第1種事業所	6事業所	3事業所	7事業所	34事業所
第2種事業所	13事業所	2事業所	3事業所	
計	19事業所	5事業所	10事業所	

石油等の貯蔵取扱量及び高圧ガス処理量

石油等区分	第1コンビナート	第2コンビナート	第3コンビナート	計
石油貯蔵量	3,454,734 kℓ	1,416,110 kℓ	187,986 kℓ	5,058,830 kℓ
石油取扱量	866,802 kℓ	1,072,376 kℓ	70,787 kℓ	2,009,965 kℓ
石油合計量	4,321,536 kℓ	2,488,486 kℓ	258,773 kℓ	7,068,795 kℓ
高圧ガス処理量	293,879,596 Nm <sup>3</sup>	88,765,909 Nm <sup>3</sup>	219,662,142 Nm <sup>3</sup>	602,307,647 Nm <sup>3</sup>

## 特定防災施設

消火用屋外給水施設設置状況

種別	消火栓単独施設	貯水単独槽施設	合計
設置事業所数	24	0	24

流出油等防止堤設置状況

事業所数及びブロック数	対象タンク数及び合計容量	ブロックの最大収容量	収容タンク数	収容タンクの総容量	法定堤内容量	堤内容量	堤の総延長
3社 10ブロック	100基 4,275,720 kl	642,675 kl	250基	4,831,084 kl	626,714 kl	857,979 kl	14.98 km

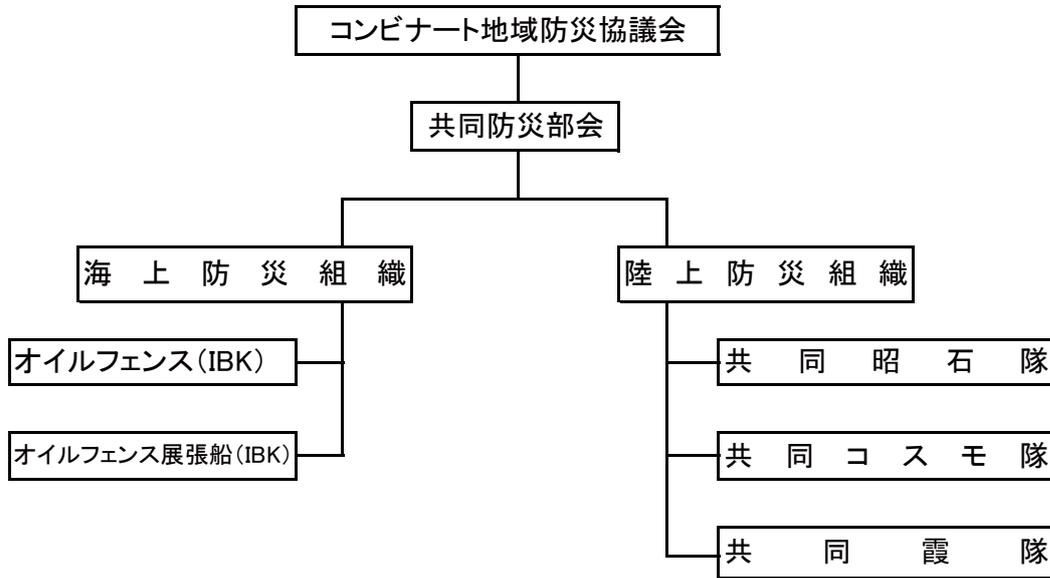
非常通報設備(MCA無線機)導入事業者

区分	全体事業所数	加入事業所数
第1種事業所	16	14
第2種事業所	18	16
合計	34	30

# コンビナート防災体制

(共同防災体制)

(平成27年4月1日現在)



(1) 海上防災組織防災隊員(計)

総	数	4人
船	乗組員	2人
その	他の防災要員	2人

(1) 陸上防災組織防災隊員(計)

総	数	62人
指	揮者・機関員	30人
その	他の防災要員	32人

(2) 防災資機材(計)

オイルフェンス:	B型 1,080m
オイルフェンス展張船:	1隻

(2) 防災資機材(計)

2	点	セ	ツ	ト	3セット
泡	消	火	薬	剤	33.52kℓ

## (自衛消防体制)

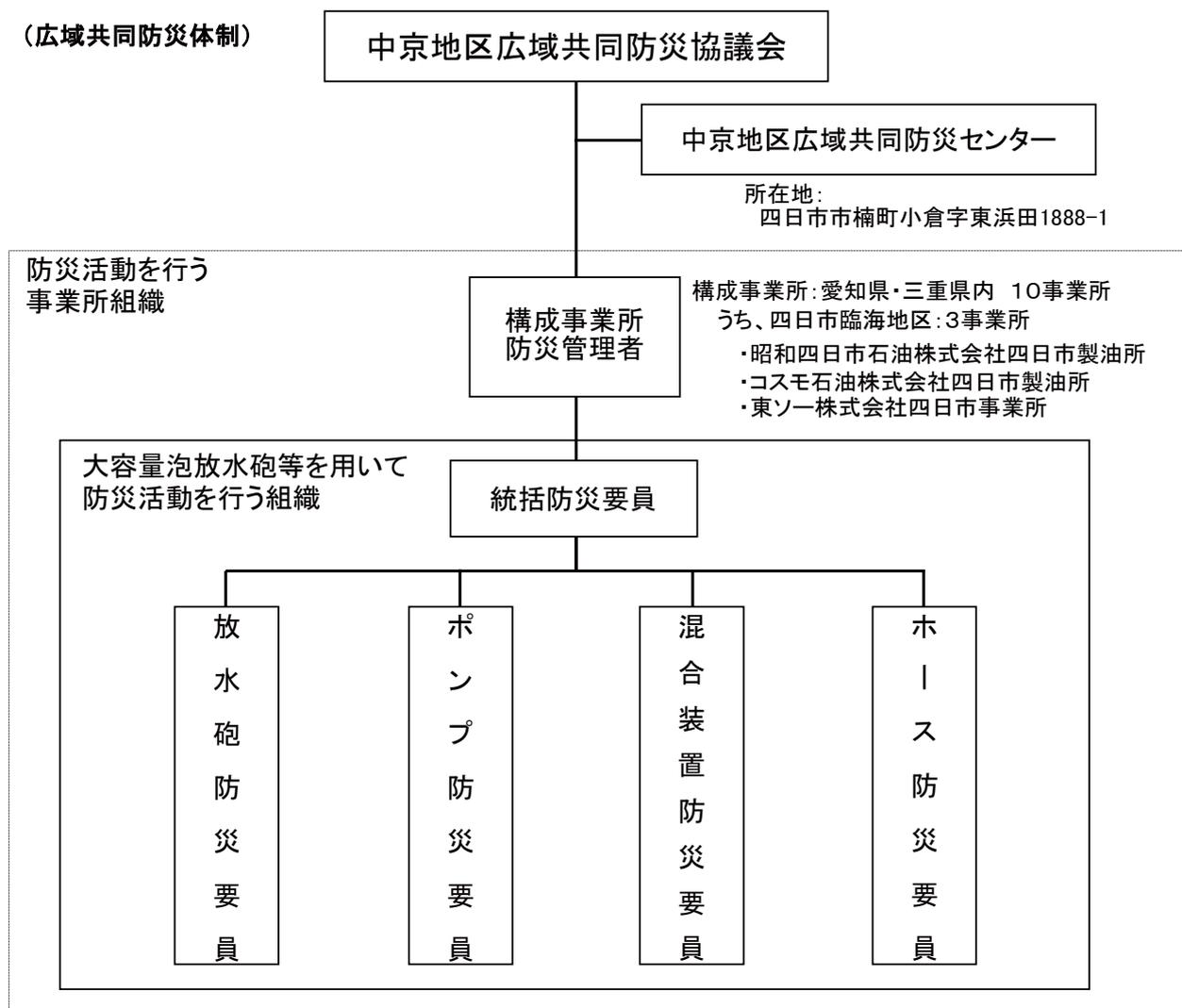
(1) 防災隊員(計)

総	数	1,239 人
専	任	156 人
兼	任	1,083 人

(2) 防災資機材(計)

オイルフェンス展張船	:	4隻
油回収船・油回収装置付	:	3隻
オイルフェンス	:	13,160m
泡消火薬剤	:	438kℓ
大型化学消防車	:	2台
大型高所放水車	:	1台
泡原液搬送車	:	1台
大型化学高所放水車	:	1台
甲種普通化学消防車	:	8台
その他消防車	:	2台

(広域共同防災体制)

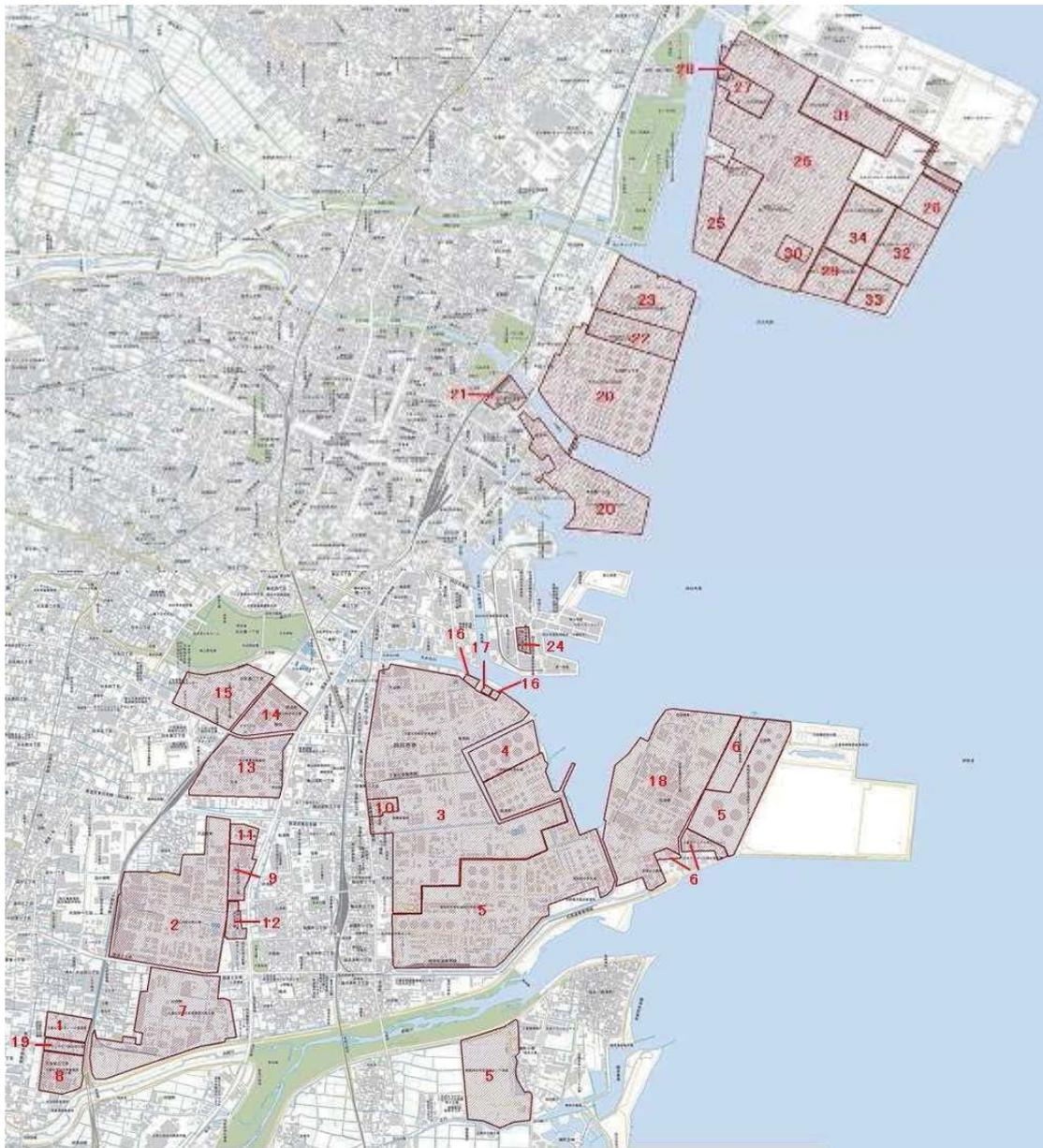


防災資機材の備付状況

項目	数量	要目	備付場所
放水砲	2砲	ノンアスピレート型 10,000～30,000L/min 可変ノズル2基	中京地区広域 共同防災センター
水中ポンプ	2ユニット	水中ポンプ(4台/1ユニット) 公称能力30,000L/min(1ユニット)	中京地区広域 共同防災センター
加圧ポンプ	4台	公称能力30,000L/min/台	中京地区広域 共同防災センター
ホース	2730m	12B・リール式 150m×14セット (150m未満のホース含む)	中京地区広域 共同防災センター
耐熱服	4着	KA-2000 東消型フードエプロンタイプ 呼吸器内蔵型	中京地区広域 共同防災センター
空気呼吸器	4個	A1F(CX)-815FZ ゲージ内蔵型	中京地区広域 共同防災センター
泡消火薬剤	74kl	メガフォームCV-1 (AR-AFFF 1%型)	中京地区広域 共同防災センター
消火薬剤用 仮設タンク	2個	ET-20 20KL	中京地区広域 共同防災センター

# 四日市臨海地区特定事業所配置図

平成 27 年 4 月現在



四日市臨海地区特定事業所

	番号	種別	事業所名
第1コンビナート	1	第一種	三菱化学(株)四日市事業所 北大治田地区
	2	〃	JSR(株)四日市工場
	3	〃	三菱化学(株)四日市事業所 塩浜地区
	4	〃 (※)	コスモ石油(株)塩浜油槽所
	5	〃	昭和四日市石油(株)四日市製油所
	6	〃 (※)	三菱マテリアル(株)四日市工場
	7	第二種	三菱化学(株)四日市事業所 川尻地区
	8	〃	三菱化学(株)四日市事業所 大治田地区
	9	〃	(株)ジェイエスピー四日市 第一工場
	10	〃	四日市合成(株)四日市工場
	11	〃	四日市合成(株)六呂見工場
	12	〃	東邦化学工業(株)四日市工場
	13	〃	味の素(株)東海事業所
	14	〃	パナソニックデバイスマテリアル四日市(株)
	15	〃	三菱瓦斯化学(株)四日市工場
	16	〃	日本トランスシティ(株)東邦町タンクヤード
	17	〃	中部海運(株)東邦町タンクヤード
	18	〃	石原産業(株)四日市工場
	19	〃	ライオン・スペシャリティ・ケミカルズ(株)四日市工場
第2コンビナート	20	第一種	コスモ石油(株)四日市製油所
	21	〃 (※)	コスモ石油(株)第1陸上出荷場
	22	〃	KHネオケム(株)四日市工場 午起製造所
	23	第二種	中部電力(株)四日市火力発電所
	24	〃	第一工業製薬(株)四日市事業所
第3コンビナート	25	第一種	KHネオケム(株)四日市工場 霞ヶ浦製造所
	26	〃	東ソー(株)四日市事業所
	27	〃	丸善石油化学(株)四日市工場
	28	〃 (※)	四日市オキシトン(株)四日市工場
	29	〃	四日市エルピージー基地(株)霞事業所
	30	〃	日本ポリプロ(株)四日市工場
	31	〃 (※)	DIC(株)四日市工場
	32	第二種	中部電力(株)四日市 LNG センター
	33	〃	東邦ガス(株)四日市工場
	34	〃	コスモ石油(株)四日市霞発電所

注) (※) はレイアウト対象外事業所を示す。

消 防 団

## 四 日 市 市 消 防 団 の 沿 革

江戸時代	各村に火の番所が設けられ、五人組という自治制度のもとに防火、消防活動が行われていた。また、江戸や城下町には町火消が組織されていた
明治19年	四日市に初めて火防組が組織される 消防夫59人
明治20年	火防組12組消防夫864 人となる
明治24年	火防組が消防組と改名される
明治25年	消防組23組消防夫1,309 人となる
明治27年 2月	勅令をもって消防規制が公布される 消防組規制により、消防組の全国的な統一が行われる
明治28年 12月26日	各町自警消防組を統一し、新たに四日市消防組として発足 四日市町消防組 第1番組川原町、末永、浜一色（橋北地区） 第2番組西町、久六町、比丘尻町、堅町 南町、北町、上新町（共同地区） 第3番組中町、境町、八幡町、中新町 四ツ谷新町、南新町、（同和地区） 第4番組浜町、北条町、下新町、新町（同盟地区） 第5番組蔵町、北納屋町、中納屋町 桶ノ町、袋町、高砂町、稲葉町、南納屋町（港地区） 第6番組浜田、赤堀（浜田地区） 配置人員 組頭1人 小頭6人 消防手 193人 合計 200人 配備器具 ポンプ6 大水桶12 小水桶64 梯子6 鷹口31 刺又6 釣13 斧6 大縄6 纏 6 旗6 高張提灯6 弓張提灯62 消口札6
明治30年	市政実施とともに四日市消防組も市に引き継がれる
大正6年 10月	第5番組（港地区）に初めてガソリンポンプを配置
大正12年 1月	全ての組にガソリンポンプを配置
大正15年	初めて自動車ポンプを購入し、組頭直属のもとに自動車隊が登場
昭和5年	市域の拡大に伴って第7番組（海蔵地区）第8番組（塩浜地区）が本市消防組に編入
昭和7年	本市上水道が完成し、消火栓355基を設置
昭和14年 1月	政府は準戦時体制から戦時体制に切り換えを強行し、警防団令を發布した
昭和14年 4月1日	昭和6年頃に結成され、防空活動を行っていた防護団と消防組を合体し、四日市警防団を設置した 警防団は消防組と同一区画の8分団とした 定員 622人（内本部消防部16人） 分団に警護、消防、救護の3部を置く 初代警防団長 九鬼紋七氏
昭和16年	本市が富田町等2町3村を併合
昭和16年 10月3日	富田、富洲原両町の警防団を合体し、四日市北警防団を結成 四日市北警防団は、本部を富田警察署に置く 6分団 定員 363人 自動車ポンプ2台 ガソリンポンプ4台 腕用ポンプ3台 羽津、常磐、日永の各村警防団は四日市警防団の第9.10.11分団として本市に引き継がれた
昭和17年 8月	四日市警防団第5分団（港地区）に海上部を設置
昭和18年 6月	海上部を四日市警防団海上分団とし、発動機船2、消防艇1、短艇4を装備した
昭和18年	四郷、内部両村が併合され四日市市には2警防団20分団になる
昭和22年 9月	新消防団令に基づき、四日市市消防団と四日市市北消防団が組織され再出発した 四日市市消防団 本部と7分団 725人編成 初代団長 九鬼紋十郎氏 四日市市北消防団 富田、富洲原地区を区域とする 6分団 225人編成 初代団長 大野正平氏
昭和23年 2月29日	消防組織法の施行により、四日市市消防団と四日市市北消防団を四日市市消防団として一本化した 初代消防団長 九鬼紋十郎氏

昭和24年 8月11日	2代目四日市市消防団長に大野正平氏就任
昭和26年 4月1日	四日市市消防団は消防団本部と橋北、港、中部、海蔵、塩浜、羽津、常磐、日永、四郷、内部、富田、富洲原、海上の13分団 四日市市消防団の定員 716名
昭和27年	四日市市消防団の定員 718名
昭和28年	四日市市消防団の定員 646名
昭和29年 3月	小山田村が合併され、小山田村消防団が四日市市消防団に編入
昭和29年 7月	市町村の合併により、河原田、神前、川島、桜、梶、三重、大矢知、八郷、下野の9分団が増加し、23分団 四日市市消防団の定員 1,156名
昭和32年	市町村の合併により、保々、水沢の2分団が増加し25分団とした
昭和35年	四日市市消防団の定員 1,258名とした
昭和39年	中部分団を廃止し、四日市市消防団の定員の見直しを実施24分団1,258名→427名
昭和53年 2月28日	大野正平氏消防団長を退任
昭和53年 3月1日	3代目消防団長に榊原孫七氏就任
昭和63年	海上分団に消防車両が配備され、全消防分団に消防車両が配備された
平成元年 1月31日	榊原孫七氏消防団長を退任
平成元年 2月1日	4代目消防団長に岩田忠兵衛氏就任
平成7年 3月3日	四日市市消防団・四日市市消防本部連名で、消防庁長官表彰を受章
平成9年 1月31日	岩田忠兵衛氏消防団長を退任
平成9年 2月1日	5代目消防団長に後藤正義氏就任
平成13年 7月31日	後藤正義氏消防団長を退任
平成13年 8月1日	6代目消防団長に堀善澄氏就任
平成17年 2月7日	四日市市と楠町の合併に伴い、四日市市消防団と四日市市楠消防団の2団制をとる
平成17年 9月1日	港分団を廃止し、女性消防団員15名による「サルビア分団」を結成
平成18年 2月24日	四日市市消防団が、消防庁長官から「消防団地域活動表彰」（団員確保功労）を受賞
平成22年 4月1日	四日市市消防団と四日市市楠消防団を四日市市消防団として一団化した 一団化に伴い、14分団で増員をするとともに機能別団員を採用し、定員を620名とした
平成22年 10月1日	7代目消防団長に稲垣貢氏就任
平成25年 8月1日	8代目消防団長に伊藤忠夫氏就任

### 歴代四日市市消防団長

代	氏名	在職期間
初	九鬼 紋十郎	昭和23年 9月29日 ～ 昭和24年 8月10日
2	大野 正平	昭和24年 8月11日 ～ 昭和53年 2月28日
3	榊原 孫七	昭和53年 3月 1日 ～ 平成元年 1月31日
4	岩田 忠兵衛	平成元年 2月 1日 ～ 平成9年 1月31日
5	後藤 正義	平成9年 2月 1日 ～ 平成13年 7月31日
6	堀 善澄	平成13年 8月 1日 ～ 平成22年 8月29日
7	稲垣 貢	平成22年10月 1日 ～ 平成25年 7月31日
8	伊藤 忠夫	平成25年 8月 1日 ～ 現在

### 歴代四日市市楠消防団長

代	氏名	在職期間
初	橋本 巳貴也	平成17年 2月 7日 ～ 平成22年3月31日

# 消 防 団 の 概 況

(平成27年4月1日現在)

分 団	区 分	人 員							消 防 車		
		合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長		団 員	
四 日 市 市 消 防 団	合 計	<b>620</b>	<b>1</b>	<b>4</b>	<b>26</b>	<b>26</b>	<b>56</b>	<b>109</b>	<b>398</b>	<b>29</b>	
	団 本 部	<b>60</b>	<b>1</b>	<b>4</b>			<b>2</b>	<b>8</b>	<b>45</b>	<b>3</b>	
		サルビア分団	<b>15</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>10</b>	
	北 ブ ロ ッ ク	羽 津 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
		富 田 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
		富 洲 原 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
		大 矢 知 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
		八 郷 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
		下 野 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
		保 々 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
	中 ブ ロ ッ ク	橋 北 分 団	<b>17</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>10</b>	<b>1</b>
		海 蔵 分 団	<b>17</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>10</b>	<b>1</b>
		海 上 分 団	<b>17</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>10</b>	<b>1</b>
		常 磐 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
		三 重 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
		神 前 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
		川 島 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
		県 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
		桜 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
		塩 浜 分 団	<b>17</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>10</b>	<b>1</b>
	南 ブ ロ ッ ク	日 永 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
		河 原 田 分 団	<b>17</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>10</b>	<b>1</b>
		内 部 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
		四 郷 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
		小 山 田 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
		水 沢 分 団	<b>22</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>
		北 楠 分 団	<b>37</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>4</b>	<b>7</b>	<b>24</b>	<b>2</b>
	南 楠 分 団	<b>27</b>			<b>1</b>	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>5</b>	<b>17</b>	<b>1</b>	

## 四 日 市 市 消 防 団 員 の 状 況

職業別消防団員数

(平成27年4月1日現在)

団員数 (人)	職業別	農業	建設業	製造業	電気	運輸	卸売	金融	サービス業	公務	その他
		林業			ガス	通信業	小売業	保険業	不動産業		
		漁業			熱供給		飲食業				
<b>578</b>		28	71	208	17	41	64	5	61	21	62

消防団員の年齢別状況

平均年齢 45才

(平成27年4月1日現在)

階級	区分 総数	18~20才	21~25才	26~30才	31~35才	36~40才	41~45才	46~50才	51~55才	56才以上
		<b>578</b>	<b>3</b>	<b>15</b>	<b>27</b>	<b>47</b>	<b>85</b>	<b>121</b>	<b>107</b>	<b>74</b>
団長	<b>1</b>									1
副団長	<b>4</b>									4
分団長	<b>26</b>						1	2	2	21
副分団長	<b>26</b>						2	3	4	17
部長	<b>56</b>					1	9	17	6	23
班長	<b>109</b>				3	10	21	33	29	13
団員	<b>356</b>	3	15	27	44	74	88	52	33	20

消防団員の在職年数状況

平均勤続年数 12年

(平成27年4月1日現在)

階級	区分 総数	5年未満	5年以上 ~ 10年未満	10年以上 ~ 15年未満	15年以上 ~ 20年未満	20年以上 ~ 25年未満	25年以上 ~ 30年未満	30年以上
		<b>578</b>	<b>129</b>	<b>162</b>	<b>65</b>	<b>77</b>	<b>57</b>	<b>40</b>

## 消 防 団 員 出 動 状 況

(平成26年度)

区分	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	計	回数	222	172	333	485	202	134	277	326	216	169	112
	人員	1,130	970	2,185	3,859	1,645	894	1,766	1,999	1,566	1,466	920	1,307
災 害 出 動	回数	0	0	0	0	77	0	56	2	0	1	0	0
	人員	0	0	0	0	653	0	420	10	0	17	0	0
災 害 出 動 (4時間未満)	回数	32	18	22	20	23	5	49	10	19	8	27	15
	人員	217	144	190	171	201	42	354	49	155	86	235	105
警 戒	回数	11	0	0	1	0	0	0	0	61	5	0	0
	人員	74	0	0	7	0	0	0	0	604	28	0	0
訓 練	回数	6	27	130	206	27	25	29	91	12	46	16	12
	人員	48	146	734	1,633	202	209	242	744	99	526	103	109
広 報 活 動	回数	10	4	3	6	5	3	5	46	5	2	2	52
	人員	75	30	13	40	36	28	32	339	22	21	18	334
警 防 調 査	回数	7	7	5	4	6	8	5	15	6	7	8	12
	人員	45	50	30	24	33	52	31	108	47	40	59	123
会 議	回数	50	47	19	6	7	32	23	28	4	8	2	28
	人員	75	67	35	21	25	53	35	40	25	26	10	41
研 修	回数	55	11	14	0	1	1	17	23	0	3	5	1
	人員	143	29	25	0	15	4	103	74	0	8	13	1
消 防 用 件	回数	9	13	96	210	17	18	54	74	67	51	15	34
	人員	28	83	740	1,639	115	109	178	240	218	354	95	158
ポ ン プ 点 検	回数	42	45	44	32	39	42	39	37	42	38	37	45
	人員	425	421	418	324	365	397	371	395	396	360	387	436

## 消 防 団 訓 練 ・ 研 修 実 施 状 況

種 別	実 施 機 関	期 間	参加人員
幹 部 科	消 防 本 部	4月10日	54名
初任科及び機関員科	各 消 防 署	4月13、20日、4月27日	76名
普 通 科	三重県消防学校	6月14日 ～ 6月15日 (2日間)	1名 (保々分団員)
分団指揮課程指導員科	三重県消防学校	9月6日 ～ 9月7日 (2日間)	1名 (日永分団員)
現場指揮課程	三重県消防学校	9月27日 ～ 9月28日 (2日間)	1名 (川島分団員)
水 防 研 修	各 消 防 署	6月1日 ～ 6月22日	154名
応 急 手 当 指 導 員	各 消 防 署	5月、6月、11月 (サルビア適宜)	10名
防 災 訓 練	四 日 市 市	9月28日他	約606名
規 律 訓 練	各 消 防 署	11月	323名
春・秋の火災予防運動訓練	各 消 防 署	3月1日 ～ 3月7日	名
		11月9日 ～ 11月15日	5名
文 化 財 防 火 デ ー	各 消 防 署	1月23日、24日、26日	合計 5名 18名

## サルビア分団活動状況

四日市市消防団の女性消防分団（以下 サルビア分団）は、平成17年9月に、消防団の活性化対策の一助とするために結成されました。

主に火災予防啓発活動を行っており、具体的には、幼児を対象として行う大型紙芝居や小・中学生を対象として防火教室、防災教室、応急手当普及講習などの訓練指導を中心に活動しています。男性の団員とは違い、災害出動はしませんが、女性ならではの、きめ細かでソフトな対応能力を活用し創意工夫をしながら減災活動に取り組んでいます。

サルビア分団年間活動状況

平成26年度（回／年）

予防広報（大型紙芝居を含む）	47回
----------------	-----

## 消防団防災支援隊の登録状況

「災害」への備えとしては、被害の発生を防ぐ「もの」の備えと、被害は出てもその拡大を防ぐ「ひと」・「こと」の備えが必要であるといわれています。特に大規模災害が発生した場合には、地域における消火・救助・避難誘導等の防災活動が被害の拡大を食い止めるために重要になってきます。

そのため、四日市市として安全で安心して暮らせるまちづくりの推進事業の一環として、四日市市消防団から退職されました団員の消火技術や防災の知識・技術・経験を活かし、消防分団及び自主防災隊が行う消防・防災活動をボランティアで支援する四日市市消防団防災支援者制度を創設したものです。

登録状況

平成27年4月1日現在 166名